

第3次愛川町生涯学習推進プラン
策定にかかる調査結果報告書

令和5年3月

愛川町

目次

I アンケート調査の概要	1
01. 調査の目的	1
02. 調査概要	1
03. 報告書の見方	1
II アンケート調査結果の概要	2
III アンケート調査結果	5
01. あなたご自身のことについて	5
02. 生涯学習活動について	9
03. 大学等における社会人の学習について	46
04. 社会的な活動について	52
05. 町の取組について	63
IV ヒアリング調査結果	69
01. 調査の目的	69
02. 実施対象と実施内容について	69
03. 一般団体への調査結果	70
04. 二十歳のつどい実行委員アンケートについて	76
05. 外国人相談員ヒアリングについて	81
V 調査から見えた課題等	82
01. 生涯学習の未実施者へのアプローチについて	82
02. 情報提供について	82
03. 学習方法について	83
04. 生涯学習施設について	83
05. 団体の活動について	83
06. ボランティア活動、NPO活動、地域活動等、社会的な活動について	83
07. 大学等での学び直しについて	84
08. 外国人が生涯学習に参加する際の課題について	84
VI 資料(調査票)	85

I アンケート調査の概要

01. 調査の目的

「第3次愛川町生涯学習推進プラン」の策定にあたり、町民の生涯学習に関する意識や実態、ニーズ等を総合的に把握し、今後の施策展開の参考とするために実施しました。

02. 調査概要

- ◇調査対象者 町内在住の満18歳以上（令和4年10月1日現在）の方1,200人（無作為抽出）
- ◇調査期間 令和4年11月11日（金）～12月2日（金）
- ◇調査方法 郵送による調査票の配付・郵送による調査票の回収、またはWEBでの回答
- ◇有効回収数 353件（うち紙：259件、WEB：94件）
- ◇有効回収率 29.4%

03. 報告書の見方

- ◇図表中の「n（number of cases）」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇回答結果の割合「%」は集計対象者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「無回答」を除き、回答の割合が高いもの**第1位**と**第2位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n）が少ない（20件未満）クロス集計については、結果を参考値として示すにとどめており、分析分は掲載していません。
- ◇前回調査とは、平成28年9月に実施した『愛川町生涯学習推進プランアンケート調査』を指します（前回の報告書において「無回答」の扱いが判断できない問等は不掲載）。また、前回調査との比較における「全体」は今回調査を指します。
- ◇前回調査との比較において、今回調査のみの選択肢、あるいは前回調査のみの選択肢には、図表中で数値はありません。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

生涯学習活動について

- 生涯学習に『関心がある』は7割程度となっています。年代別にみると、18～29歳では5割と他の年代と比べて低くなっています。
- 過去1年間に生涯学習を「行った」は2割台後半で、前回調査から10ポイント以上減少しています。年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「行った」が高くなっています。
- 行った生涯学習は、「スポーツ」が最も高く、次いで「趣味的なもの」「地域活動に関するもの」の順となっています。
- 生涯学習を知った方法は、「友人や知人からの情報」が最も高く、次いで「町や県の広報紙」「インターネット（町のホームページ等）」の順となっています。前回調査と比較すると、「インターネット（町のホームページ等）」が約10ポイント増加し、「友人や知人からの情報」「町や県の広報紙」がそれぞれ約10ポイント減少しています。
- 生涯学習を行う方法は、「個人」が最も高くなっています。
- 生涯学習を行っている場所は、「公共の施設」が最も高く、次いで「自宅（オンラインを含む）」「民間の施設」の順となっています。前回調査と比較すると、「自宅」が10ポイント以上増加し、「公共の施設」「民間の施設」がそれぞれ10ポイント以上減少しています。
- 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の活かし方は、「自分の人生がより豊かになっている」が最も高く、次いで「自分の健康の維持増進に役立っている」「日頃の生活や地域での活動に活かしている」の順となっています。
- 生涯学習を行う上での支障は、「仕事や家事が忙しく、自由時間がない」「具体的なきっかけがない」がともに3割台後半で上位となっています。
- 行いたいと考えている生涯学習は、「スポーツ」が最も高く、次いで「趣味的なもの」「園芸」の順となっています。
- 生涯学習を行いやすい時間帯は、18～29歳では「土曜日の午後」、30～39歳、50～59歳では「日曜日の午前中」、60～69歳では「平日の午前中」、70歳以上では「平日の午後」がそれぞれ最も高くなっています。40～49歳では「平日の午前中」と「日曜日の午前中」が同率で最も高くなっています。
- 生涯学習を行っていく上で知りたい情報は、「催し物や講座の内容について」が5割を超えています。
- 生涯学習事業に関する情報の発信媒体について、18～29歳では「SNS（Twitter・LINE・Instagram等）」、40歳以上では「町や県の広報紙」がそれぞれ最も高くなっています。30～39歳では「町や県の広報紙」と「SNS（Twitter・LINE・Instagram等）」が同率で最も高くなっています。

- どのような方法での生涯学習の機会が増えればよいと思うかについて、「公民館等における講座や教室」が最も高く、次いで「体験活動」「インターネット」の順となっています。年代別にみると、18～49歳では「インターネット」、50歳以上では「公民館等における講座や教室」が最も高くなっています。
- 普段私用で利用している情報通信機器は、いずれの年代も「スマートフォン」が最も高くなっていますが、18～59歳では9割を超えているのに対し、60～69歳では8割台、70歳以上では5割台となっています。
- 「あいかわ出前講座」や「あいかわ楽習応援団 みんなの先生」の利用は、いずれも1割以下となっています。
- 参加したい形式の生涯学習の講座について、30～59歳では「参加体験（ワークショップ）型」、60歳以上では「講義・講演形式」がそれぞれ最も高くなっています。18～29歳では「参加体験（ワークショップ）型」と「WEBで参加・学習できる形式」が同率で最も高くなっています。
- 生涯学習施設を利用するにあたって重視する機能について、「利用方法がわかりやすい」「空き状況がいつでも確認できて、気軽に予約や利用ができる」がともに5割以上となっています。

大学等における社会人の学習について

- 一度社会人となった後に大学等において「正規課程で学習したことがある（現在学習している）」は1割に満たない一方、「学習したことはないが、今後は学習してみたい」が2割台後半となっています。
- 大学等で学ぶ際に期待する成果について、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が最も高く、次いで「資格を取得すること」「特定分野の先端的・専門的な知識を得ること」の順となっています。
- 社会人が大学等で学習しやすくするために必要な取組については、「学費の負担等に対する経済的な支援」が最も高く、次いで「土日祝日や夜間等、開講時間の配慮」「学習に関する情報を得る機会の拡充」の順となっています。

社会的な活動について

- 社会的な活動への参加意向について、「参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が3割台半ばとなっている一方、「参加していないが、今後機会があれば参加したい」と「参加している」を合わせると半数近くとなっています。
- 参加している社会的な活動は、「地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事」が最も高く、次いで「道路や公園等の地域の清掃活動」「子ども会やPTA等青少年健全育成活動」の順となっています。前回調査と比較すると、「施設等でのボランティア活動」が10ポイント以上減少しています。
- 社会的な活動を行う上で役立ったことについて、「自分の活動で得た経験」が5割を超えています。
- 社会的な活動に参加したいと思わない理由について、「仕事や家事が忙しい」が最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」「人間関係がわずらわしい」となっています。
- 今後参加したい活動については、「まちに緑や花を増やす活動」「道路や公園等の地域の清掃活動」がともに2割前後となっています。
- 多文化共生を進めるにあたり、してみたい活動についてみると、「特にない」が最も高く、次いで「外国の文化や料理等を学びたい」「外国語を学びたい」がともに2割台となっています。

町の取組について

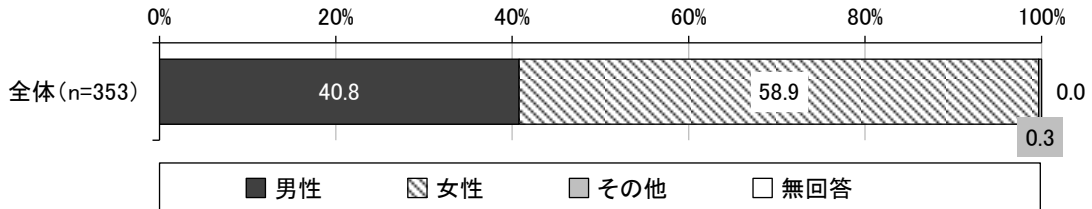
- 生涯学習を行っていく上で、今後町に望むことについて、「町の広報紙やホームページによる情報提供を充実させる」が最も高く、次いで「公共施設の整備・備品を充実させる」「公民館やスポーツ施設での講座や教室を増やす」の順となっています。年代別にみると、18～29歳、40～49歳では「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」、30～39歳では「公共施設の整備・備品を充実させる」、60歳以上では「町の広報紙やホームページによる情報提供を充実させる」がそれぞれ最も高くなっています。50～59歳では「公共施設の整備・備品を充実させる」と「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」が同率で最も高くなっています。

Ⅲ アンケート調査結果

01. あなたご自身のことについて

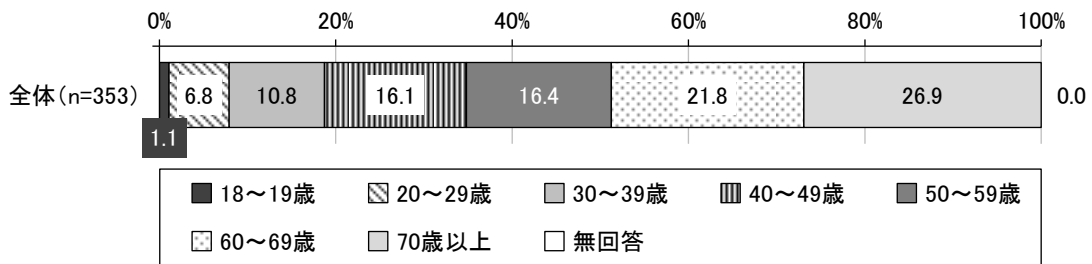
問1 性別(単数回答)

性別についてみると、「女性」が58.9%、「男性」が40.8%となっています。



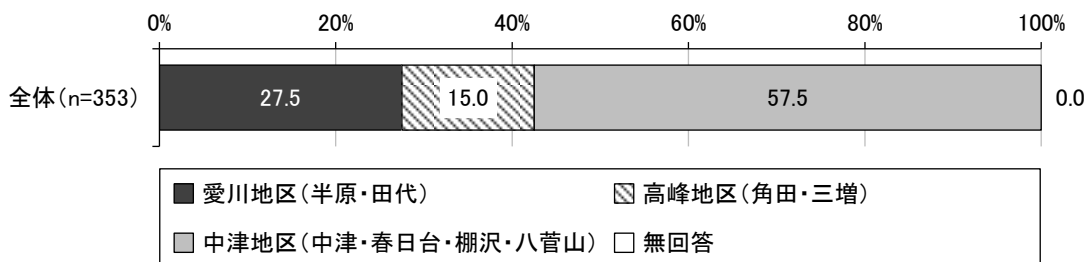
問2 年代(単数回答)

年代についてみると、「70歳以上」が26.9%と最も高く、次いで「60～69歳」が21.8%、「50～59歳」が16.4%となっています。



問3 お住まいの地域(単数回答)

お住まいの地域についてみると、「中津地区(中津・春日台・棚沢・八菅山)」が57.5%と最も高く、次いで「愛川地区(半原・田代)」が27.5%、「高峰地区(角田・三増)」が15.0%となっています。

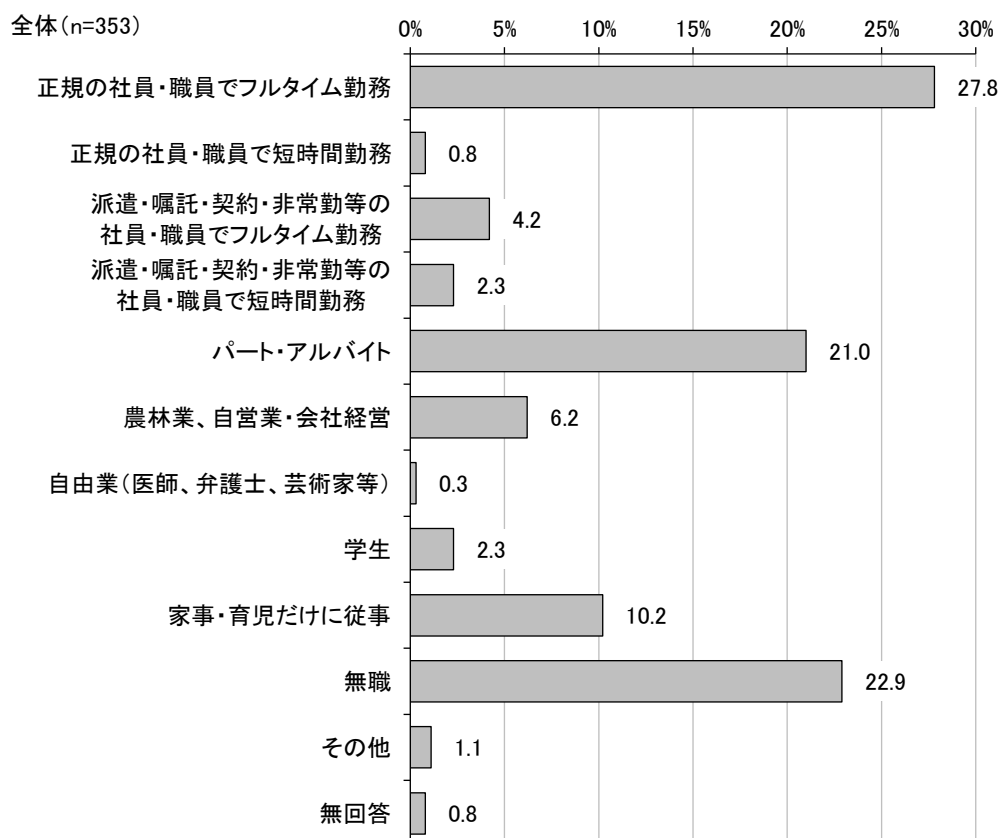


問4 職業(単数回答)

職業についてみると、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が27.8%と最も高く、次いで「無職」が22.9%、「パート・アルバイト」が21.0%となっています。

性別にみると、男性では「正規の社員・職員でフルタイム勤務」、女性では「パート・アルバイト」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～59歳では「正規の社員・職員でフルタイム勤務」、60歳以上では「無職」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

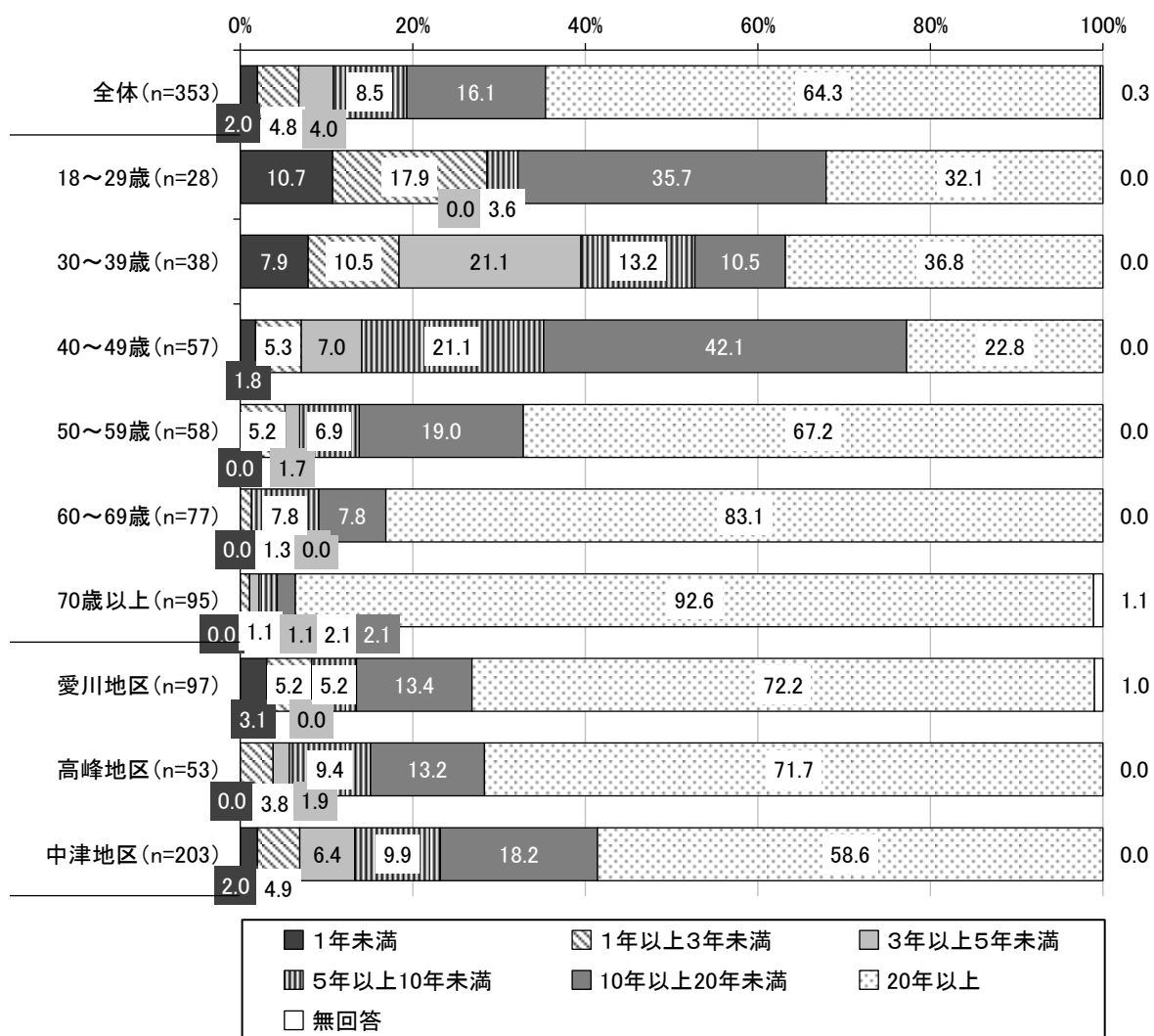
単位：%		正規の社員・職員でフルタイム勤務	正規の社員・職員で短時間勤務	派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員でフルタイム勤務	派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員で短時間勤務	パート・アルバイト	農林業、自営業・会社経営	自由業（医師、弁護士、芸術家等）	学生	家事・育児だけに従事	無職	その他	無回答
全体 (n=353)		27.8	0.8	4.2	2.3	21.0	6.2	0.3	2.3	10.2	22.9	1.1	0.8
性別	男性 (n=144)	45.8	0.7	5.6	2.8	6.9	9.0	0.0	2.8	0.0	25.7	0.7	0.0
	女性 (n=208)	14.9	1.0	3.4	1.9	30.8	4.3	0.5	1.9	17.3	21.2	1.4	1.4
年代別	18～29歳 (n=28)	42.9	0.0	3.6	0.0	10.7	0.0	0.0	28.6	7.1	3.6	3.6	0.0
	30～39歳 (n=38)	57.9	0.0	2.6	0.0	23.7	2.6	0.0	0.0	10.5	2.6	0.0	0.0
	40～49歳 (n=57)	47.4	3.5	3.5	0.0	22.8	7.0	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0
	50～59歳 (n=58)	43.1	1.7	5.2	3.4	31.0	3.4	0.0	0.0	6.9	5.2	0.0	0.0
	60～69歳 (n=77)	9.1	0.0	10.4	5.2	23.4	7.8	1.3	0.0	14.3	27.3	1.3	0.0
	70歳以上 (n=95)	5.3	0.0	0.0	2.1	13.7	9.5	0.0	0.0	9.5	54.7	2.1	3.2

問5 居住年数(単数回答)

居住年数についてみると、「20年以上」が64.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が16.1%、「5年以上10年未満」が8.5%となっています。

年代別にみると、18～29歳、40～49歳では「10年以上20年未満」、その他の年代では「20年以上」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「20年以上」が最も高くなっていますが、中津地区では58.6%とやや低くなっています。



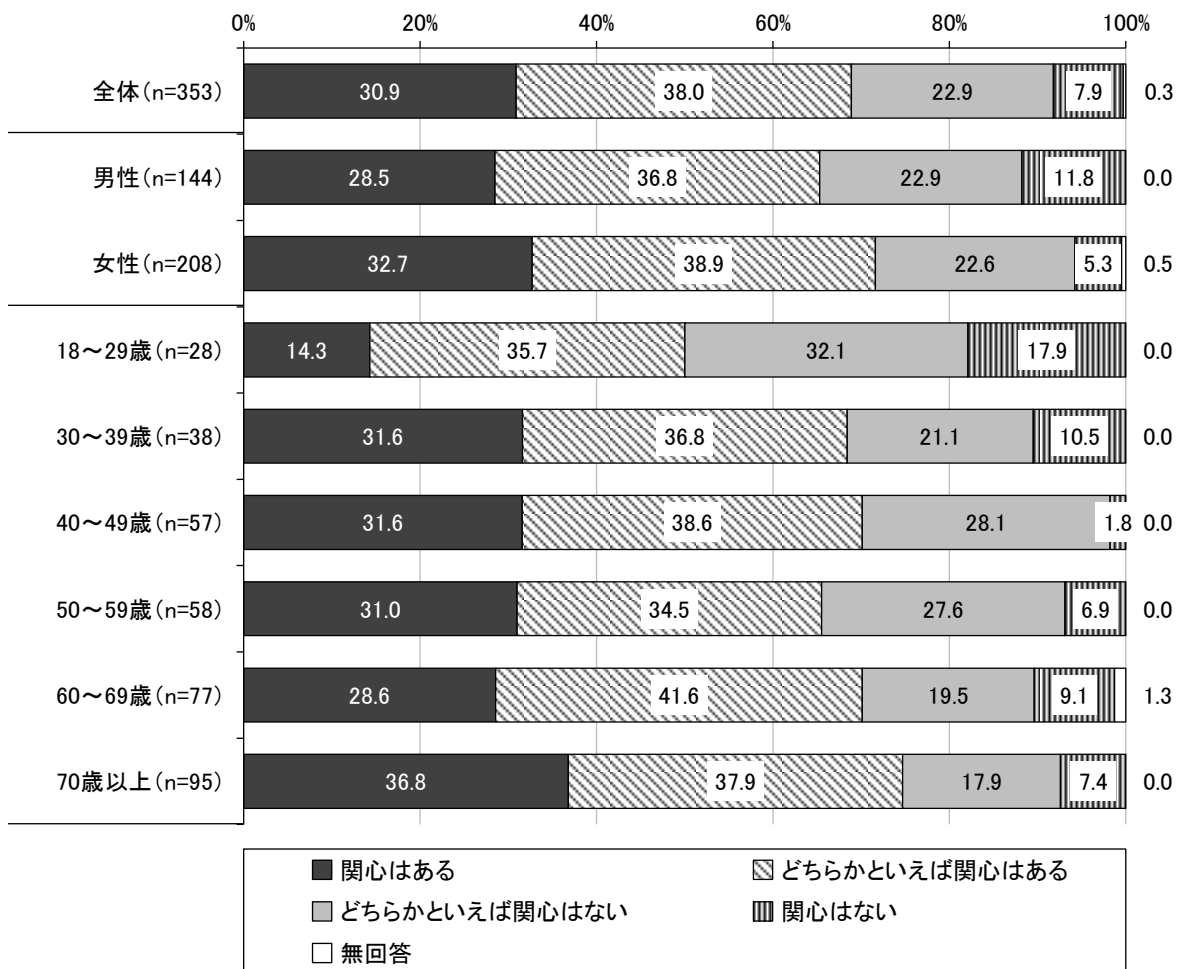
02. 生涯学習活動について

問6 生涯学習に関心はありますか。(単数回答)

生涯学習への関心についてみると、「どちらかといえば関心はある」が38.0%と最も高く、次いで「関心はある」が30.9%、「どちらかといえば関心はない」が22.9%となっています。『関心はある計（「関心はある」と「どちらかといえば関心はある」の合計）』は68.9%、『関心はない計（「関心はない」と「どちらかといえば関心はない」の合計）』は30.8%となっています。

性別にみると、『関心がある計』は女性が71.6%と男性を6.3ポイント上回っています。

年代別にみると、『関心がある計』は18～29歳では50.0%と他の年代と比べて低くなっています。



問7 この1年間に何らかの生涯学習を行いましたか。(単数回答)

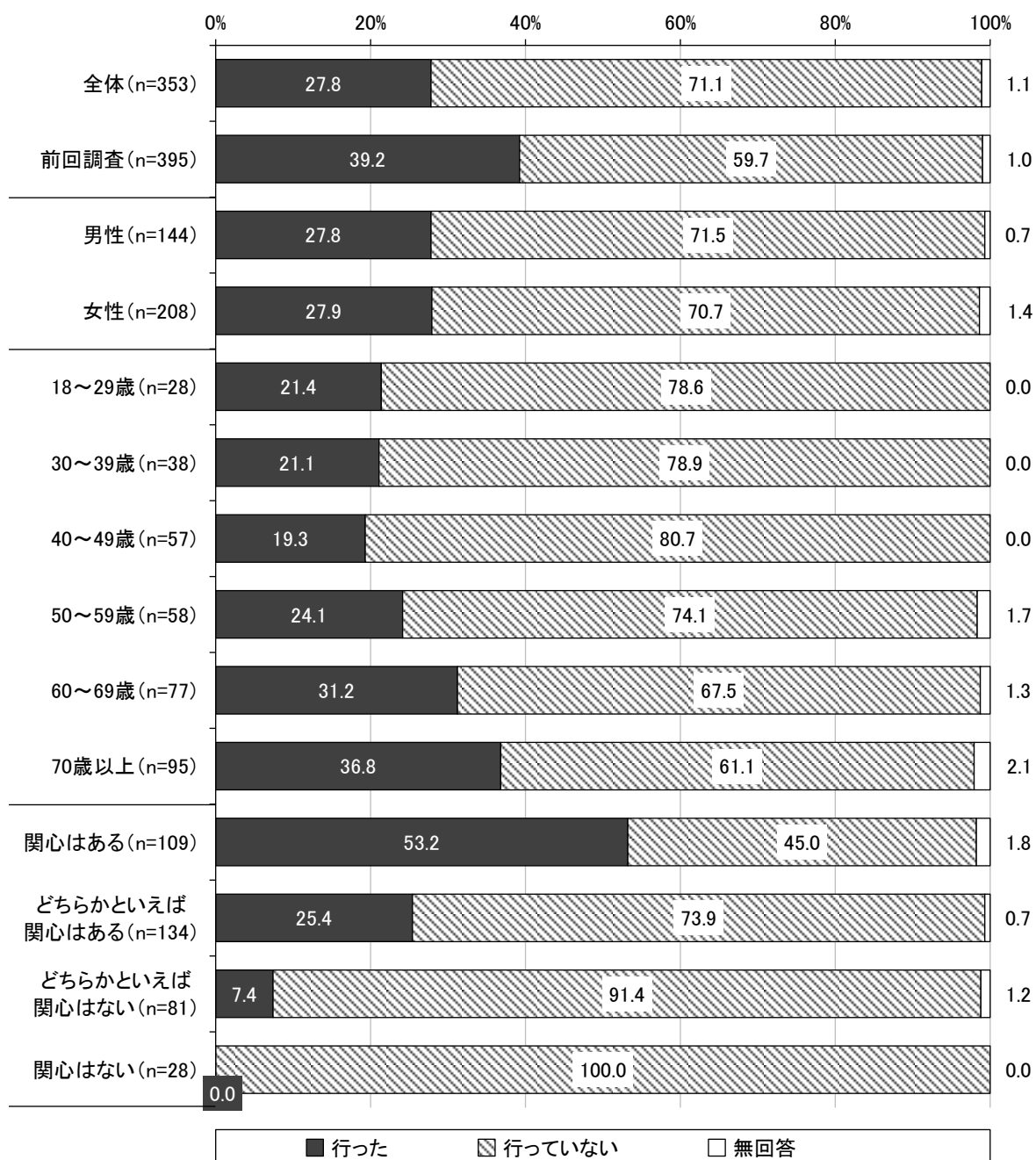
過去1年間に生涯学習を行ったかについてみると、「行っていない」が71.1%と、「行った」の27.8%を大幅に上回っています。

前回調査と比較すると、「行った」が11.4ポイント減少しています。

性別による大きな差はみられません。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「行った」が高くなっています。

生涯学習への関心別にみると、関心が大きくなるにつれて「行った」が高くなっています。



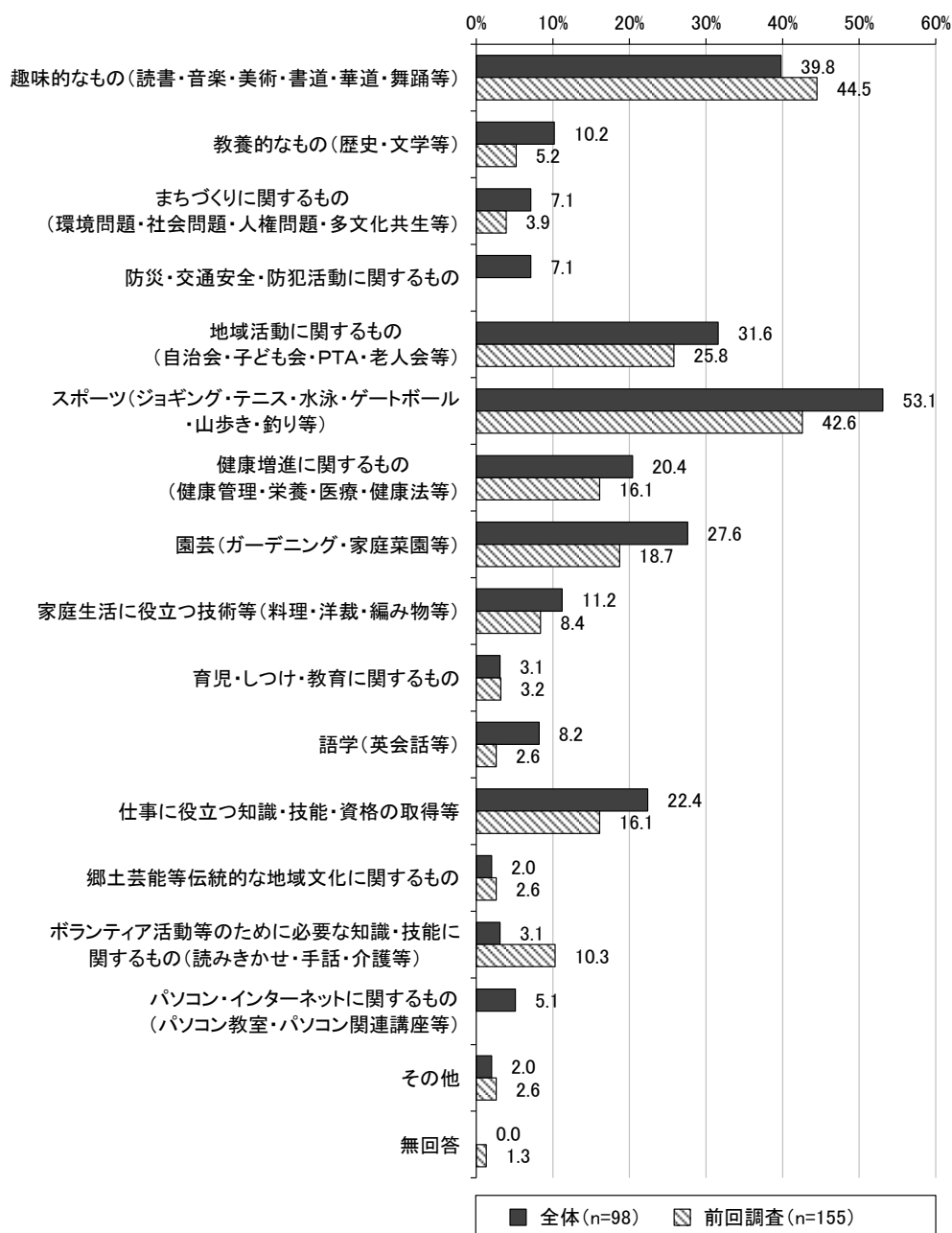
問7で「(生涯学習を)行った」とお答えの方に伺います。

問8 行った生涯学習の内容はどのようなものですか。(複数回答)

行った生涯学習の内容についてみると、「スポーツ」が53.1%と最も高く、次いで「趣味的なもの」が39.8%、「地域活動に関するもの」が31.6%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツ」が10.5ポイント、「園芸」が8.9ポイントそれぞれ増加し、「ボランティア活動等のために必要な知識・技能に関するもの」が7.2ポイント減少しています。

性別にみると、男女ともに「スポーツ」が最も高くなっていますが、女性が60.3%と男性を17.8ポイント上回っています。また、男性では「まちづくりに関するもの」「仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等」、女性では「趣味的なもの」「健康増進に関するもの」「家庭生活に役立つ技術等」がそれぞれ異性を大きく上回っています。



■クロス集計

単位：%		道・舞踊等) 趣味的なもの (読書・音楽・美術・書道・華)	教養的なもの (歴史・文学等)	まちづくりに関するもの (環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等)	防災・交通安全・防犯活動に関するもの	地域活動に関するもの (自治会・子ども会・PTA・老人会等)	スポーツ(ジョギング・テニス・水泳・ゲートボール・山歩き・釣り等)	健康増進に関するもの (健康管理・栄養・医療・健康法等)	園芸(ガーデニング・家庭菜園等)	家庭生活に役立つ技術等 (料理・洋裁・編み物等)	育児・しつけ・教育に関するもの	語学(英会話等)	仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等	郷土芸能等伝統的な地域文化に関するもの	ボランティア活動等のために必要な知識・技能に関するもの (読みきかせ・手話・介護等)	パソコン・インターネットに関するもの (パソコン関連講座等)	その他	無回答
全体(n=98)		39.8	10.2	7.1	7.1	31.6	53.1	20.4	27.6	11.2	3.1	8.2	22.4	2.0	3.1	5.1	2.0	0.0
前回調査(n=155)		44.5	5.2	3.9		25.8	42.6	16.1	18.7	8.4	3.2	2.6	16.1	2.6	10.3		2.6	1.3
性別	男性(n=40)	22.5	12.5	17.5	10.0	32.5	42.5	12.5	30.0	2.5	5.0	12.5	30.0	2.5	5.0	5.0	2.5	0.0
	女性(n=58)	51.7	8.6	0.0	5.2	31.0	60.3	25.9	25.9	17.2	1.7	5.2	17.2	1.7	1.7	5.2	1.7	0.0
年代別	18～29歳(n=6)	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	30～39歳(n=8)	25.0	12.5	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳(n=11)	27.3	9.1	0.0	0.0	36.4	45.5	18.2	18.2	0.0	9.1	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0
	50～59歳(n=14)	35.7	7.1	7.1	14.3	42.9	35.7	21.4	14.3	21.4	7.1	14.3	35.7	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0
	60～69歳(n=24)	29.2	8.3	4.2	4.2	12.5	62.5	25.0	29.2	8.3	0.0	4.2	25.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
	70歳以上(n=35)	51.4	14.3	11.4	5.7	45.7	54.3	22.9	42.9	14.3	2.9	2.9	5.7	2.9	5.7	8.6	0.0	0.0

※今回調査の「まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等)」は前回調査では「まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題等)」

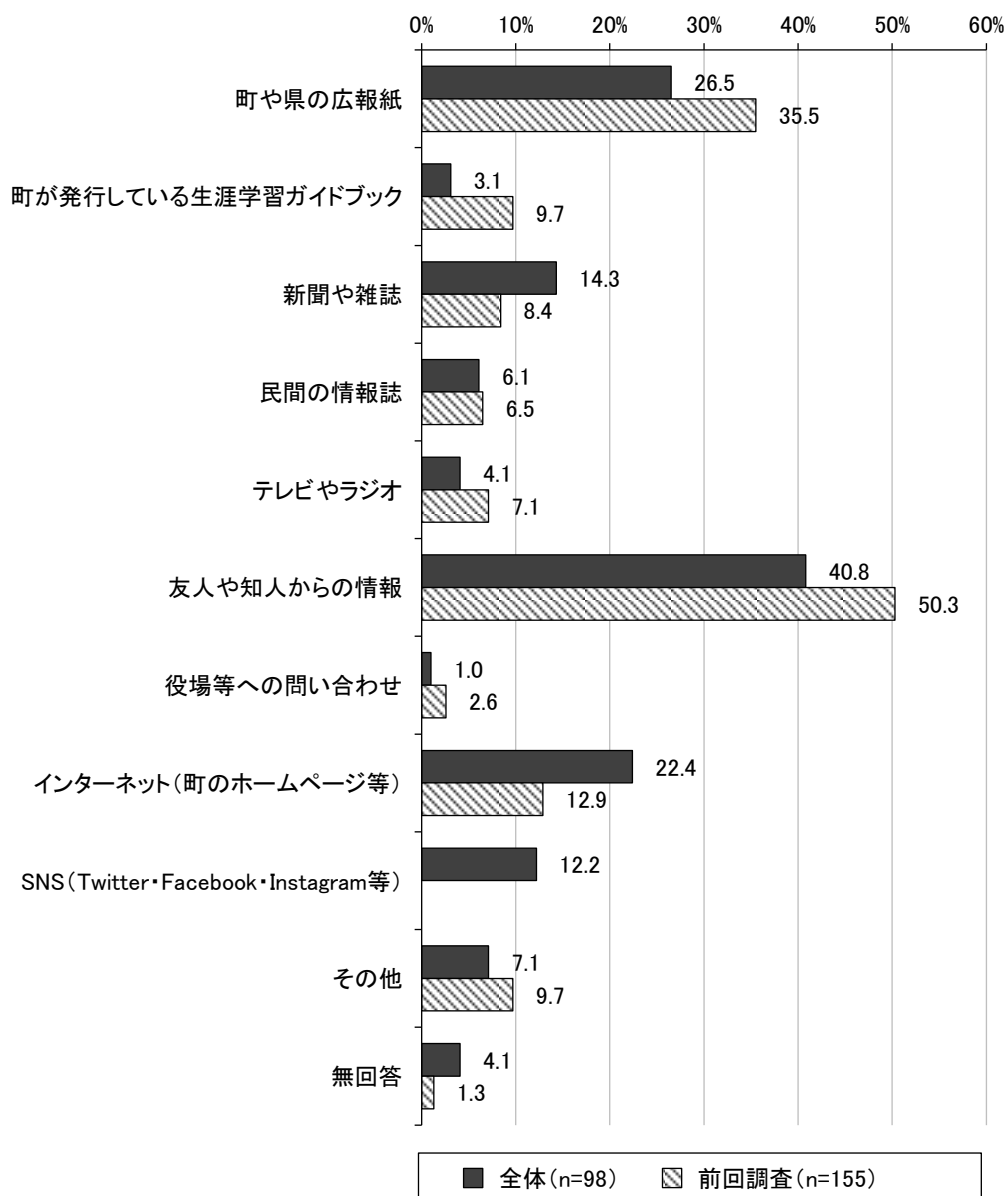
問7で「(生涯学習を)行った」とお答えの方に伺います。

問9 その生涯学習をどのような方法で知りましたか。(複数回答)

生涯学習を知った方法についてみると、「友人や知人からの情報」が40.8%と最も高く、次いで「町や県の広報紙」が26.5%、「インターネット(町のホームページ等)」が22.4%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット(町のホームページ等)」が9.5ポイント増加し、「友人や知人からの情報」が9.5ポイント、「町や県の広報紙」が9.0ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、男性では「インターネット」が12.8ポイント、女性では「友人や知人からの情報」が18.3ポイント、それぞれ異性を上回っています。



■クロス集計

単位：%		町や県の広報紙	町が発行している生涯学習ガイドブック	新聞や雑誌	民間の情報誌	テレビやラジオ	友人や知人からの情報	役場等への問い合わせ	インターネット（町のホームページ等）	INS（Twitter・Facebook等）	その他	無回答
全体(n=98)		26.5	3.1	14.3	6.1	4.1	40.8	1.0	22.4	12.2	7.1	4.1
前回調査(n=155)		35.5	9.7	8.4	6.5	7.1	50.3	2.6	12.9		9.7	1.3
性別	男性(n=40)	30.0	0.0	20.0	10.0	5.0	30.0	0.0	30.0	10.0	2.5	7.5
	女性(n=58)	24.1	5.2	10.3	3.4	3.4	48.3	1.7	17.2	13.8	10.3	1.7
年代別	18～29歳(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	30～39歳(n=8)	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	12.5	12.5	12.5
	40～49歳(n=11)	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	36.4	36.4	18.2	0.0
	50～59歳(n=14)	7.1	0.0	21.4	7.1	0.0	35.7	0.0	35.7	14.3	7.1	7.1
	60～69歳(n=24)	16.7	0.0	12.5	4.2	0.0	58.3	0.0	20.8	4.2	8.3	4.2
	70歳以上(n=35)	51.4	8.6	17.1	8.6	11.4	42.9	2.9	5.7	0.0	2.9	2.9

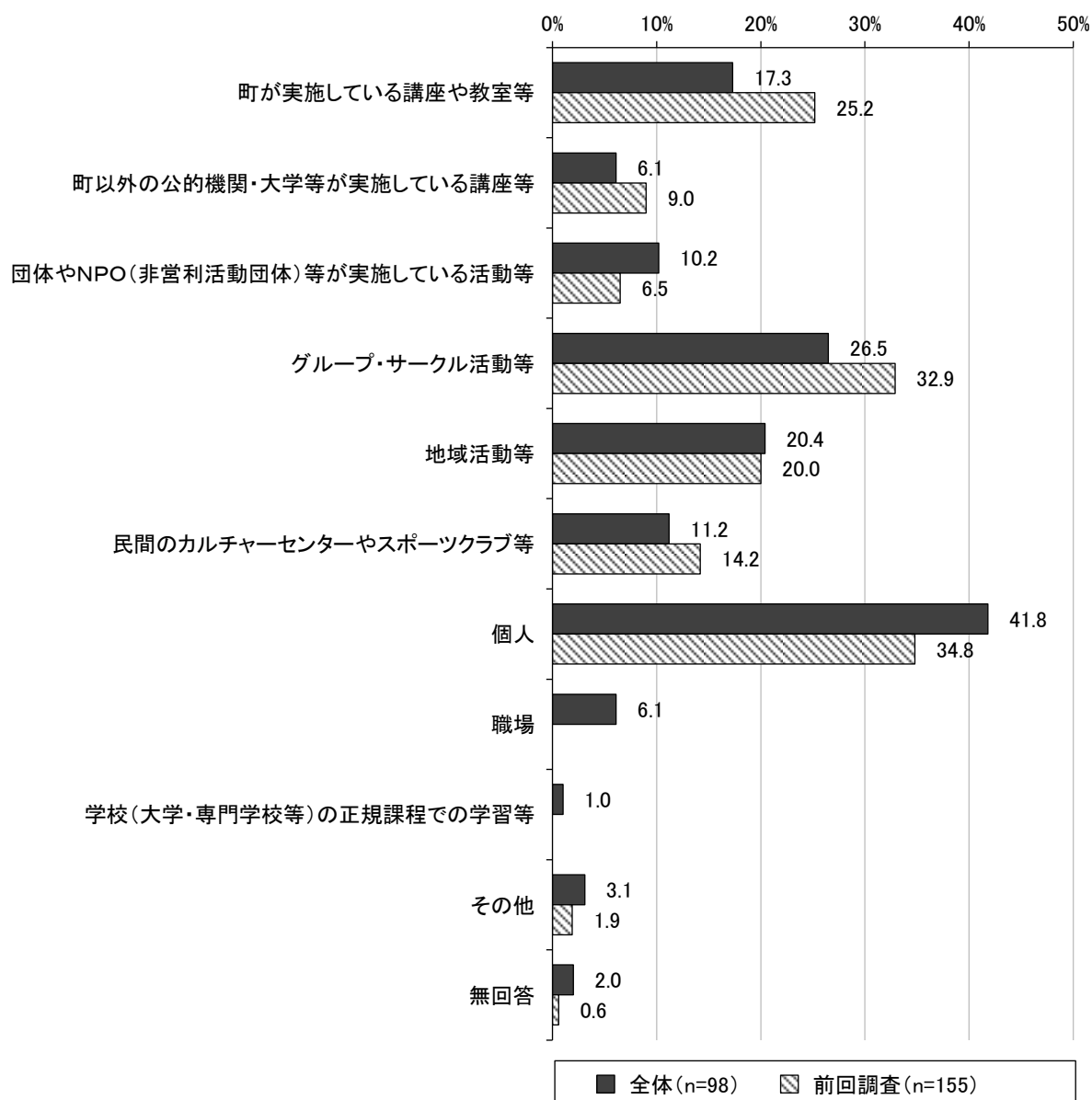
問7で「(生涯学習を)行った」とお答えの方に伺います。

問10 その生涯学習をどのような方法で行っていますか。(複数回答)

生涯学習を行っている方法についてみると、「個人」が41.8%と最も高く、次いで「グループ・サークル活動等」が26.5%、「地域活動等」が20.4%となっています。

前回調査と比較すると、「個人」が7.0ポイント増加し、「町が実施している講座や教室等」が7.9ポイント、「グループ・サークル活動等」が6.4ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、「グループ・サークル活動等」は女性が36.2%と男性を23.7ポイント上回っています。



■クロス集計

単位：%		町が実施している講座や教室等	町以外の公的機関・大学等が実施している講義等	団体やNPO（非営利活動団体）等が実施している活動等	グループ・サークル活動等	地域活動等	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブ等	個人	職場	学校（大学・専門学校等）の正規課程での学習等	その他	無回答
全体(n=98)		17.3	6.1	10.2	26.5	20.4	11.2	41.8	6.1	1.0	3.1	2.0
前回調査(n=155)		25.2	9.0	6.5	32.9	20.0	14.2	34.8			1.9	0.6
性別	男性(n=40)	15.0	10.0	15.0	12.5	25.0	7.5	37.5	7.5	2.5	5.0	5.0
	女性(n=58)	19.0	3.4	6.9	36.2	17.2	13.8	44.8	5.2	0.0	1.7	0.0
年代別	18～29歳(n=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	30～39歳(n=8)	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5
	40～49歳(n=11)	0.0	0.0	18.2	18.2	36.4	18.2	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(n=14)	0.0	0.0	21.4	7.1	35.7	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	60～69歳(n=24)	16.7	12.5	8.3	37.5	12.5	8.3	29.2	0.0	4.2	0.0	4.2
	70歳以上(n=35)	37.1	2.9	2.9	34.3	20.0	14.3	31.4	0.0	0.0	5.7	0.0

※今回調査の「町以外の公的機関・大学等が実施している講座等」は前回調査では「町以外の公的機関が実施している講座等」

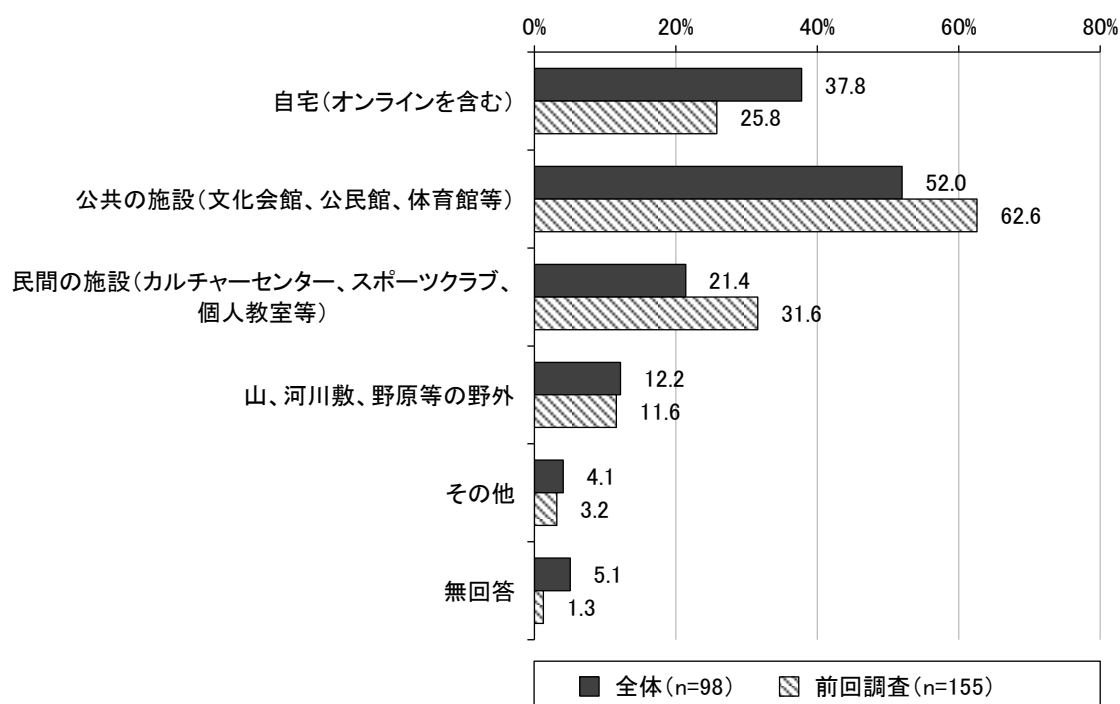
問7で「(生涯学習を)行った」とお答えの方に伺います。

問11 その生涯学習をどのような場所で行っていますか。(複数回答)

生涯学習を行っている場所についてみると、「公共の施設(文化会館、公民館、体育館等)」が52.0%と最も高く、次いで「自宅(オンラインを含む)」が37.8%、「民間の施設(カルチャーセンター、スポーツクラブ、個人教室等)」が21.4%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅(オンラインを含む)」が12.0ポイント増加し、「公共の施設(文化会館、公民館、体育館等)」が10.6ポイント、「民間の施設(カルチャーセンター、スポーツクラブ、個人教室等)」が10.2ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、男性では「山、河川敷、野原等の野外」が17.3ポイント、女性では「公共の施設(文化会館、公民館、体育館等)」が24.6ポイント、それぞれ異性を上回っています。



■クロス集計

単位：%		自宅 (オンラインを含む)	公共の施設 (文化会館、公民館、体 育館等)	民間の施設 (カルチャーセンター、 スポーツクラブ、個人教室等)	山、河川敷、野原等の野外	その他	無回答
全体(n=98)		37.8	52.0	21.4	12.2	4.1	5.1
前回調査(n=155)		25.8	62.6	31.6	11.6	3.2	1.3
性別	男性(n=40)	37.5	37.5	17.5	22.5	5.0	10.0
	女性(n=58)	37.9	62.1	24.1	5.2	3.4	1.7
年代別	18～29歳(n=6)	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=8)	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5
	40～49歳(n=11)	54.5	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0
	50～59歳(n=14)	57.1	28.6	14.3	21.4	14.3	7.1
	60～69歳(n=24)	25.0	58.3	20.8	16.7	4.2	8.3
	70歳以上(n=35)	34.3	65.7	22.9	8.6	2.9	2.9

※今回調査の「自宅（オンラインを含む）」は前回調査では「自宅」

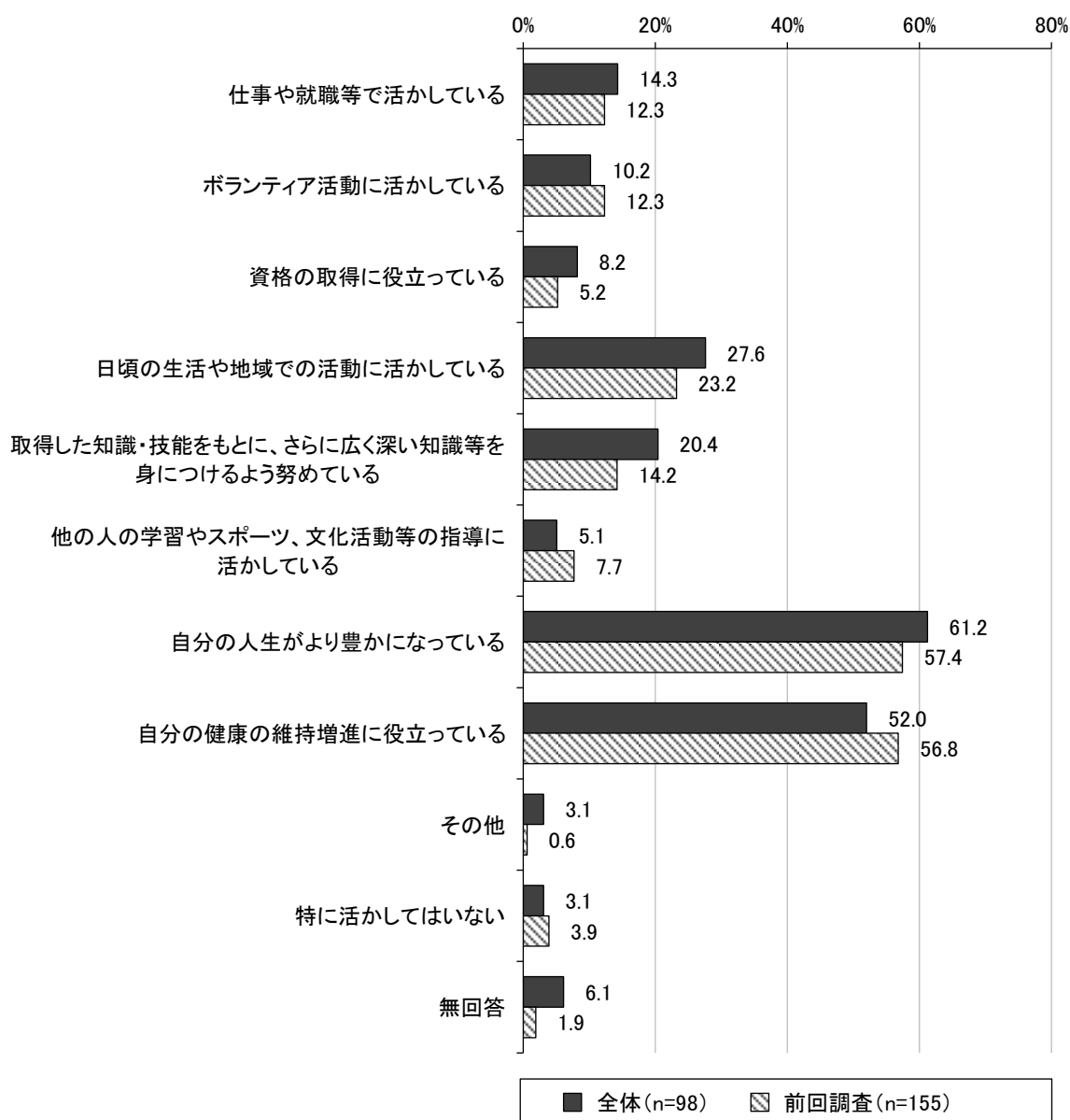
問7で「(生涯学習を)行った」とお答えの方に伺います。

問12 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように活かしていますか。(複数回答)

生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように活かしているかについてみると、「自分の人生がより豊かになっている」が61.2%と最も高く、次いで「自分の健康の維持増進に役立っている」が52.0%、「日頃の生活や地域での活動に活かしている」が27.6%となっています。

前回調査と比較すると、「取得した知識・技能をもとに、さらに広く深い知識等を身につけるよう努めている」が6.2ポイント増加しています。

性別にみると、「自分の人生がより豊かになっている」は31.6ポイント、「自分の健康の維持増進に役立っている」は20.3ポイント、それぞれ女性が男性を上回っています。



■クロス集計

単位：%		仕事や就職等で活かしている	ボランティア活動に活かしている	資格の取得に役立っている	日頃の生活や地域での活動に活かしている	取得した知識・技能をもとに、さらに広く深い知識等を身につけるよう努めている	他の人の学習やスポーツ、文化活動等の指導に活かしている	自分の人生がより豊かになっている	自分の健康の維持増進に役立っている	その他	特に活かしてはいない	無回答
全体 (n=98)		14.3	10.2	8.2	27.6	20.4	5.1	61.2	52.0	3.1	3.1	6.1
前回調査 (n=155)		12.3	12.3	5.2	23.2	14.2	7.7	57.4	56.8	0.6	3.9	1.9
性別	男性 (n=40)	20.0	15.0	7.5	30.0	25.0	7.5	42.5	40.0	2.5	5.0	12.5
	女性 (n=58)	10.3	6.9	8.6	25.9	17.2	3.4	74.1	60.3	3.4	1.7	1.7
年代別	18～29歳 (n=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=8)	25.0	12.5	25.0	37.5	25.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5
	40～49歳 (n=11)	18.2	0.0	18.2	36.4	36.4	18.2	81.8	45.5	9.1	18.2	0.0
	50～59歳 (n=14)	28.6	7.1	14.3	21.4	21.4	7.1	64.3	35.7	0.0	0.0	7.1
	60～69歳 (n=24)	20.8	12.5	8.3	16.7	16.7	4.2	50.0	58.3	4.2	0.0	8.3
	70歳以上 (n=35)	0.0	14.3	0.0	31.4	14.3	2.9	65.7	68.6	0.0	0.0	5.7

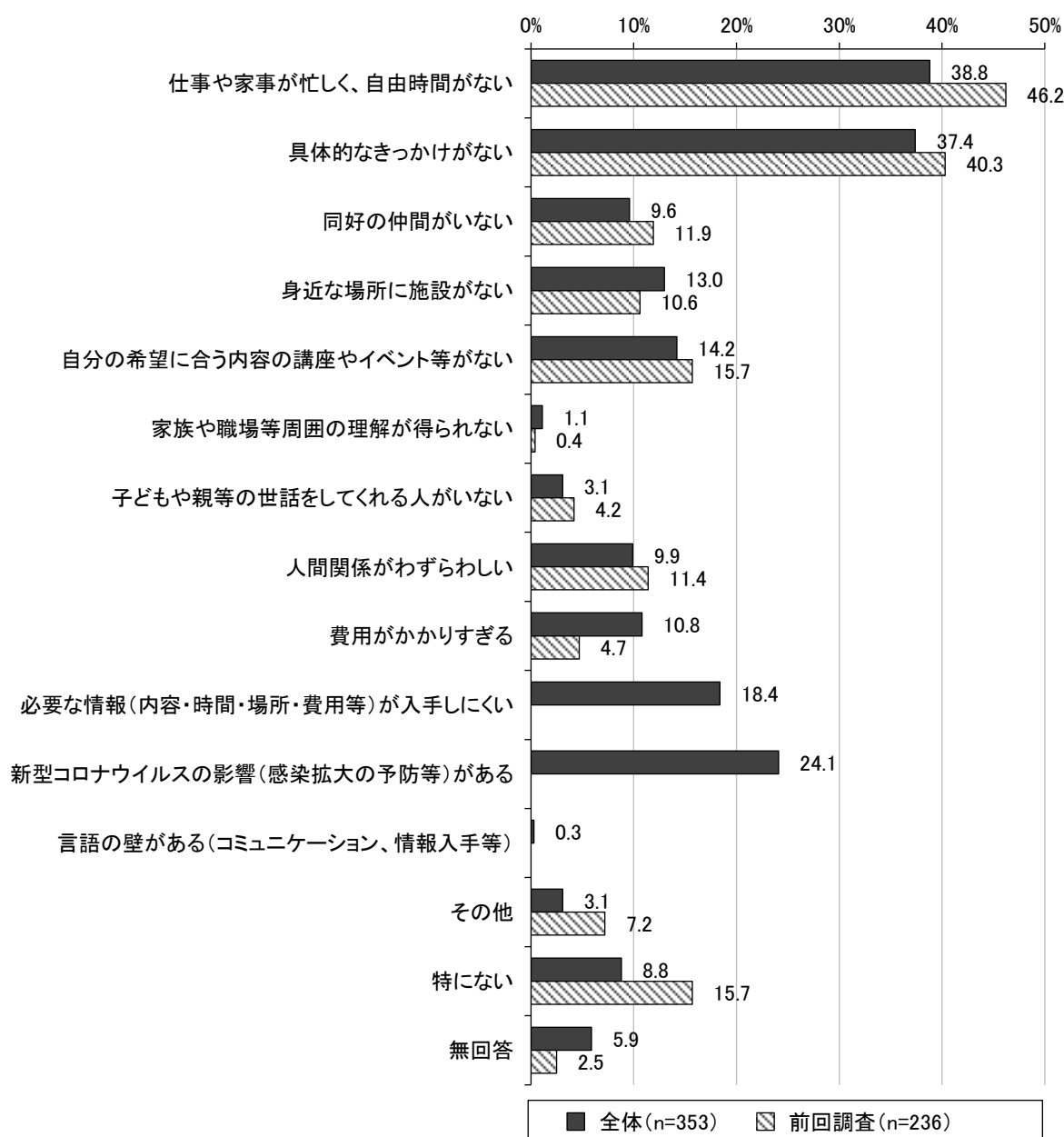
問13 生涯学習を行う上で、どのようなことが支障になりますか。(複数回答)

生涯学習を行う上で支障になることについてみると、「仕事や家事が忙しく、自由時間がない」が38.8%と最も高く、次いで「具体的なきっかけがない」が37.4%、「新型コロナウイルスの影響（感染拡大の予防等）がある」が24.1%となっています。

性別にみると、「身近な場所に施設がない」は10.4ポイント、「新型コロナウイルスの影響（感染拡大の予防等）がある」は8.0ポイント、それぞれ女性が男性を上回っています。

年代別にみると、18～59歳では「仕事や家事が忙しく、自由時間がない」、60歳以上では「具体的なきっかけがない」がそれぞれ最も高くなっています。

生涯学習実施有無別にみると、【行った】では「仕事や家事が忙しく、自由時間がない」、【行っていない】では「具体的なきっかけがない」がそれぞれ最も高くなっています。



※前回調査では生涯学習活動を「行っていない」と回答した人限定

■クロス集計

単位：%		仕事や家事が忙しく、自由時間がない	具体的なきっかけがない	同好の仲間がない	身近な場所に施設がない	自分の希望に合う内容の講座やイベント等がない	家族や職場等周囲の理解が得られない	子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	人間関係がわずらわしい	費用がかかりすぎる	必要な情報（内容・時間・場所・費用等）が入手しにくい	新型コロナウイルスの影響（感染拡大の予防等）がある	言語の壁がある（コミュニケーション、情報入手等）	その他	特になし	無回答
全体(n=353)		38.8	37.4	9.6	13.0	14.2	1.1	3.1	9.9	10.8	18.4	24.1	0.3	3.1	8.8	5.9
前回調査(n=236)		46.2	40.3	11.9	10.6	15.7	0.4	4.2	11.4	4.7				7.2	15.7	2.5
性別	男性(n=144)	38.9	38.2	11.8	6.9	13.9	0.7	2.8	11.8	11.1	18.1	19.4	0.7	4.2	11.8	5.6
	女性(n=208)	38.5	36.5	8.2	17.3	14.4	1.4	3.4	8.2	10.6	18.8	27.4	0.0	2.4	6.7	6.3
年代別	18～29歳(n=28)	53.6	46.4	21.4	17.9	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1	25.0	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0
	30～39歳(n=38)	63.2	39.5	5.3	2.6	2.6	0.0	10.5	13.2	10.5	10.5	26.3	0.0	5.3	10.5	0.0
	40～49歳(n=57)	54.4	38.6	12.3	15.8	15.8	3.5	3.5	8.8	17.5	22.8	17.5	0.0	0.0	10.5	0.0
	50～59歳(n=58)	51.7	32.8	1.7	13.8	13.8	3.4	6.9	6.9	12.1	24.1	32.8	0.0	3.4	3.4	1.7
	60～69歳(n=77)	24.7	39.0	10.4	11.7	19.5	0.0	1.3	13.0	11.7	16.9	22.1	0.0	2.6	14.3	9.1
	70歳以上(n=95)	18.9	34.7	10.5	14.7	13.7	0.0	0.0	7.4	6.3	14.7	29.5	1.1	4.2	7.4	13.7
生涯学習 有無別	行った(n=98)	30.6	13.3	7.1	16.3	12.2	1.0	1.0	7.1	17.3	11.2	27.6	1.0	2.0	20.4	6.1
	行っていない(n=251)	42.2	47.0	10.4	12.0	15.1	1.2	4.0	11.2	8.4	21.5	22.7	0.0	3.2	4.4	5.6

※今回調査の「特になし」は前回調査では「興味がない、特に理由はない」

問14 これから行いたいと考えている生涯学習の内容はどのようなものですか。現在行っていて、今後も続けていきたいことでも結構です。(複数回答)

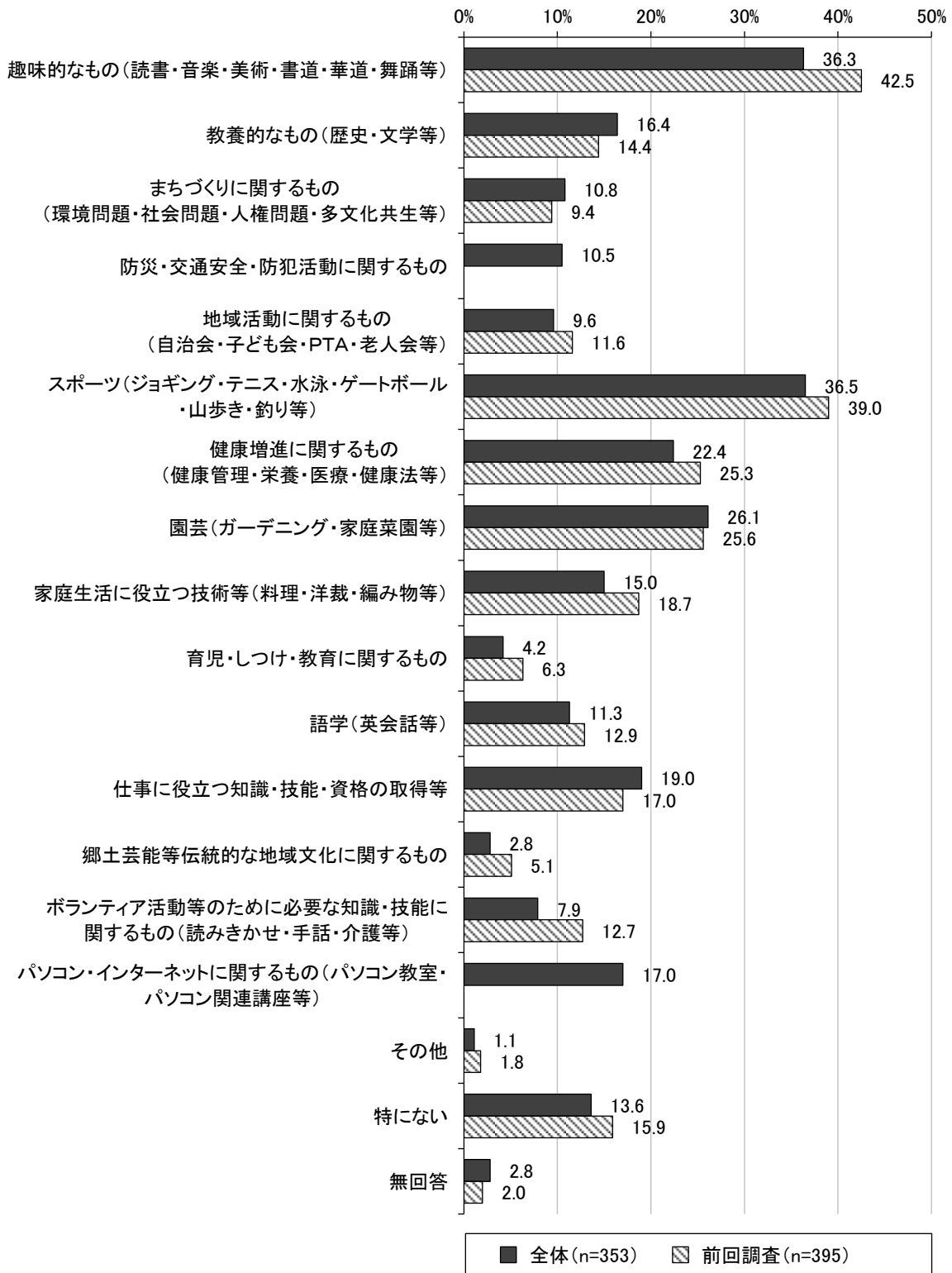
行いたいと考えている生涯学習の内容についてみると、「スポーツ」が36.5%と最も高く、次いで「趣味的なもの」が36.3%、「園芸」が26.1%となっています。

前回調査と比較すると、「趣味的なもの」が6.2ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「スポーツ」、女性では「趣味的なもの」が最も高くなっています。また、男性では「仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等」、女性では「趣味的なもの」「園芸」「家庭生活に役立つ技術等」がそれぞれ異性を大きく上回っています。

年代別にみると、18～29歳、50～59歳、70歳以上では「趣味的なもの」、30～49歳、60～69歳では「スポーツ」がそれぞれ最も高くなっています。

生涯学習実施有無別にみると、【行った】では「スポーツ」、【行っていない】では「趣味的なもの」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

単位:%		道・舞踊等)	趣味的なもの(読書・音楽・美術・書道・華)	教養的なもの(歴史・文学等)	まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等)	防災・交通安全・防犯活動に関するもの	地域活動に関するもの(自治会・子ども会・PTA・老人会等)	スポーツ(ジョギング・テニス・水泳・ゲートボール・山歩き・釣り等)	健康増進に関するもの(健康管理・栄養・医療・健康法等)	園芸(ガーデニング・家庭菜園等)	家庭生活に役立つ技術等(料理・洋裁・編み物等)	育児・しつけ・教育に関するもの	語学(英会話等)	仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等	郷土芸能等伝統的な地域文化に関するもの	ボランティア活動等のために必要な知識・技能に関するもの(読みきかせ・手話・介護等)	パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室・パソコン関連講座等)	その他	特になし	無回答
全体(n=353)		36.3	16.4	10.8	10.5	9.6	36.5	22.4	26.1	15.0	4.2	11.3	19.0	2.8	7.9	17.0	1.1	13.6	2.8	
前回調査(n=395)		42.5	14.4	9.4		11.6	39.0	25.3	25.6	18.7	6.3	12.9	17.0	5.1	12.7		1.8	15.9	2.0	
性別	男性(n=144)	27.1	20.1	13.2	13.2	11.8	41.7	19.4	18.8	6.9	3.5	9.0	24.3	2.1	4.9	13.2	2.1	13.2	2.1	
	女性(n=208)	42.3	13.9	9.1	8.7	8.2	33.2	24.5	31.3	20.2	4.8	13.0	14.9	3.4	10.1	19.7	0.5	13.9	3.4	
年代別	18~29歳(n=28)	46.4	17.9	7.1	14.3	7.1	25.0	7.1	0.0	14.3	14.3	25.0	32.1	3.6	3.6	14.3	0.0	21.4	0.0	
	30~39歳(n=38)	36.8	15.8	5.3	18.4	13.2	44.7	5.3	18.4	15.8	7.9	10.5	31.6	2.6	0.0	7.9	2.6	15.8	0.0	
	40~49歳(n=57)	40.4	12.3	15.8	8.8	5.3	43.9	22.8	19.3	21.1	7.0	12.3	36.8	3.5	7.0	26.3	0.0	12.3	0.0	
	50~59歳(n=58)	34.5	13.8	13.8	13.8	13.8	32.8	24.1	27.6	15.5	3.4	13.8	31.0	1.7	12.1	20.7	0.0	12.1	0.0	
	60~69歳(n=77)	32.5	19.5	9.1	9.1	6.5	44.2	31.2	33.8	16.9	2.6	16.9	6.5	2.6	10.4	19.5	0.0	14.3	3.9	
	70歳以上(n=95)	34.7	17.9	10.5	6.3	11.6	28.4	25.3	33.7	9.5	0.0	1.1	2.1	3.2	8.4	11.6	3.2	11.6	7.4	
有無別	生涯学習を行った(n=98)	46.9	21.4	14.3	7.1	16.3	52.0	33.7	37.8	21.4	2.0	16.3	18.4	4.1	11.2	20.4	2.0	3.1	1.0	
	行っていない(n=251)	31.9	14.3	9.6	12.0	6.8	30.7	17.9	21.5	12.4	5.2	9.2	19.5	2.4	6.4	14.7	0.8	17.5	3.6	

※今回調査の「まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等)」は前回調査では「まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題等)」

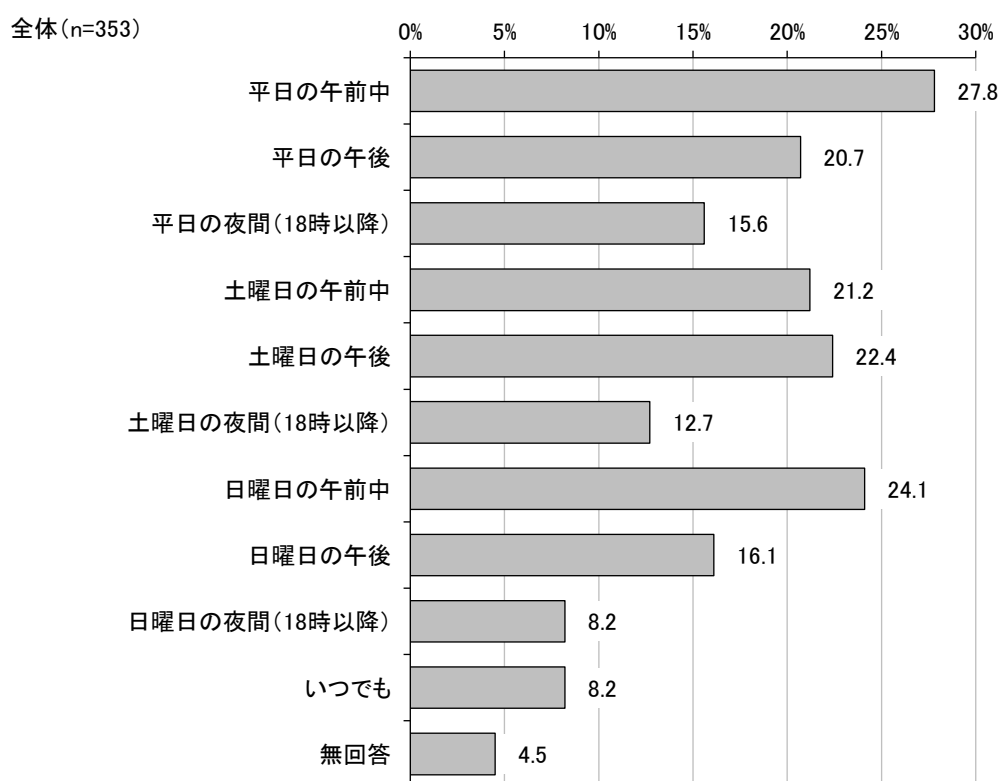
問15 生涯学習を行いやすい時間帯はいつですか。(複数回答)

生涯学習を行いやすい時間帯についてみると、「平日の午前中」が27.8%と最も高く、次いで「日曜日の午前中」が24.1%、「土曜日の午後」が22.4%となっています。

性別にみると、男性では「日曜日の午前中」、女性では「平日の午前中」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～29歳では「土曜日の午後」、30～39歳、50～59歳では「日曜日の午前中」、60～69歳では「平日の午前中」、70歳以上では「平日の午後」がそれぞれ最も高くなっています。40～49歳では「平日の午前中」と「日曜日の午前中」が同率で最も高くなっています。

職業別にみると、【正規の社員・職員】では「日曜日の午前中」、【派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員】では「平日の夜間(18時以降)」、【パート・アルバイト】【家事・育児だけに従事】【無職】では「平日の午前中」、【農林業、自営業・会社経営、自由業】では「日曜日の夜間(18時以降)」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

単位：%		平日の午前中	平日の午後	平日の夜間（18時以降）	土曜日の午前中	土曜日の午後	土曜日の夜間（18時以降）	日曜日の午前中	日曜日の午後	日曜日の夜間（18時以降）	いつでも	無回答
全体 (n=353)		27.8	20.7	15.6	21.2	22.4	12.7	24.1	16.1	8.2	8.2	4.5
性別	男性 (n=144)	15.3	13.9	13.9	27.1	30.6	15.3	34.0	18.1	10.4	12.5	2.8
	女性 (n=208)	36.5	25.5	16.8	17.3	16.3	11.1	17.3	14.9	6.7	5.3	5.8
年代別	18～29歳 (n=28)	3.6	14.3	17.9	25.0	53.6	32.1	28.6	28.6	17.9	0.0	0.0
	30～39歳 (n=38)	23.7	0.0	23.7	26.3	23.7	21.1	36.8	18.4	10.5	2.6	0.0
	40～49歳 (n=57)	35.1	8.8	21.1	22.8	28.1	26.3	35.1	24.6	17.5	3.5	0.0
	50～59歳 (n=58)	19.0	19.0	22.4	24.1	25.9	15.5	27.6	20.7	10.3	6.9	1.7
	60～69歳 (n=77)	31.2	20.8	11.7	28.6	15.6	3.9	19.5	15.6	2.6	13.0	6.5
	70歳以上 (n=95)	34.7	38.9	7.4	9.5	12.6	1.1	12.6	4.2	2.1	12.6	10.5
職業別	正規の社員・職員 (n=101)	6.9	6.9	20.8	33.7	38.6	20.8	45.5	27.7	12.9	4.0	2.0
	派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員 (n=23)	17.4	0.0	30.4	26.1	17.4	21.7	17.4	17.4	17.4	8.7	4.3
	パート・アルバイト (n=74)	31.1	18.9	18.9	24.3	17.6	12.2	20.3	12.2	2.7	2.7	5.4
	農林業、自営業・会社経営、自由業 (n=23)	13.0	17.4	21.7	4.3	13.0	21.7	17.4	13.0	26.1	21.7	0.0
	学生 (n=8)	0.0	0.0	37.5	12.5	62.5	37.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	家事・育児だけに従事 (n=36)	58.3	36.1	2.8	11.1	11.1	0.0	8.3	11.1	0.0	8.3	5.6
	無職 (n=81)	48.1	39.5	4.9	12.3	13.6	2.5	12.3	8.6	2.5	14.8	7.4
	その他 (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

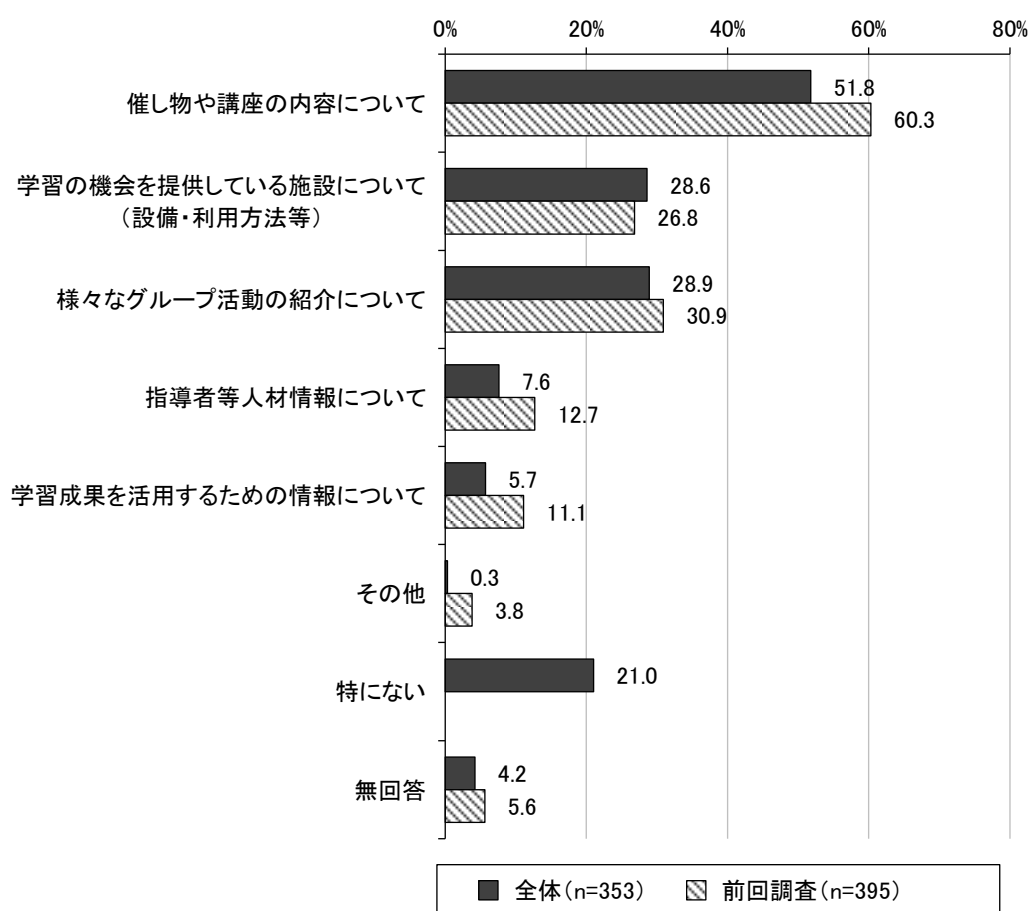
問 16 生涯学習を行っていく上で、どのような情報を知りたいですか。(複数回答)

生涯学習を行っていく上で知りたい情報についてみると、「催し物や講座の内容について」が 51.8% と最も高く、次いで「様々なグループ活動の紹介について」が 28.9%、「学習の機会を提供している施設について（設備・利用方法等）」が 28.6% となっています。

前回調査と比較すると、「催し物や講座の内容について」が 8.5 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「特にない」が 10.8 ポイント、女性では「催し物や講座の内容について」が 12.8 ポイント、それぞれ異性を上回っています。

年代別にみると、いずれの年代も「催し物や講座の内容について」が最も高くなっています。また、18～29 歳では「特にない」が 39.3% と他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

単位：%		催し物や講座の内容について	学習の機会を提供している施設について (設備・利用方法等)	様々なグループ活動の紹介について	指導者等人材情報について	学習成果を活用するための情報について	その他	特 に ない	無 回 答
全体(n=353)		51.8	28.6	28.9	7.6	5.7	0.3	21.0	4.2
前回調査(n=395)		60.3	26.8	30.9	12.7	11.1	3.8		5.6
性別	男性(n=144)	44.4	28.5	25.0	10.4	4.9	0.7	27.1	2.8
	女性(n=208)	57.2	28.8	31.7	5.8	6.3	0.0	16.3	5.3
年代別	18～29歳(n=28)	50.0	28.6	10.7	14.3	7.1	0.0	39.3	0.0
	30～39歳(n=38)	44.7	21.1	31.6	5.3	5.3	0.0	23.7	0.0
	40～49歳(n=57)	57.9	31.6	28.1	12.3	10.5	0.0	15.8	0.0
	50～59歳(n=58)	65.5	31.0	36.2	6.9	6.9	0.0	13.8	0.0
	60～69歳(n=77)	51.9	36.4	31.2	5.2	3.9	0.0	20.8	2.6
	70歳以上(n=95)	43.2	22.1	27.4	6.3	3.2	1.1	22.1	13.7

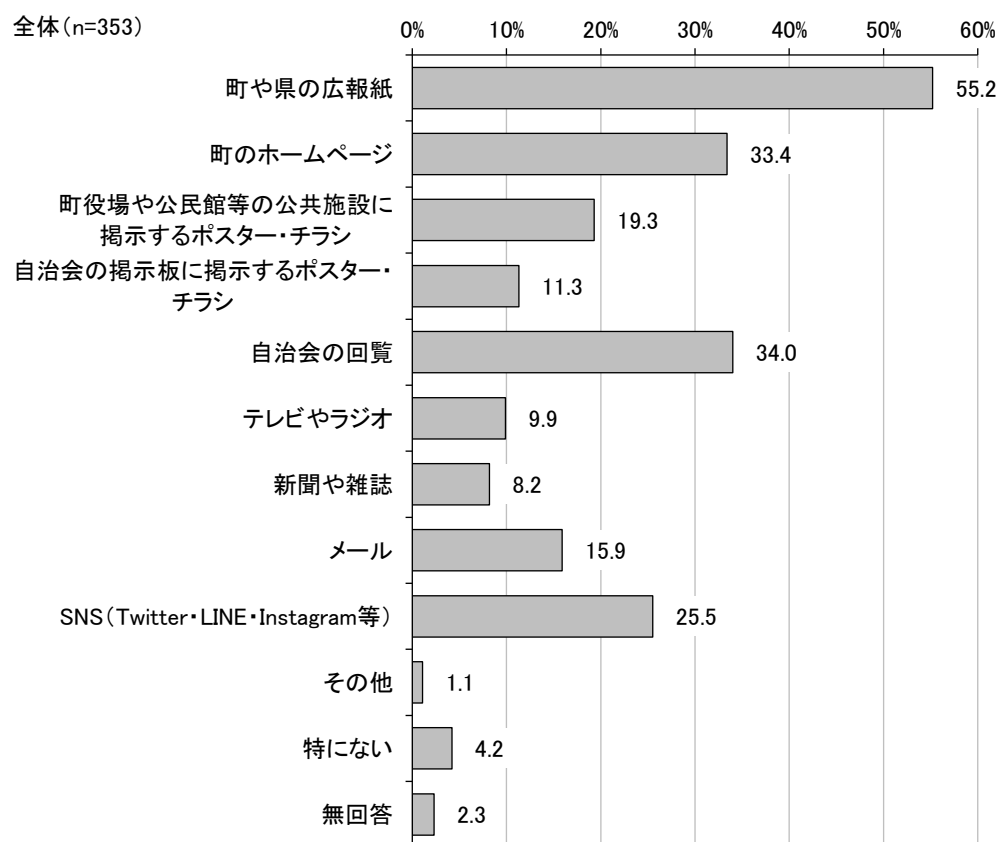
※今回調査の「学習の機会を提供している施設について（設備・利用方法等）」は前回調査では「公共施設の設備や利用方法について」

問17 講座をはじめとする生涯学習事業に関する情報は、どのような媒体を通じて発信されると、接しやすいと思いますか。(複数回答)

生涯学習事業に関する情報発信の媒体についてみると、「町や県の広報紙」が55.2%と最も高く、次いで「自治会の回覧」が34.0%、「町のホームページ」が33.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「町や県の広報紙」が最も高くなっています。

年代別にみると、18～29歳では「SNS (Twitter・LINE・Instagram等)」、40歳以上では「町や県の広報紙」がそれぞれ最も高くなっています。30～39歳では「町や県の広報紙」と「SNS (Twitter・LINE・Instagram等)」が同率で最も高くなっています。また、「SNS (Twitter・LINE・Instagram等)」は18～29歳では60.7%となっていますが、年代が上がるにつれて低くなり、70歳以上では3.2%となっています。50～59歳では「町のホームページ」が55.2%と他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

単位：%		町や県の広報紙	町のホームページ	町役場や公民館等の公共施設に掲示するポスター・チラシ	自治会の掲示板に掲示するポスター・チラシ	自治会の回覧	テレビやラジオ	新聞や雑誌	メール	INS（Twitter・LINE等）	その他	特にない	無回答
全体(n=353)		55.2	33.4	19.3	11.3	34.0	9.9	8.2	15.9	25.5	1.1	4.2	2.3
性別	男性(n=144)	48.6	34.0	12.5	9.0	30.6	18.1	13.2	18.1	27.8	0.7	5.6	0.7
	女性(n=208)	60.1	33.2	24.0	13.0	36.5	4.3	4.8	14.4	23.6	1.4	3.4	3.4
年代別	18～29歳(n=28)	32.1	21.4	21.4	3.6	21.4	7.1	3.6	21.4	60.7	0.0	3.6	0.0
	30～39歳(n=38)	44.7	31.6	7.9	10.5	13.2	13.2	5.3	18.4	44.7	5.3	2.6	0.0
	40～49歳(n=57)	50.9	33.3	14.0	5.3	19.3	3.5	3.5	15.8	43.9	1.8	5.3	0.0
	50～59歳(n=58)	56.9	55.2	17.2	6.9	27.6	15.5	8.6	24.1	31.0	0.0	1.7	0.0
	60～69歳(n=77)	61.0	35.1	22.1	18.2	41.6	11.7	10.4	19.5	13.0	1.3	6.5	1.3
	70歳以上(n=95)	63.2	23.2	25.3	14.7	52.6	8.4	11.6	5.3	3.2	0.0	4.2	7.4

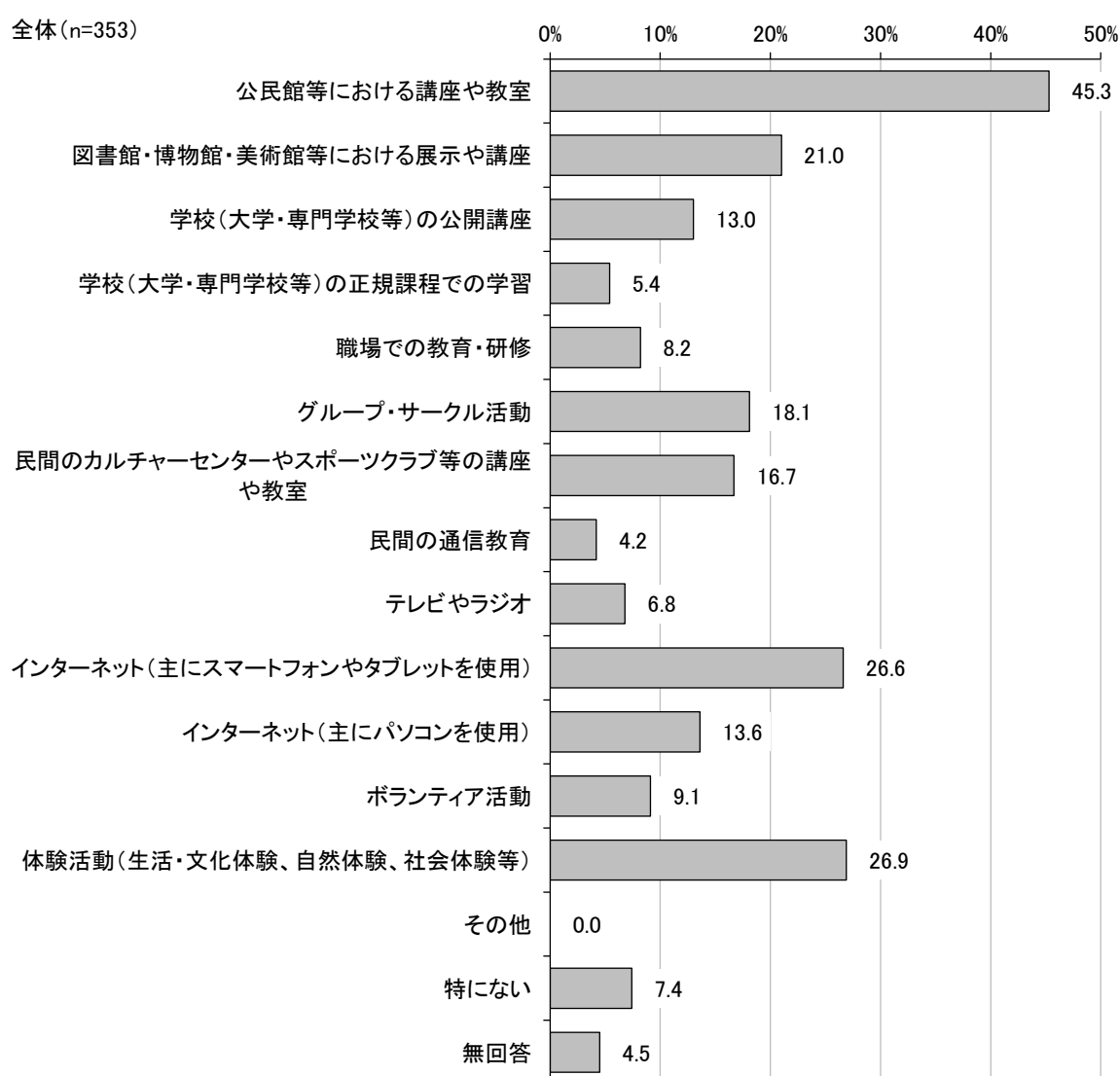
問18 どのような方法での生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。(複数回答)

どのような方法での生涯学習の機会が増えればよいと思うかについてみると、「公民館等における講座や教室」が45.3%と最も高く、次いで「体験活動(生活・文化体験、自然体験、社会体験等)」が26.9%、「インターネット(主にスマートフォンやタブレットを使用)」が26.6%となっています。

性別にみると、男女ともに「公民館等における講座や教室」が最も高くなっていますが、女性が21.7ポイント男性を上回っています。

年代別にみると、18～49歳では「インターネット(主にスマートフォンやタブレットを使用)」、50歳以上では「公民館等における講座や教室」が最も高くなっています。

生涯学習実施有無別にみると、「グループ・サークル活動」は21.7ポイント、「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブ等の講座や教室」は13.8ポイント、それぞれ【行った】が【行っていない】を上回っています。



■クロス集計

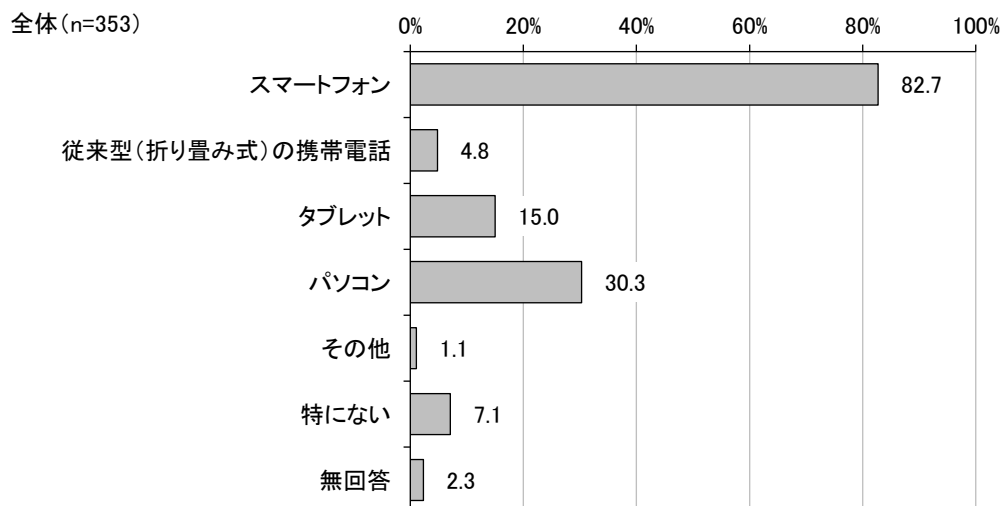
単位：%		公民館等における講座や教室	図書館・博物館・美術館等における展示や講座	学校（大学・専門学校等）の公開講座	学校（大学・専門学校等）の正規課程での学習	職場での教育・研修	グループ・サークル活動	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブ等の講座や教室	民間の通信教育	テレビやラジオ	インターネット（主にスマートフォンやタブレットを使用）	インターネット（主にパソコンを使用）	ボランティア活動	体験活動（生活・文化体験、自然体験、社会体験等）	その他	特になし	無回答
全体 (n=353)		45.3	21.0	13.0	5.4	8.2	18.1	16.7	4.2	6.8	26.6	13.6	9.1	26.9	0.0	7.4	4.5
性別	男性 (n=144)	32.6	21.5	13.2	5.6	8.3	14.6	16.7	5.6	11.8	26.4	18.1	10.4	27.8	0.0	8.3	2.8
	女性 (n=208)	54.3	20.7	13.0	5.3	8.2	20.7	16.8	3.4	3.4	26.4	10.1	8.2	26.4	0.0	6.7	5.8
年代別	18～29歳 (n=28)	25.0	10.7	17.9	14.3	10.7	7.1	7.1	0.0	3.6	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	7.1	3.6
	30～39歳 (n=38)	34.2	21.1	13.2	7.9	15.8	23.7	18.4	2.6	13.2	47.4	18.4	2.6	23.7	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=57)	45.6	10.5	26.3	8.8	12.3	12.3	24.6	7.0	3.5	50.9	22.8	3.5	28.1	0.0	7.0	0.0
	50～59歳 (n=58)	44.8	22.4	12.1	5.2	15.5	15.5	19.0	10.3	10.3	34.5	15.5	13.8	29.3	0.0	8.6	0.0
	60～69歳 (n=77)	46.8	28.6	7.8	2.6	3.9	27.3	22.1	2.6	5.2	16.9	13.0	7.8	23.4	0.0	10.4	2.6
	70歳以上 (n=95)	54.7	23.2	8.4	2.1	1.1	16.8	8.4	2.1	6.3	2.1	5.3	11.6	28.4	0.0	7.4	13.7
生涯学習 有無別	行った (n=98)	49.0	28.6	14.3	6.1	8.2	33.7	26.5	6.1	10.2	23.5	21.4	12.2	29.6	0.0	5.1	1.0
	行っていない (n=251)	44.2	18.3	12.7	5.2	8.4	12.0	12.7	3.6	5.6	27.5	10.4	7.6	25.9	0.0	8.4	5.6

問19 普段私用で利用している情報通信機器は何ですか。(複数回答)

普段私用で利用している情報通信機器についてみると、「スマートフォン」が82.7%と最も高く、次いで「パソコン」が30.3%、「タブレット」が15.0%となっています。

性別にみると、「パソコン」は男性が47.9%と女性を30.1ポイント上回っています。

年代別にみると、いずれの年代も「スマートフォン」が最も高くなっていますが、18～59歳では9割を超えているのに対し、60～69歳では83.1%、70歳以上では55.8%となっています。



■クロス集計

単位: %		スマートフォン	従来型(折り畳み式)の携帯電話	タブレット	パソコン	その他	特にない	無回答
全体(n=353)		82.7	4.8	15.0	30.3	1.1	7.1	2.3
性別	男性(n=144)	79.2	6.9	17.4	47.9	2.1	6.9	2.1
	女性(n=208)	85.1	3.4	13.5	17.8	0.5	7.2	2.4
年代別	18～29歳(n=28)	100.0	0.0	21.4	32.1	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=38)	97.4	0.0	23.7	26.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳(n=57)	96.5	3.5	14.0	49.1	1.8	0.0	0.0
	50～59歳(n=58)	94.8	1.7	19.0	34.5	1.7	0.0	0.0
	60～69歳(n=77)	83.1	5.2	20.8	29.9	1.3	7.8	0.0
	70歳以上(n=95)	55.8	10.5	3.2	17.9	1.1	20.0	8.4

問 20 町では、生涯学習を推進するため、様々な事業を実施しています。この5年間に次の項目について利用等をしたことがありますか。(単数回答)

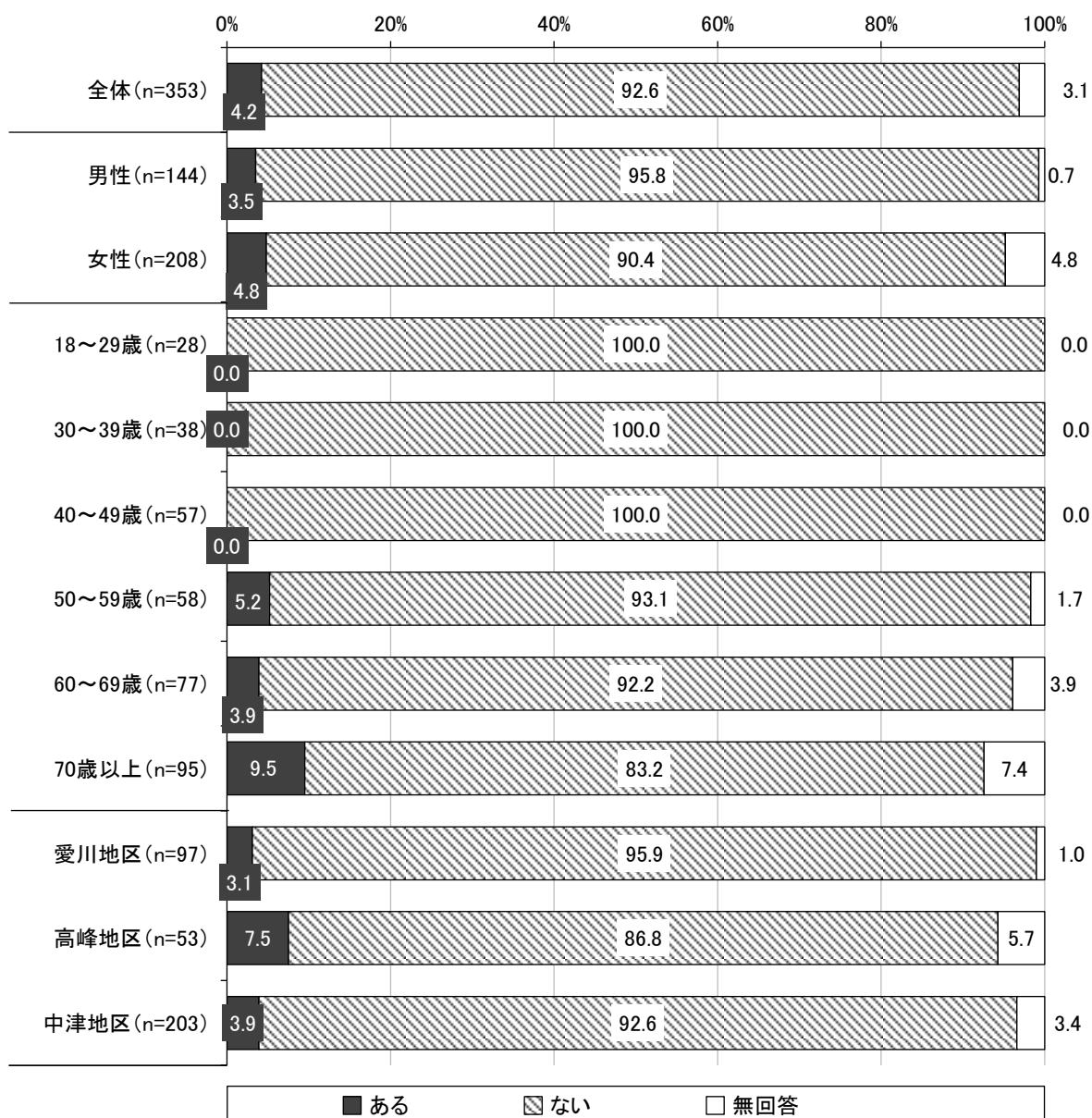
(ア) あいかわ出前講座に参加したこと

あいかわ出前講座に参加したことについてみると、「ない」が92.6%と、「ある」の4.2%を大幅に上回っています。

性別による大きな差はみられません。

年代別にみると、70歳以上では「ある」が9.5%と他の年代と比べてやや高くなっています。

地区別にみると、高峰地区では「ある」が7.5%と他の地区と比べてやや高くなっています。



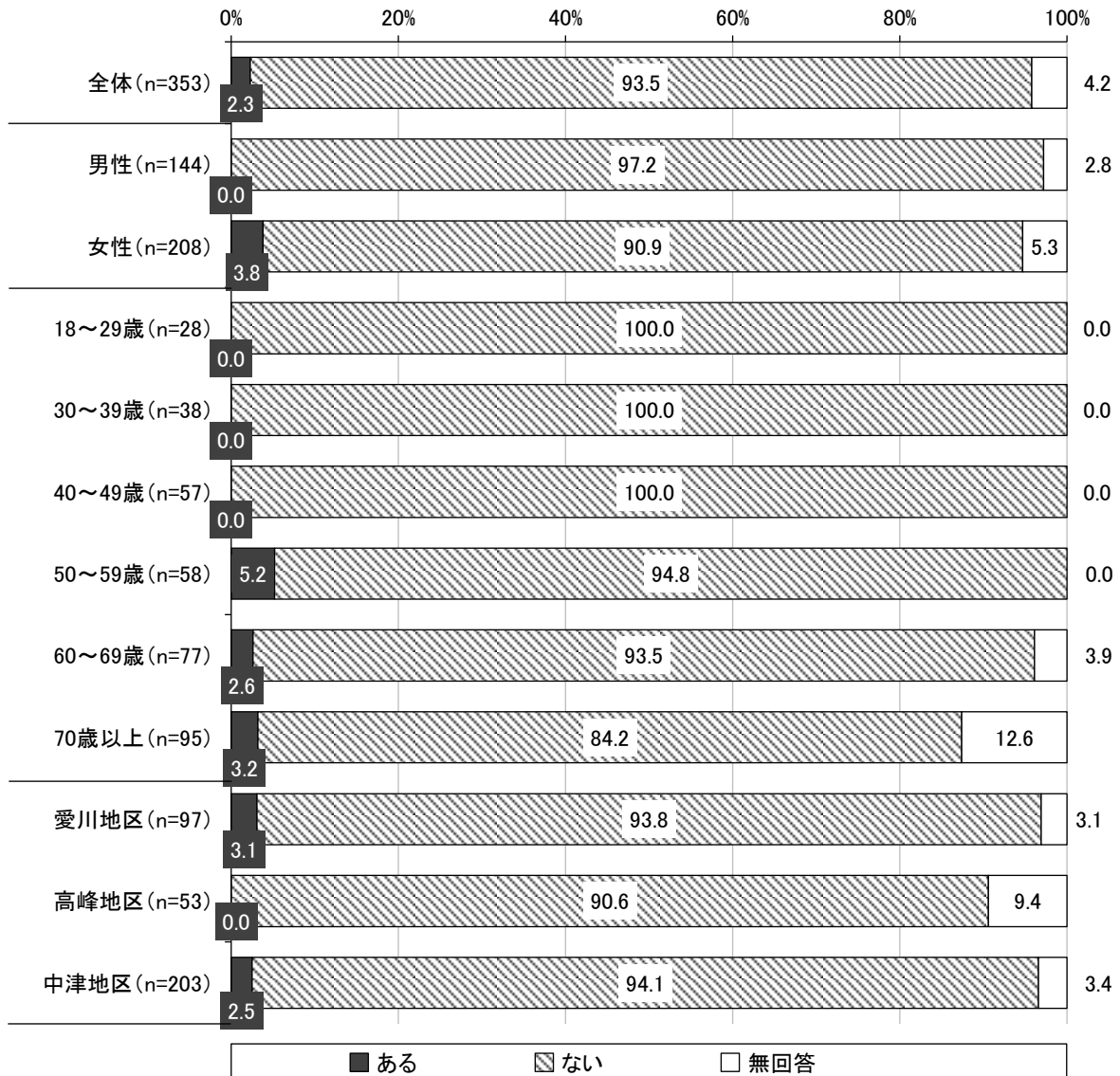
(イ) あいかわ楽習応援団「みんなの先生」を利用したこと

あいかわ楽習応援団「みんなの先生」を利用したことについてみると、「ない」が 93.5%と、「ある」の 2.3%を大幅に上回っています。

性別による大きな差はみられません。

年代別による大きな差はみられません。

地区別による大きな差はみられません。



問 21 この5年間に次の項目について利用等をしたことがありますか。

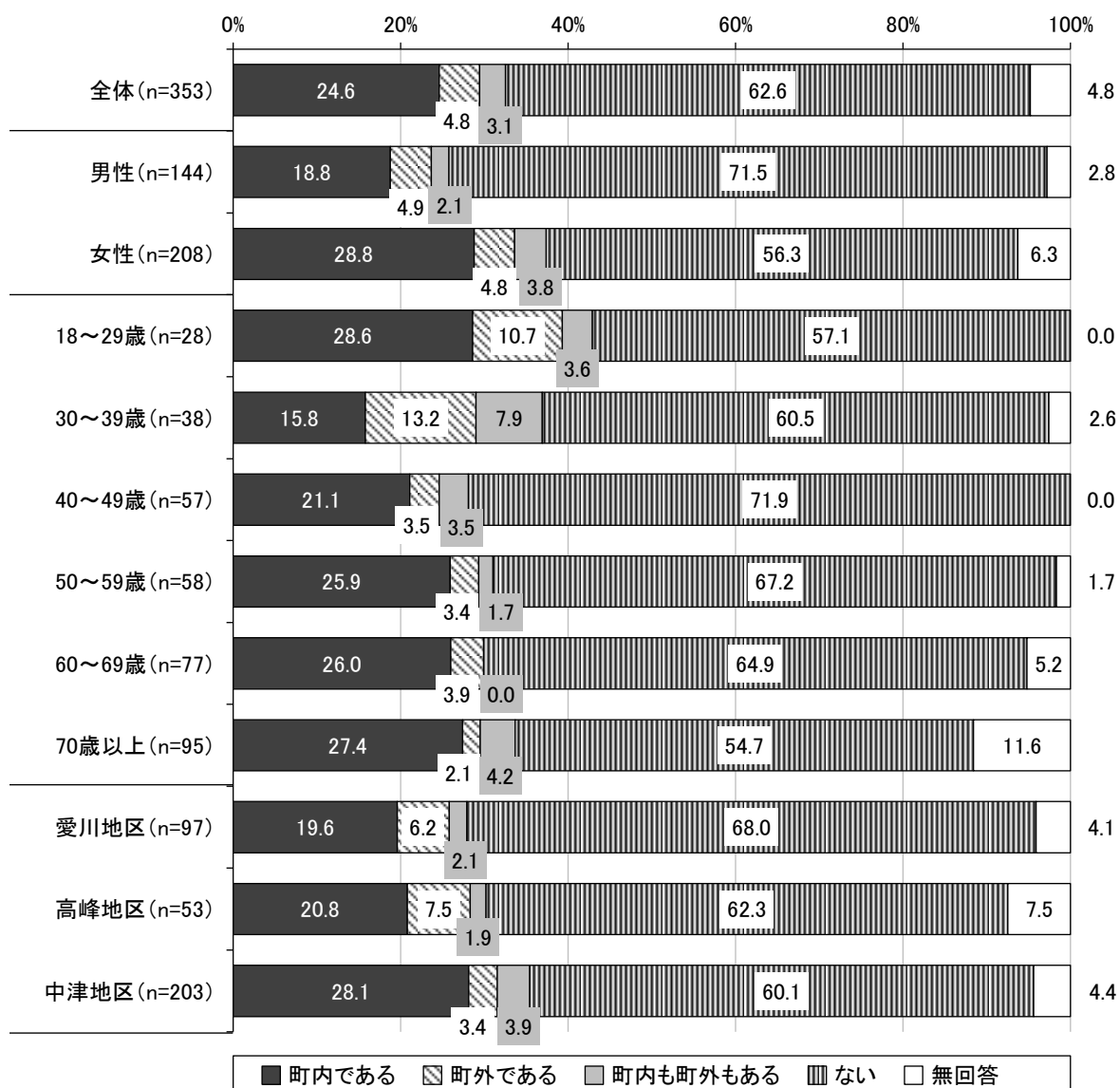
(ア) 図書館で、本を読んだり借りたりしたこと

図書館で、本を読んだり借りたりしたことについてみると、「ない」が62.6%と最も高く、次いで「町内である」が24.6%、「町外である」が4.8%となっています。

性別にみると、『ある計（「町内である」と「町外である」と「町内も町外もある」の合計）』は、女性が37.4%と男性を11.6ポイント上回っています。

年代別にみると、18～29歳では『ある計』が42.9%と他の年代と比べて高くなっています。

地区別にみると、中津地区では「町内である」が28.1%と他の地区と比べて高くなっています。



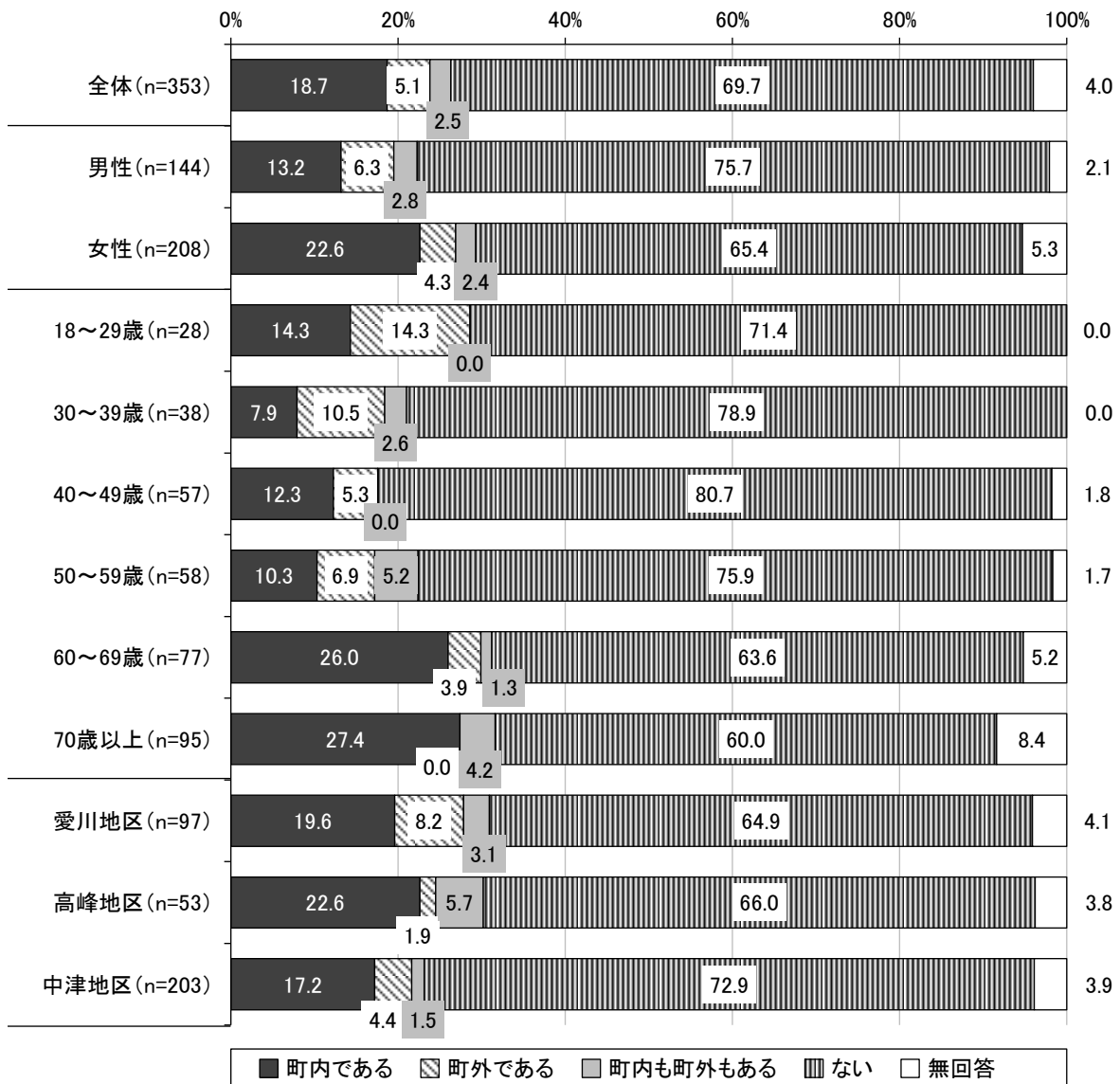
(イ) 文化会館ホールの催し物（落語、文化芸能発表会等）を鑑賞したり出演したりしたこと

文化会館ホールの催し物（落語、文化芸能発表会等）を鑑賞したり出演したりしたことについてみると、「ない」が69.7%と最も高く、次いで「町内である」が18.7%、「町外である」が5.1%となっています。

性別にみると、『ある計』は、女性が29.3%と男性を7.0ポイント上回っています。

年代別にみると、30～59歳では『ある計』が2割前後と他の年代と比べて低くなっています。

地区別にみると、中津地区では『ある計』が23.1%と他の地区と比べて低くなっています。



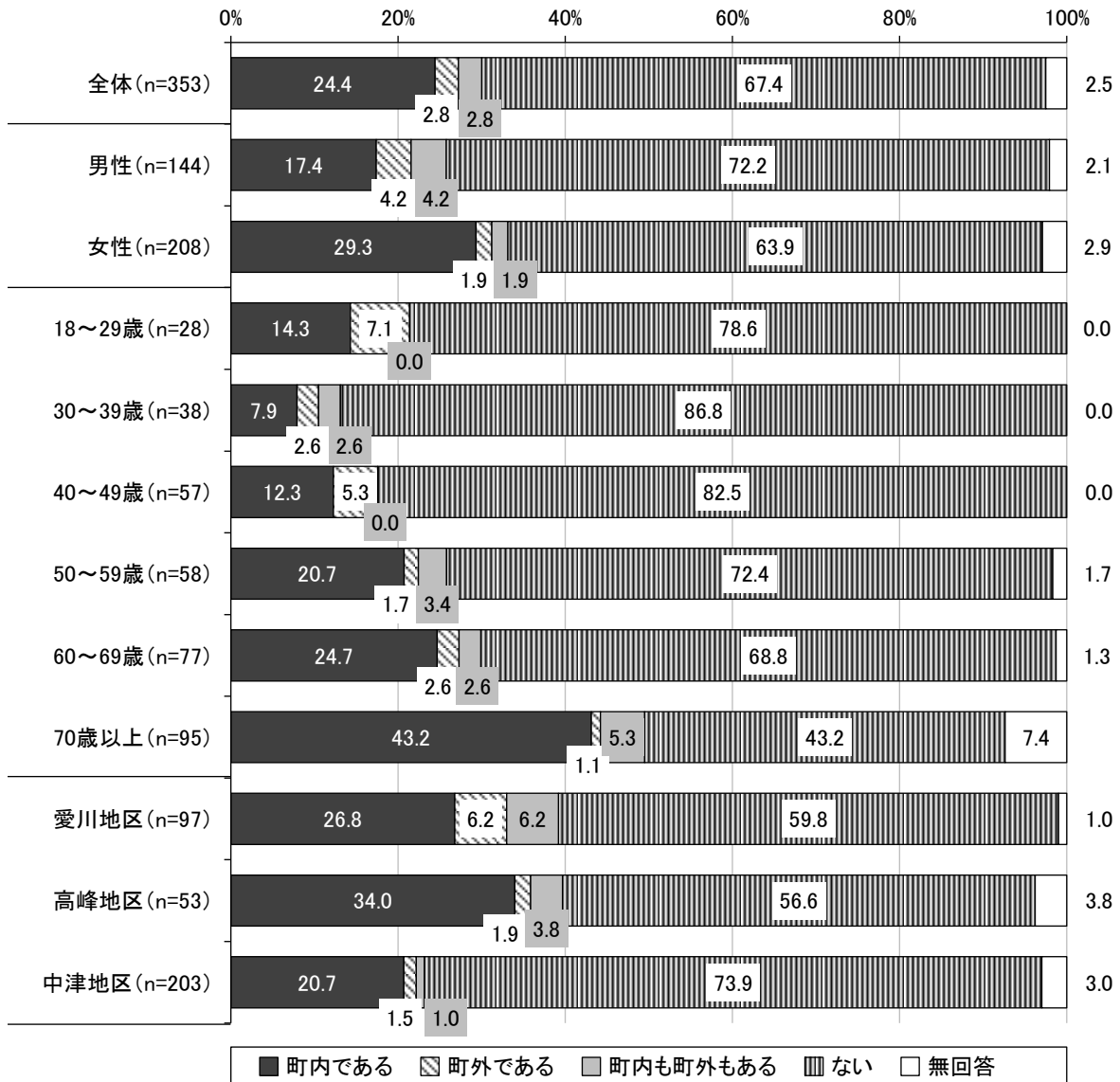
(ウ) 文化会館や公民館等で、作品展を鑑賞したり出品したりしたこと

文化会館や公民館等で、作品展を鑑賞したり出品したりしたことについてみると、「ない」が 67.4%と最も高く、次いで「町内である」が 24.4%、「町外である」「町内も町外もある」がともに 2.8%となっています。

性別にみると、『ある計』は、女性が 33.1%と男性を 7.3 ポイント上回っています。

年代別にみると、『ある計』は 30～39 歳では 13.1%となっていますが、40 歳以降年代が上がるにつれて高くなり、70 歳以上では 49.6%となっています。

地区別にみると、中津地区では『ある計』が 23.2%と他の地区と比べて低くなっています。



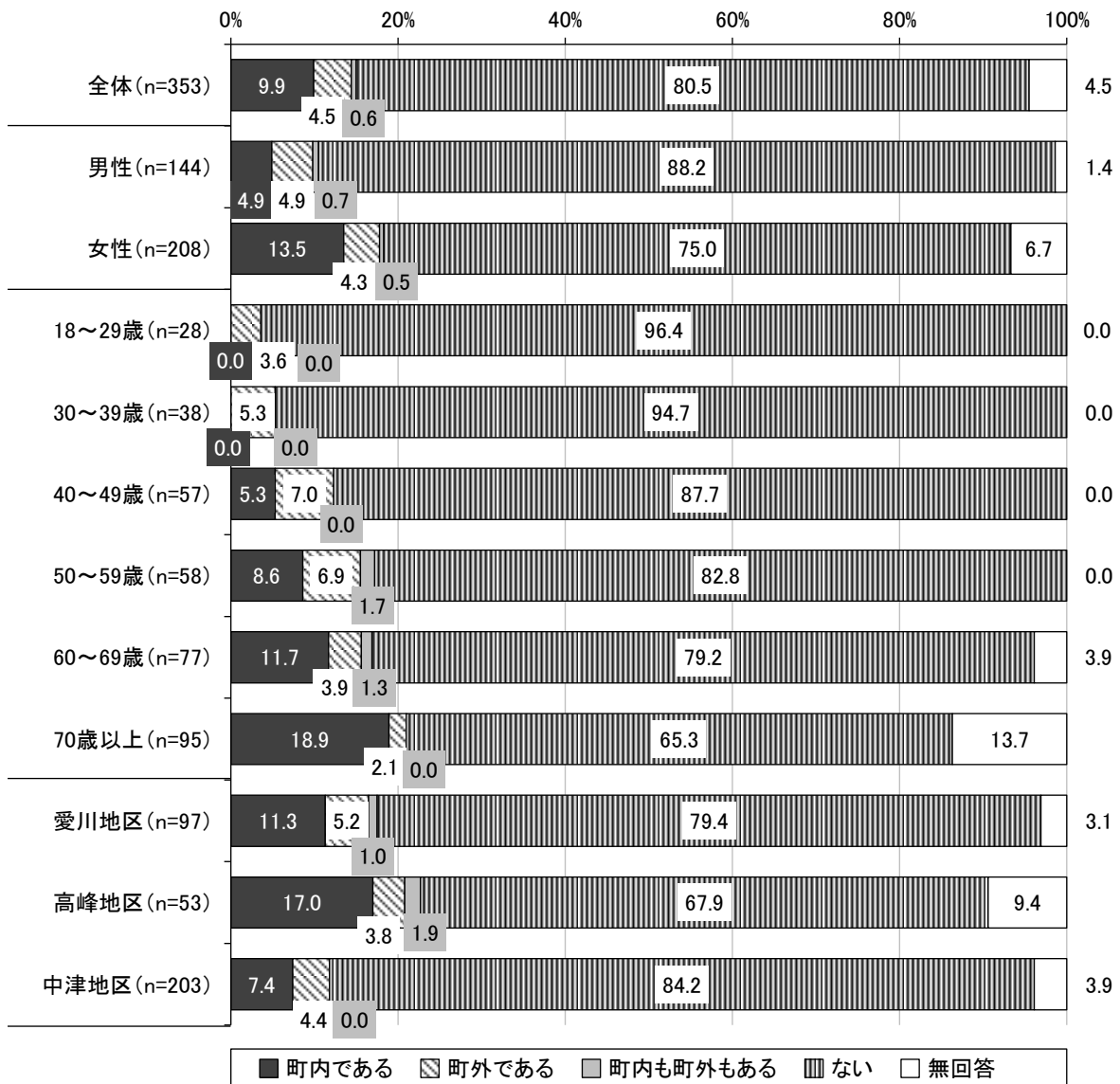
(エ) 趣味の教室や教養講座を受講したこと

趣味の教室や教養講座を受講したことについてみると、「ない」が 80.5%と最も高く、次いで「町内である」が 9.9%、「町外である」が 4.5%となっています。

性別にみると、『ある計』は、女性が 18.3%と男性を 7.8 ポイント上回っています。

年代別にみると、『ある計』は 18～29 歳では 3.6%となっていますが、概ね年代が上がるにつれて高くなり、70 歳以上では 21.0%となっています。

地区別にみると、中津地区では『ある計』が 11.8%と他の地区と比べて低くなっています。



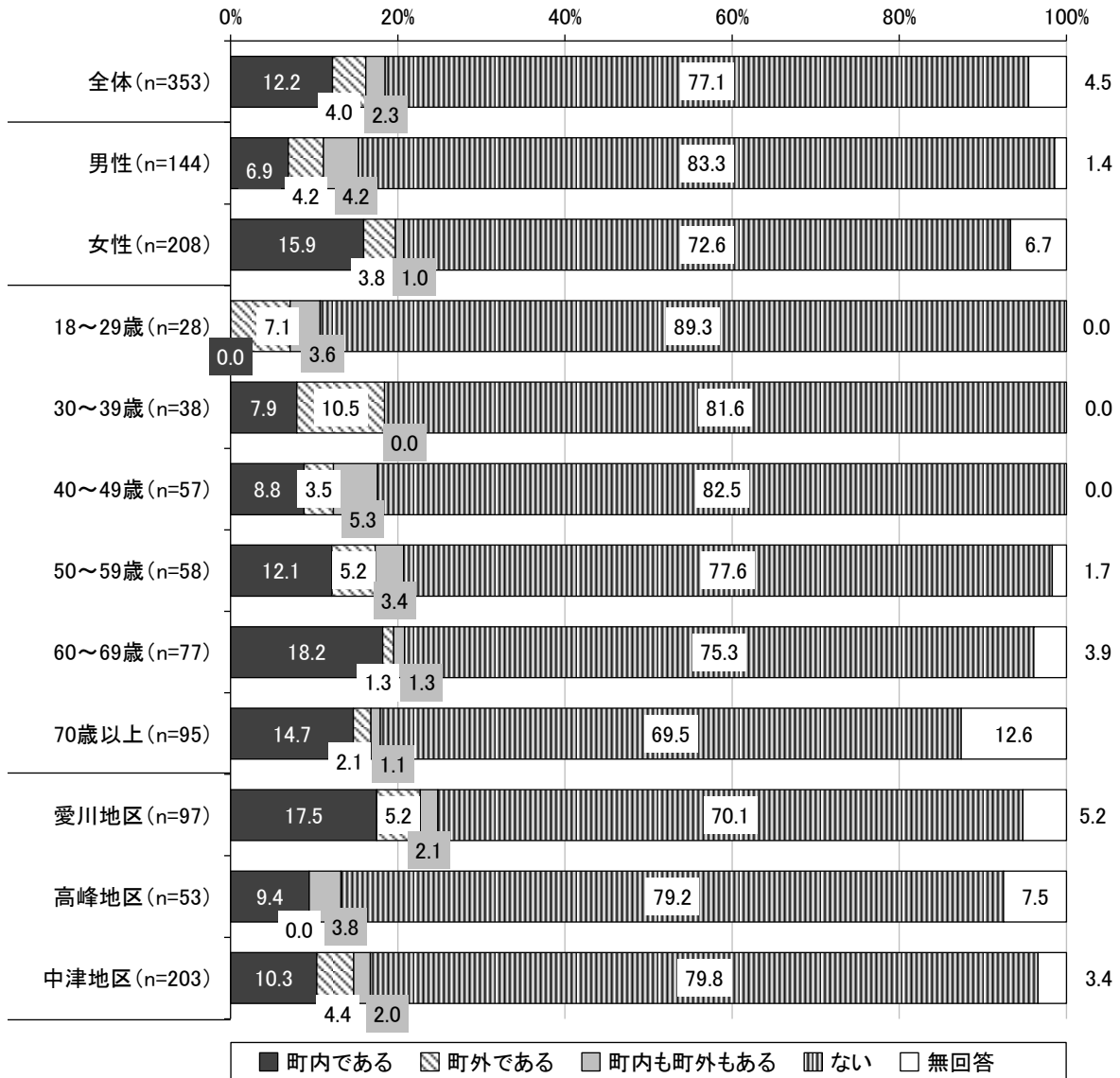
(オ) スポーツイベントに参加したり、各種スポーツ教室を受講したりしたこと

スポーツイベントに参加したり、各種スポーツ教室を受講したりしたことについてみると、「ない」が77.1%と最も高く、次いで「町内である」が12.2%、「町外である」が4.0%となっています。

性別にみると、「町内である」は、女性が15.9%と男性を9.0ポイント上回っています。

年代別にみると、18～29歳では『ある計』が10.7%と他の年代と比べて低くなっています。

地区別にみると、愛川地区では『ある計』が24.8%と他の地区と比べて高くなっています。

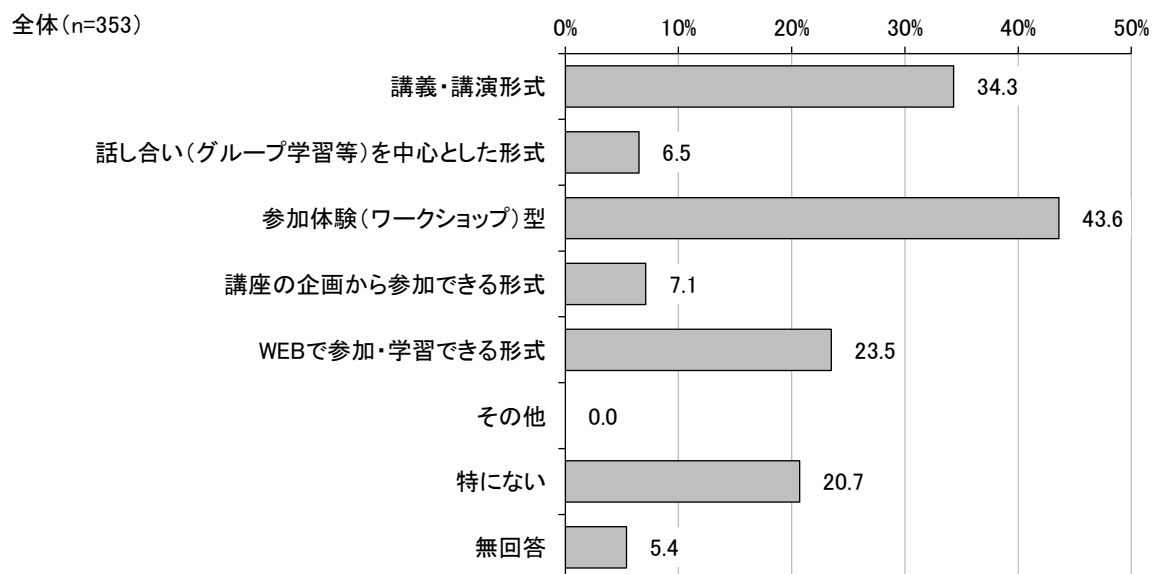


問 22 生涯学習の講座に参加する場合、どのような形式の講座に参加したいですか。(複数回答)

参加したい講座形式についてみると、「参加体験（ワークショップ）型」が 43.6%と最も高く、次いで「講義・講演形式」が 34.3%、「WEB で参加・学習できる形式」が 23.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「参加体験（ワークショップ）型」が最も高くなっています。

年代別にみると、30～59 歳では「参加体験（ワークショップ）型」、60 歳以上では「講義・講演形式」がそれぞれ最も高くなっています。18～29 歳では「参加体験（ワークショップ）型」と「WEB で参加・学習できる形式」が同率で最も高くなっています。また、「WEB で参加・学習できる形式」は 18～59 歳では 3 割台に対し、60～69 歳では 16.9%、70 歳以上では 6.3%となっています。



■クロス集計

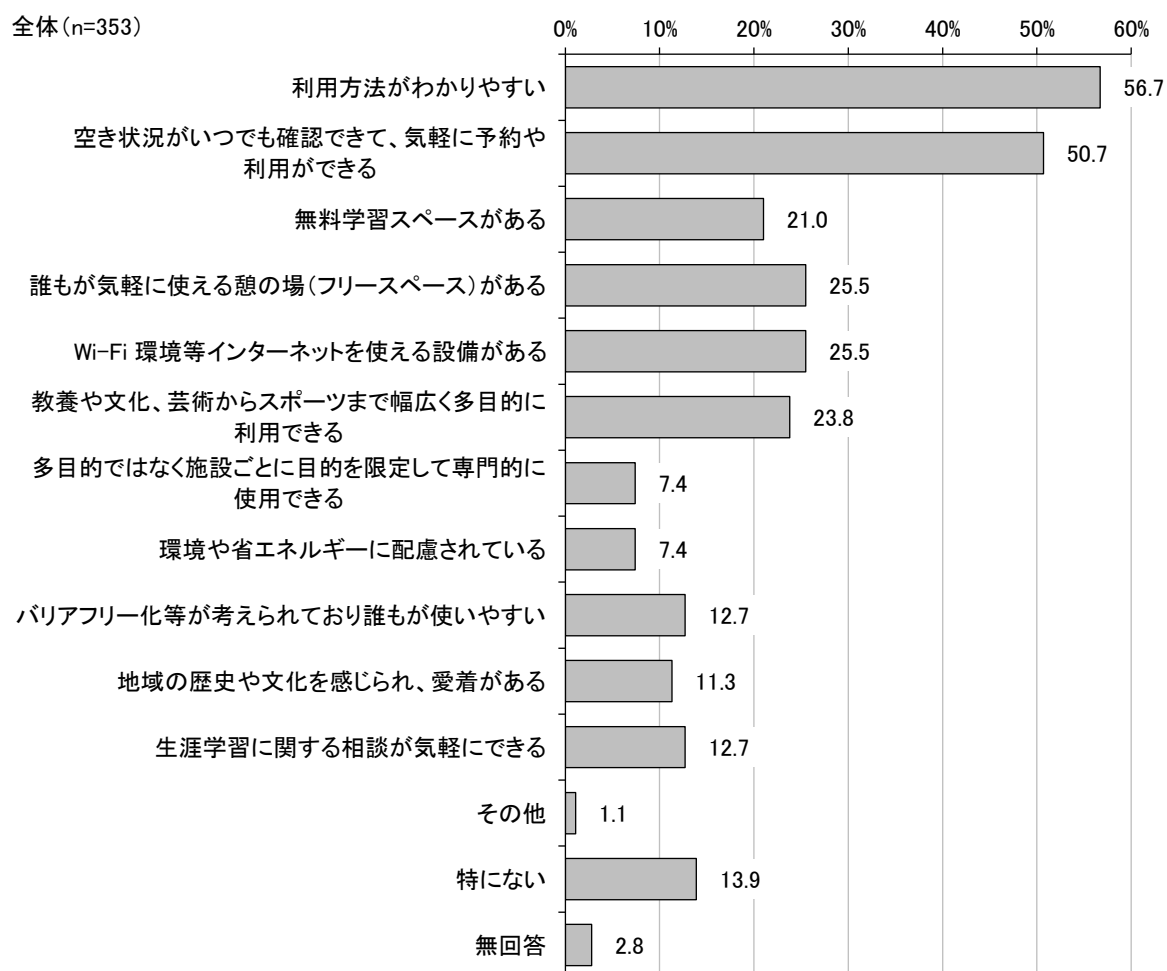
単位：%		講義・講演形式	話し合い（グループ学習等）を中心とした形式	参加体験（ワークショップ）型	講座の企画から参加できる形式	WEBで参加・学習できる形式	その他	特になし	無回答
全体 (n=353)		34.3	6.5	43.6	7.1	23.5	0.0	20.7	5.4
性別	男性 (n=144)	34.7	8.3	39.6	8.3	25.7	0.0	26.4	1.4
	女性 (n=208)	34.1	5.3	46.6	6.3	22.1	0.0	16.3	8.2
年代別	18～29歳 (n=28)	28.6	7.1	39.3	3.6	39.3	0.0	28.6	0.0
	30～39歳 (n=38)	21.1	2.6	65.8	7.9	31.6	0.0	18.4	0.0
	40～49歳 (n=57)	29.8	1.8	56.1	8.8	36.8	0.0	15.8	0.0
	50～59歳 (n=58)	34.5	5.2	50.0	6.9	34.5	0.0	17.2	5.2
	60～69歳 (n=77)	40.3	6.5	36.4	7.8	16.9	0.0	23.4	2.6
	70歳以上 (n=95)	38.9	11.6	30.5	6.3	6.3	0.0	22.1	14.7

問 23 生涯学習施設を利用するにあたって重視する機能は何ですか。(複数回答)

生涯学習施設を利用するにあたって重視する機能についてみると、「利用方法がわかりやすい」が56.7%と最も高く、次いで「空き状況がいつでも確認できて、気軽に予約や利用ができる」が50.7%、「誰もが気軽に使える憩いの場(フリースペース)がある」「Wi-Fi 環境等インターネットを使える設備がある」がともに25.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「利用方法がわかりやすい」が最も高くなっています。

年代別にみると、いずれの年代も「利用方法がわかりやすい」「空き状況がいつでも確認できて、気軽に予約や利用ができる」が上位となっています。また、「Wi-Fi 環境等インターネットを使える設備がある」は18～39歳では3割台、40～59歳では4割台に対し、60歳以上では1割前後となっています。



■クロス集計

単位：%		利用方法がわかりやすい	空き状況がいつでも確認できて、気軽に予約	無料学習スペースがある	誰もが気軽に使える憩いの場（フリースペース）がある	Wi-Fi環境等インターネットを使える設備がある	教養や文化、芸術からスポーツまで幅広く多目的に利用できる	多目的ではなく施設ごとに目的を限定して専門的に利用できる	環境や省エネルギーに配慮されている	バリアフリー化等が考えられており誰もが使いやすい	地域の歴史や文化を感じられ、愛着がある	生涯学習に関する相談が気軽にできる	その他	特になし	無回答
全体(n=353)		56.7	50.7	21.0	25.5	25.5	23.8	7.4	7.4	12.7	11.3	12.7	1.1	13.9	2.8
性別	男性(n=144)	50.7	47.9	17.4	22.2	26.4	18.1	10.4	6.9	9.0	18.1	17.4	1.4	17.4	0.7
	女性(n=208)	61.1	52.9	23.6	27.9	24.5	27.9	5.3	7.7	15.4	6.7	9.6	1.0	11.5	4.3
年代別	18～29歳(n=28)	64.3	60.7	14.3	21.4	35.7	17.9	7.1	3.6	0.0	7.1	10.7	3.6	17.9	0.0
	30～39歳(n=38)	71.1	60.5	23.7	31.6	34.2	10.5	7.9	5.3	10.5	2.6	5.3	0.0	10.5	0.0
	40～49歳(n=57)	61.4	71.9	22.8	17.5	43.9	17.5	5.3	7.0	8.8	12.3	10.5	0.0	5.3	0.0
	50～59歳(n=58)	58.6	58.6	27.6	36.2	43.1	31.0	12.1	15.5	22.4	10.3	20.7	0.0	13.8	0.0
	60～69歳(n=77)	57.1	45.5	18.2	22.1	11.7	32.5	5.2	5.2	11.7	7.8	16.9	1.3	16.9	2.6
	70歳以上(n=95)	44.2	30.5	18.9	25.3	8.4	23.2	7.4	6.3	14.7	18.9	9.5	2.1	16.8	8.4

03. 大学等における社会人の学習について

問 24 一度社会人となった後に、大学・大学院・短大・専門学校等の学校において学習したことがありますか。(単数回答)

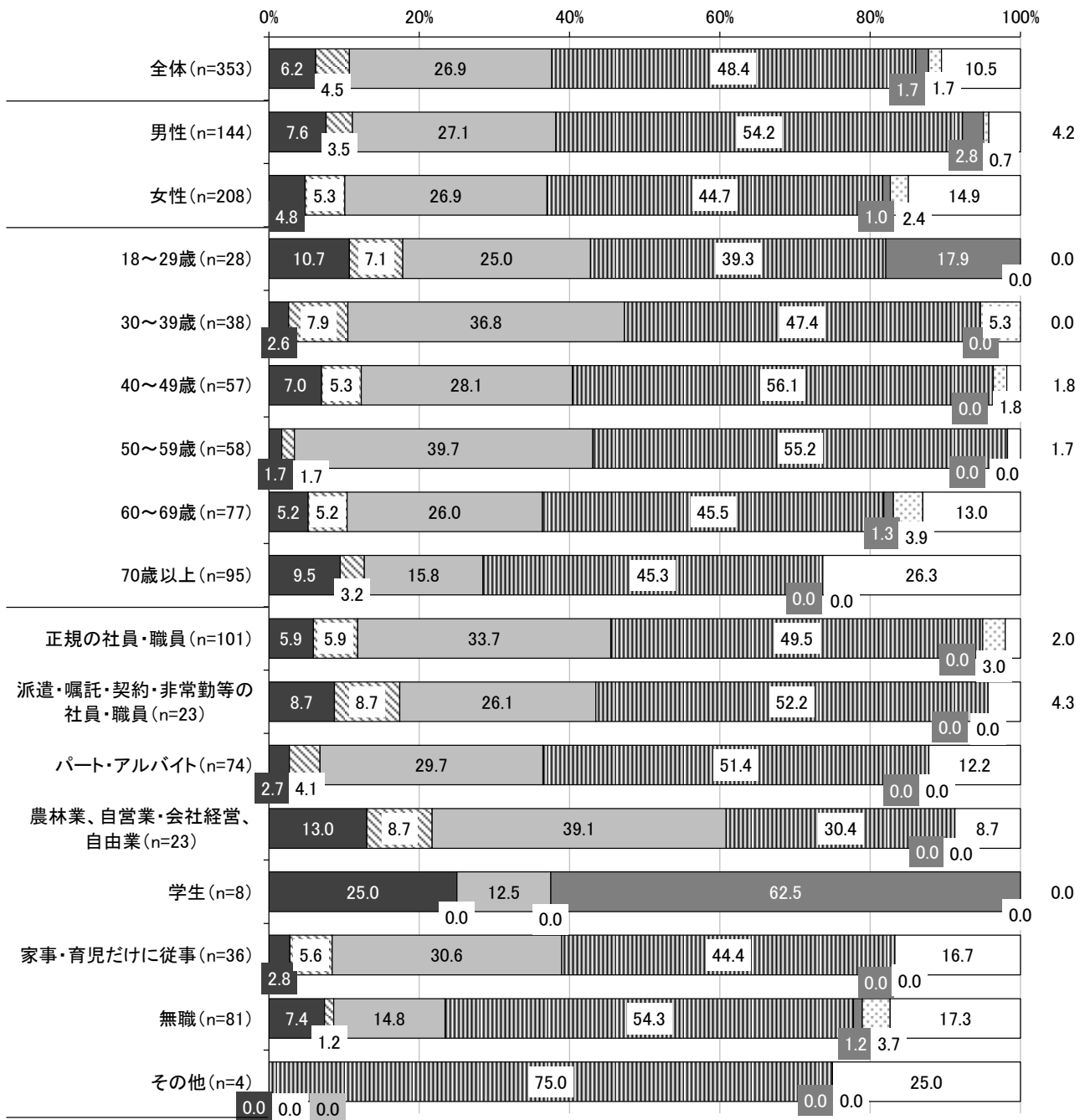
※社会人には主婦(夫)や無職の方も含みます。また、正規の課程に限らず短期プログラムや公開講座等、学習の形態は問いません。

一度社会人となった後に、大学・大学院・短大・専門学校等の学校において学習したことの有無についてみると、「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」が48.4%と最も高く、次いで「学習したことはないが、今後は学習してみたい」が26.9%、「正規課程で学習したことがある(現在学習している)」が6.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」が最も高くなっていますが、男性が54.2%と女性を9.5ポイント上回っています。

年代別にみると、いずれの年代も「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」が最も高くなっています。

職業別にみると、【農林業、自営業・会社経営、自由業】では「学習したことはないが、今後は学習してみたい」、その他の職業では「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」がそれぞれ最も高くなっています。



- 正規課程で学習したことがある (現在学習している)
- ▨ 正規課程で学習したことはないが、公開講座や履修証明プログラム等、短期講座で学んだことがある (現在学習している)
- 学習したことはないが、今後は学習してみたい
- ▨ 学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない
- まだ大学等に在学中で、社会人となった経験がない
- ▨ その他
- 無回答

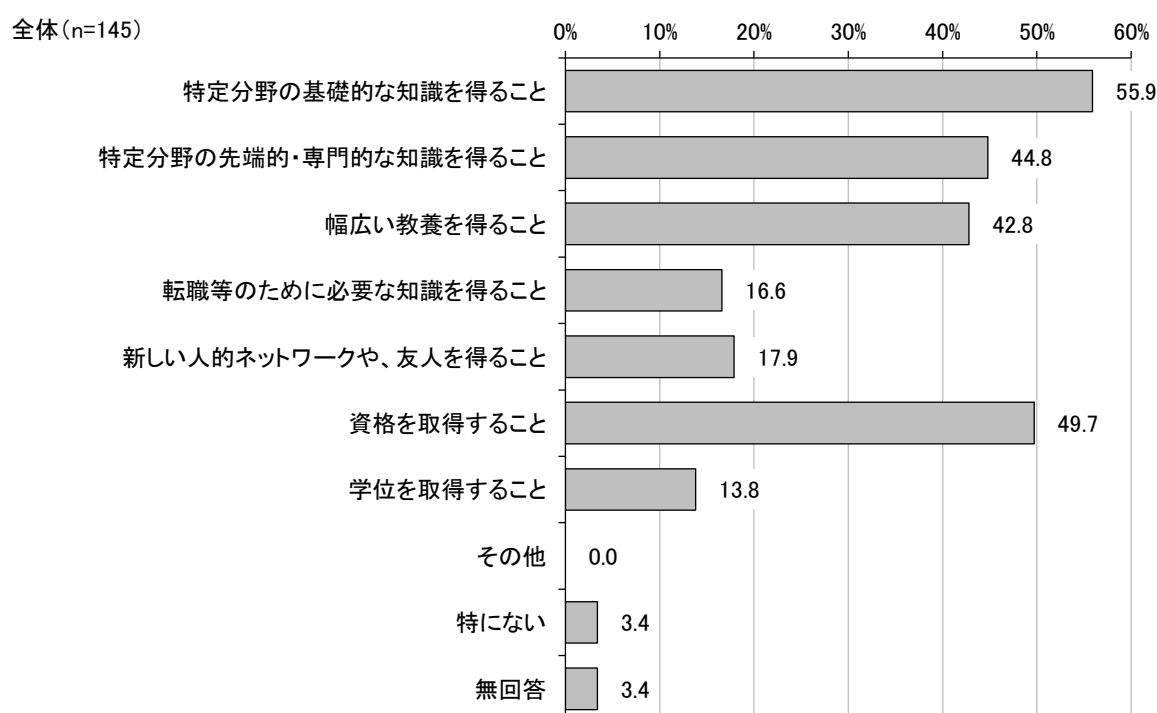
問 24 で「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」以外をお答えの方に伺います。

問 25 社会人として大学等で学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。(複数回答)

期待する成果についてみると、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が 55.9%と最も高く、次いで「資格を取得すること」が 49.7%、「特定分野の先端的・専門的な知識を得ること」が 44.8%となっています。

性別にみると、男性では「特定分野の先端的・専門的な知識を得ること」、女性では「特定分野の基礎的な知識を得ること」が最も高くなっています。

年代別にみると、30～39 歳では「転職等のために必要な知識を得ること」、40～49 歳では「特定分野の先端的・専門的な知識を得ること」がそれぞれ他の年代と比べて高くなっています。また、「資格を取得すること」は 18～49 歳では 7 割台、50～59 歳では 6 割台に対し、60～69 歳では 28.1%、70 歳以上では 14.8%となっています。



■クロス集計

単位：%		特定分野の基礎的な知識を得ること	特定分野の先端的・専門的な知識を得ること	幅広い教養を得ること	転職等のために必要な知識を得ること	新しい人的ネットワークや、友人を得ること	資格を取得すること	学位を取得すること	その他	特にない	無回答
全体(n=145)		55.9	44.8	42.8	16.6	17.9	49.7	13.8	0.0	3.4	3.4
性別	男性(n=60)	50.0	55.0	45.0	16.7	23.3	46.7	18.3	0.0	1.7	1.7
	女性(n=84)	60.7	36.9	41.7	16.7	14.3	51.2	10.7	0.0	4.8	4.8
年代別	18～29歳(n=17)	82.4	41.2	52.9	11.8	23.5	70.6	35.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=20)	55.0	45.0	30.0	45.0	25.0	75.0	15.0	0.0	5.0	5.0
	40～49歳(n=24)	58.3	70.8	41.7	29.2	20.8	70.8	12.5	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(n=25)	48.0	44.0	60.0	12.0	16.0	60.0	28.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳(n=32)	56.3	37.5	28.1	6.3	12.5	28.1	3.1	0.0	6.3	6.3
	70歳以上(n=27)	44.4	33.3	48.1	3.7	14.8	14.8	0.0	0.0	7.4	7.4
職業別	正規の社員・職員(n=49)	55.1	61.2	44.9	28.6	22.4	71.4	20.4	0.0	2.0	4.1
	派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員(n=10)	20.0	70.0	40.0	0.0	0.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト(n=27)	59.3	29.6	37.0	14.8	22.2	44.4	11.1	0.0	3.7	3.7
	農林業、自営業・会社経営、自由業(n=14)	35.7	50.0	50.0	7.1	7.1	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0
	学生(n=8)	87.5	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	家事・育児だけに従事(n=14)	71.4	21.4	35.7	7.1	14.3	50.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	無職(n=23)	60.9	34.8	43.5	8.7	17.4	13.0	4.3	0.0	13.0	4.3
	その他(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

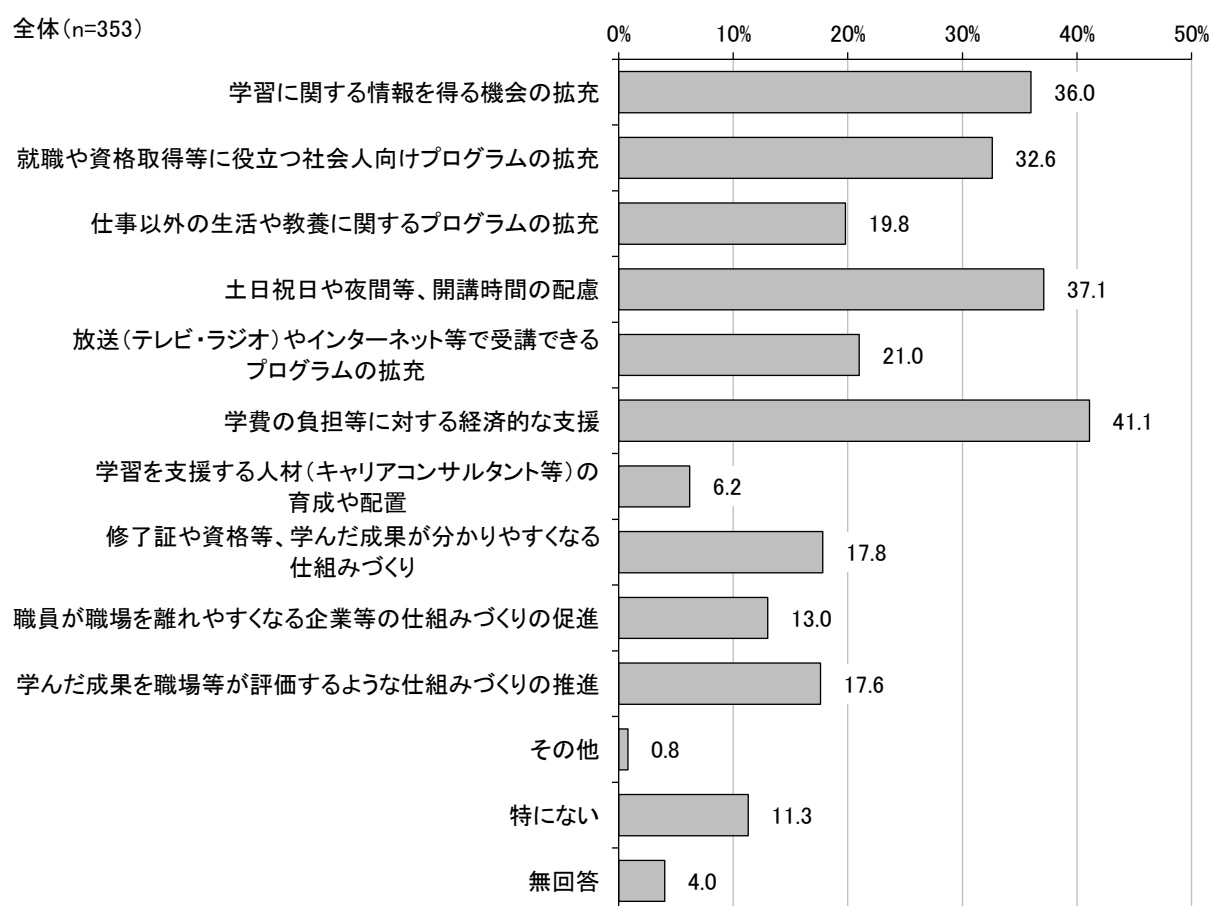
問 26 社会人が大学等で学習しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

社会人が大学等で学習しやすくするために必要な取組についてみると、「学費の負担等に対する経済的な支援」が41.1%と最も高く、次いで「土日祝日や夜間等、開講時間の配慮」が37.1%、「学習に関する情報を得る機会の拡充」が36.0%となっています。

性別にみると、「放送（テレビ・ラジオ）やインターネット等で受講できるプログラムの拡充」は男性が28.5%と女性を12.6ポイント上回っています。

年代別にみると、18～29歳、40～59歳では「学費の負担等に対する経済的な支援」、30～39歳では「土日祝日や夜間等、開講時間の配慮」、60歳以上では「学習に関する情報を得る機会の拡充」がそれぞれ最も高くなっています。また、「土日祝日や夜間等、開講時間の配慮」は18～39歳では4割台、40～59歳では5割台となっています。

職業別にみると、【正規の社員・職員】【派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員】では「土日祝日や夜間等、開講時間の配慮」、【パート・アルバイト】【農林業、自営業・会社経営、自由業】では「学費の負担等に対する経済的な支援」、【家事・育児だけに従事】【無職】では「学習に関する情報を得る機会の拡充」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

単位：%		学習に関する情報を得る機会の拡充	就職や資格取得等に役立つ社会人向けプログラムの拡充	仕事以外の生活や教養に関するプログラムの拡充	土日祝日や夜間等、開講時間の配慮	放送（テレビ・ラジオ）やインターネット等で受講できるプログラムの拡充	学費の負担等に対する経済的な支援	学習を支援する人材（キャリアコンサルタント等）の育成や配置	修了証や資格等、学んだ成果が分かりやすくなる仕組みづくり	職員が職場を離れやすくなる企業等の仕組みづくりの促進	学んだ成果を職場等が評価するような仕組みづくりの推進	その他	特になし	無回答
全体(n=353)		36.0	32.6	19.8	37.1	21.0	41.1	6.2	17.8	13.0	17.6	0.8	11.3	4.0
性別	男性(n=144)	34.7	29.9	17.4	35.4	28.5	38.2	6.3	18.8	13.2	15.3	1.4	11.8	0.0
	女性(n=208)	37.0	34.1	21.6	38.5	15.9	43.3	6.3	17.3	12.5	19.2	0.5	11.1	6.7
年代別	18～29歳(n=28)	35.7	42.9	7.1	46.4	28.6	50.0	0.0	21.4	32.1	28.6	0.0	0.0	3.6
	30～39歳(n=38)	26.3	39.5	7.9	44.7	26.3	39.5	2.6	15.8	21.1	23.7	0.0	10.5	0.0
	40～49歳(n=57)	40.4	47.4	15.8	54.4	28.1	59.6	8.8	28.1	15.8	24.6	0.0	5.3	0.0
	50～59歳(n=58)	36.2	43.1	24.1	58.6	24.1	60.3	5.2	19.0	22.4	22.4	0.0	6.9	0.0
	60～69歳(n=77)	39.0	24.7	29.9	20.8	18.2	31.2	5.2	11.7	6.5	6.5	2.6	13.0	3.9
	70歳以上(n=95)	34.7	17.9	20.0	21.1	12.6	24.2	9.5	15.8	2.1	13.7	1.1	20.0	10.5
職業別	正規の社員・職員(n=101)	37.6	41.6	17.8	49.5	26.7	48.5	5.0	20.8	22.8	23.8	0.0	9.9	2.0
	派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員(n=23)	26.1	30.4	17.4	47.8	39.1	43.5	8.7	13.0	8.7	17.4	0.0	13.0	0.0
	パート・アルバイト(n=74)	36.5	33.8	13.5	44.6	13.5	54.1	9.5	17.6	9.5	14.9	1.4	6.8	4.1
	農林業、自営業・会社経営、自由業(n=23)	39.1	30.4	13.0	34.8	30.4	43.5	4.3	13.0	13.0	8.7	4.3	8.7	4.3
	学生(n=8)	37.5	37.5	0.0	25.0	25.0	37.5	0.0	37.5	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0
	家事・育児だけに従事(n=36)	38.9	36.1	33.3	22.2	22.2	36.1	2.8	25.0	5.6	13.9	0.0	13.9	5.6
	無職(n=81)	33.3	19.8	27.2	19.8	12.3	23.5	7.4	12.3	7.4	13.6	1.2	16.0	7.4
	その他(n=4)	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

04. 社会的な活動について

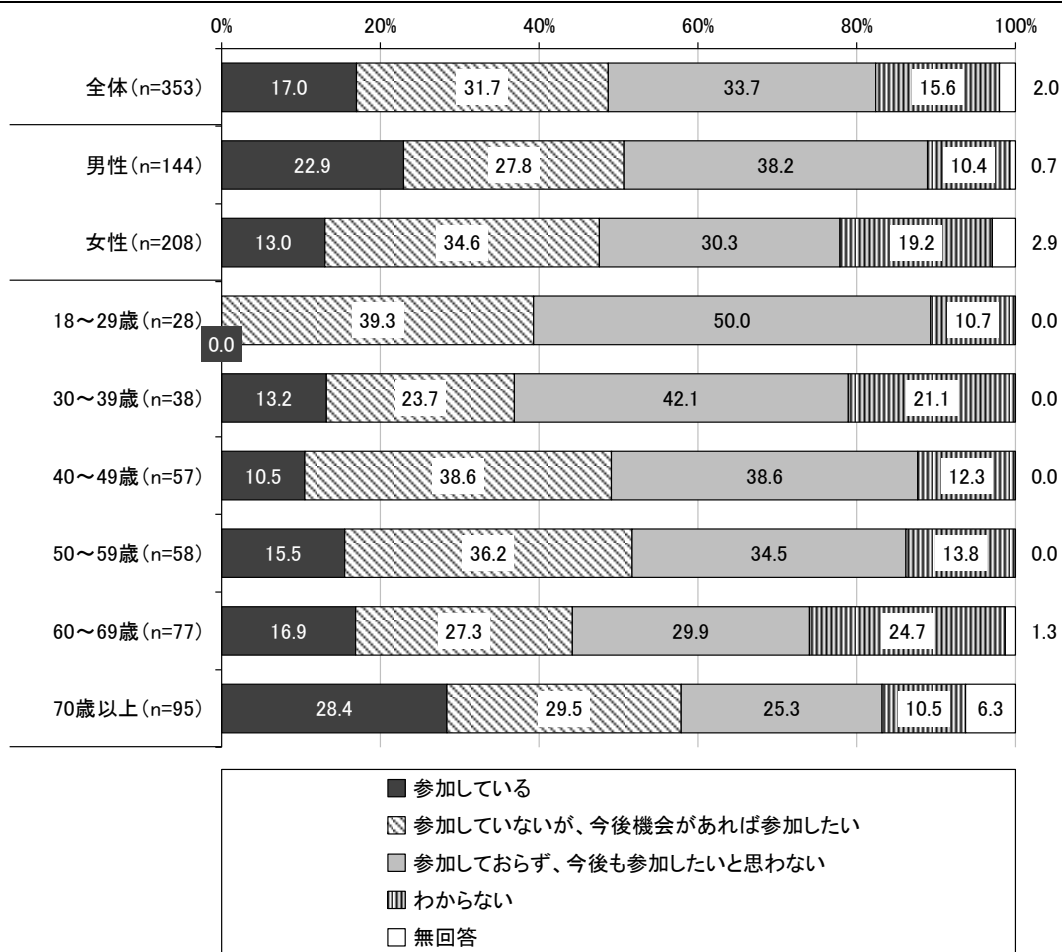
問 27 ボランティア活動、NPO活動、地域活動等、社会的な活動に参加していますか。(単数回答)

社会的な活動への参加についてみると、「参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が 33.7% と最も高く、次いで「参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 31.7%、「参加している」が 17.0% となっています。

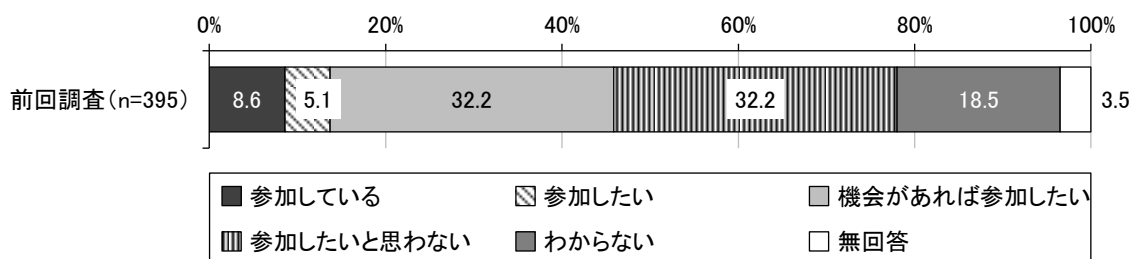
前回調査と比較すると、「参加している」が 8.4 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「参加しておらず、今後も参加したいと思わない」、女性では「参加していないが、今後機会があれば参加したい」が最も高くなっています。

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「参加している」が高くなっており、70 歳以上では 28.4% となっています。



■ 前回調査



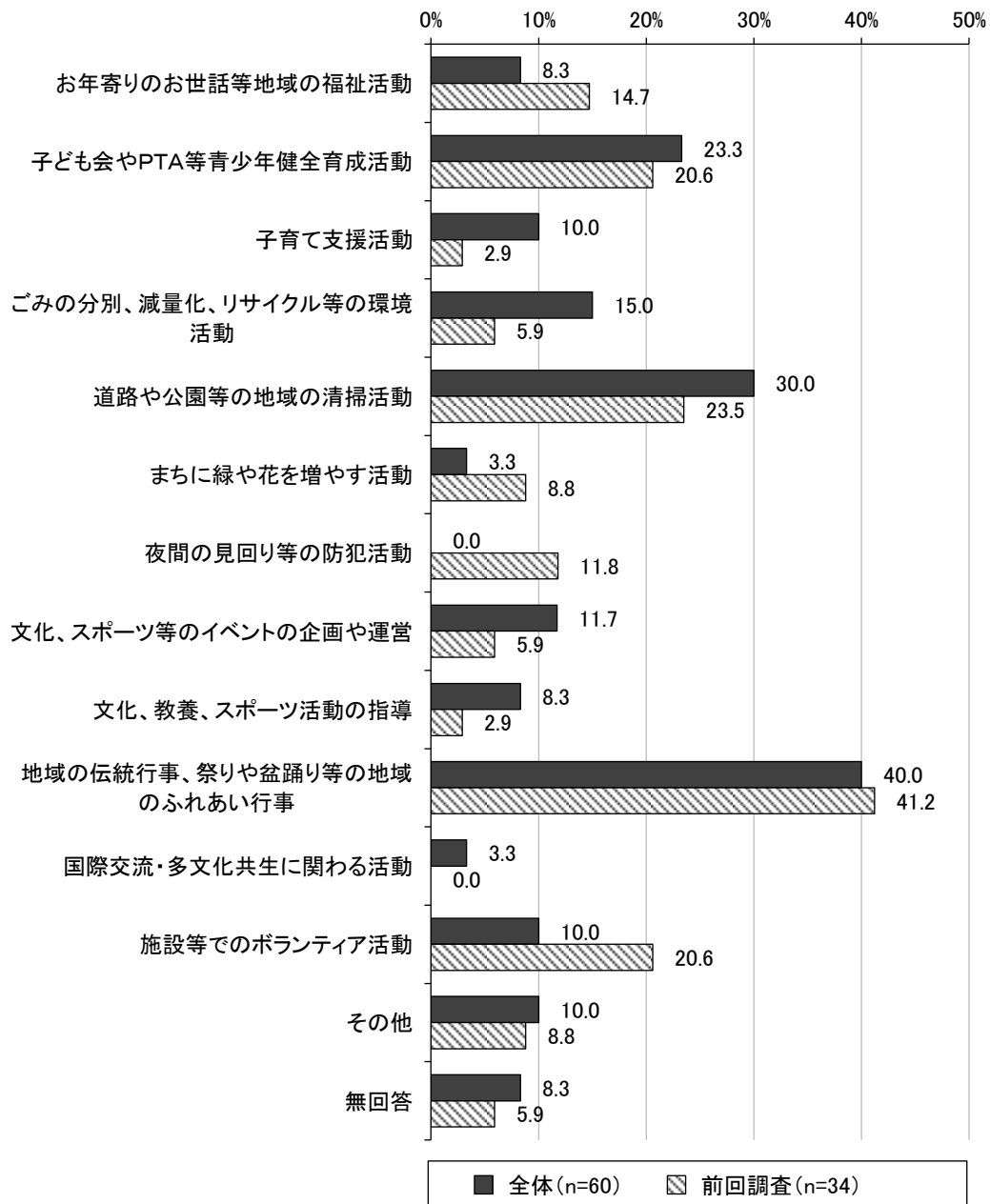
問 27 で「参加している」とお答えの方に伺います。

問 28 参加している社会的な活動はどのような活動ですか。(複数回答)

参加している社会的な活動の内容についてみると、「地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事」が40.0%と最も高く、次いで「道路や公園等の地域の清掃活動」が30.0%、「子ども会やPTA等青少年健全育成活動」が23.3%となっています。また、「夜間の見回り等の防犯活動」は0.0%となっています。

前回調査と比較すると、「施設等でのボランティア活動」が10.6ポイント減少しています。

性別にみると、男女ともに「地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事」が最も高くなっていますが、男性が48.5%と女性を18.9ポイント上回っています。



■クロス集計

単位：%		お年寄りのお世話等地域の福祉活動	子ども会やPTA等青少年健全育成活動	子育て支援活動	環境活動 ごみの分別、減量化、リサイクル等の	道路や公園等の地域の清掃活動	まちに緑や花を増やす活動	夜間の見回り等の防犯活動	運営 文化、スポーツ等のイベントの企画や	文化、教養、スポーツ活動の指導	地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事	国際交流・多文化共生に関わる活動	施設等でのボランティア活動	その他	無回答
全体(n=60)		8.3	23.3	10.0	15.0	30.0	3.3	0.0	11.7	8.3	40.0	3.3	10.0	10.0	8.3
前回調査(n=34)		14.7	20.6	2.9	5.9	23.5	8.8	11.8	5.9	2.9	41.2	0.0	20.6	8.8	5.9
性別	男性(n=33)	3.0	30.3	6.1	9.1	33.3	6.1	0.0	12.1	9.1	48.5	3.0	3.0	12.1	6.1
	女性(n=27)	14.8	14.8	14.8	22.2	25.9	0.0	0.0	11.1	7.4	29.6	3.7	18.5	7.4	11.1
年代別	18～29歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=5)	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	40～49歳(n=6)	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(n=9)	0.0	22.2	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	44.4	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0
	60～69歳(n=13)	0.0	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	23.1	15.4	38.5	0.0	15.4	30.8	7.7
	70歳以上(n=27)	18.5	11.1	3.7	18.5	40.7	3.7	0.0	0.0	0.0	48.1	0.0	11.1	3.7	14.8

※今回調査の「国際交流・多文化共生に関わる活動」は前回調査では「国際交流活動」

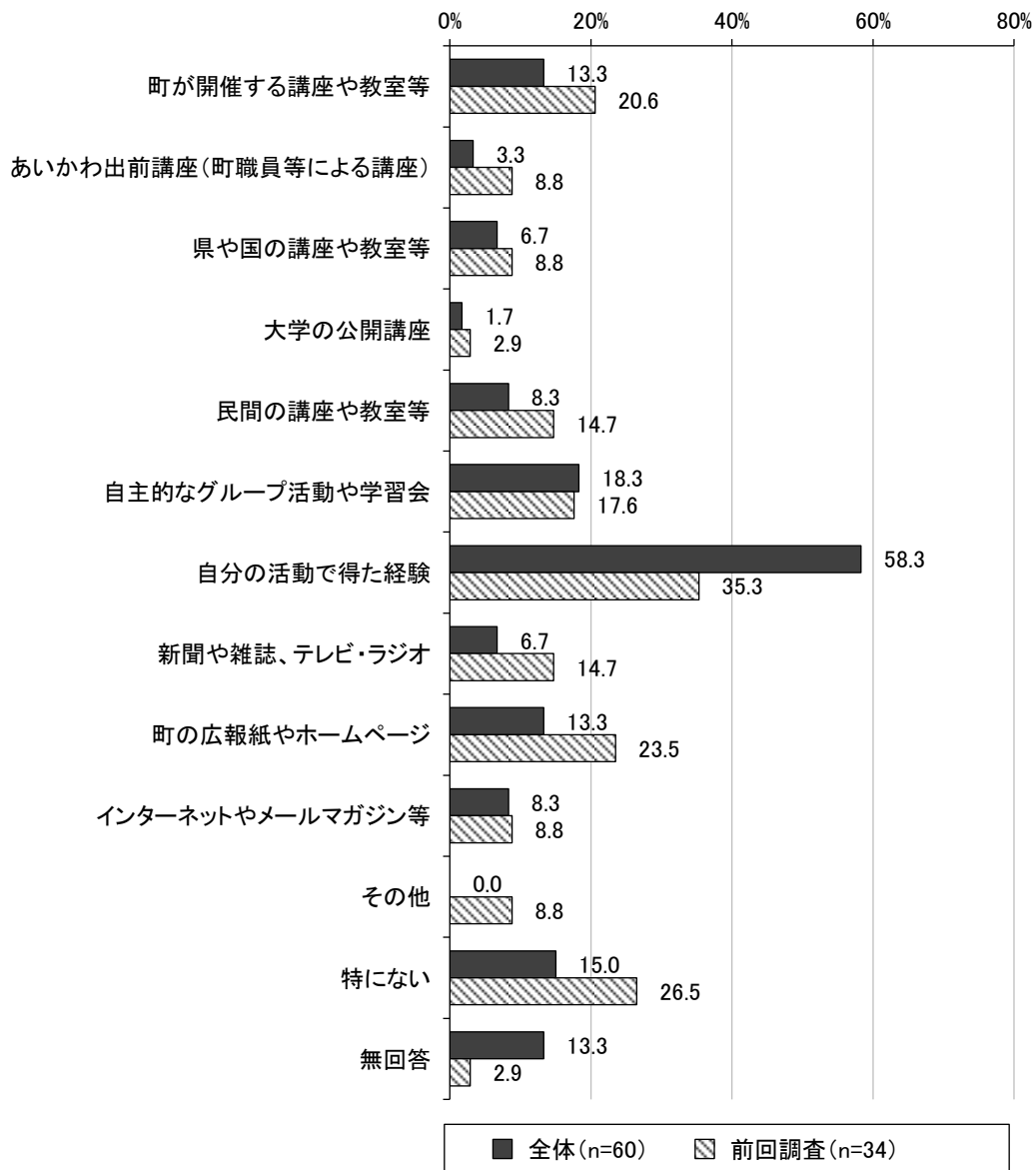
問 27 で「参加している」とお答えの方に伺います。

問 29 社会的な活動を行う上で、次のどのようなことが役立ちましたか。(複数回答)

社会的な活動を行う上で役立ったことについてみると、「自分の活動で得た経験」が 58.3%と最も高く、次いで「自主的なグループ活動や学習会」が 18.3%、「特にない」が 15.0%となっています。

前回調査と比較すると、「自分の活動で得た経験」が 23.0 ポイント増加し、「町の広報紙やホームページ」が 10.2 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「インターネットやメールマガジン等」が 8.4 ポイント、女性では「民間の講座や教室等」が 11.8 ポイント、それぞれ異性を上回っています。



■クロス集計

単位：%		町が開催する講座や教室等	あいかわ出前講座（町職員等による講座）	県や国の講座や教室等	大学の公開講座	民間の講座や教室等	自主的なグループ活動や学習会	自分の活動で得た経験	新聞や雑誌、テレビ・ラジオ	町の広報紙やホームページ	インターネットやメールマガジン等	その他	特になし	無回答
全体 (n=60)		13.3	3.3	6.7	1.7	8.3	18.3	58.3	6.7	13.3	8.3	0.0	15.0	13.3
前回調査 (n=34)		20.6	8.8	8.8	2.9	14.7	17.6	35.3	14.7	23.5	8.8	8.8	26.5	2.9
性別	男性 (n=33)	12.1	3.0	9.1	3.0	3.0	18.2	60.6	3.0	12.1	12.1	0.0	15.2	12.1
	女性 (n=27)	14.8	3.7	3.7	0.0	14.8	18.5	55.6	11.1	14.8	3.7	0.0	14.8	14.8
年代別	18～29歳 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	40～49歳 (n=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0
	50～59歳 (n=9)	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	77.8	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1
	60～69歳 (n=13)	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	23.1	61.5	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4
	70歳以上 (n=27)	18.5	7.4	3.7	0.0	3.7	14.8	55.6	3.7	7.4	3.7	0.0	18.5	14.8

問 27 で「参加しておらず、今後も参加したいと思わない」とお答えの方に伺います。

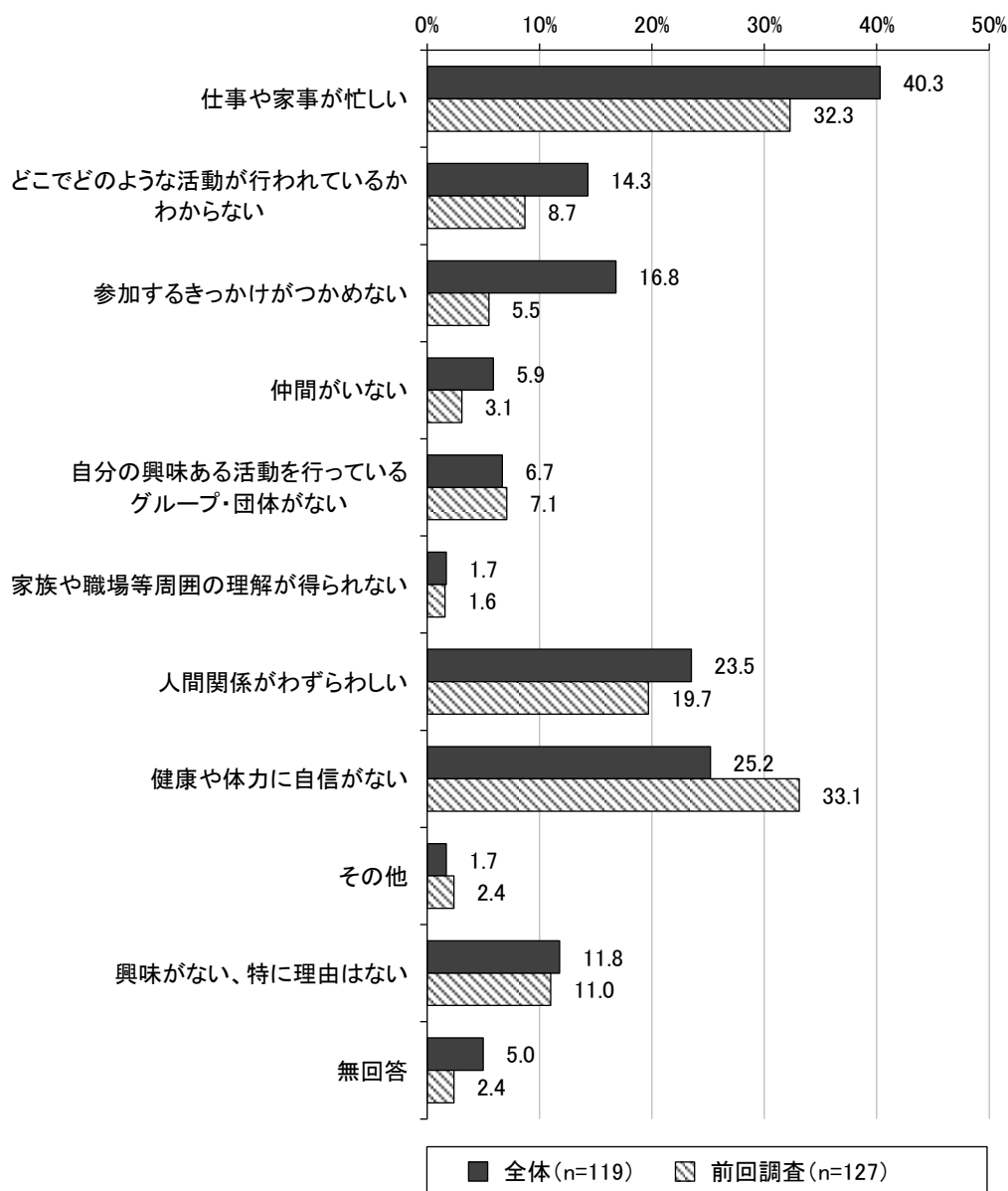
問 30 社会的な活動に参加したいと思わないのはどのような理由からですか。(複数回答)

社会的な活動に参加したいと思わない理由についてみると、「仕事や家事が忙しい」が 40.3%と最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」が 25.2%、「人間関係がわずらわしい」が 23.5%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事や家事が忙しい」が 8.0 ポイント、「参加するきっかけがつかめない」が 11.3 ポイントそれぞれ増加し、「健康や体力に自信がない」が 7.9 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「人間関係がわずらわしい」が 13.4 ポイント、女性では「健康や体力に自信がない」が 18.8 ポイント、それぞれ異性を上回っています。

年代別にみると、40～59 歳では「仕事や家事が忙しい」、70 歳以上では「健康や体力に自信がない」がそれぞれ最も高くなっています。60～69 歳では「人間関係がわずらわしい」と「健康や体力に自信がない」が同率で最も高くなっています。



■クロス集計

単位：%		仕事や家事が忙しい	どこでどのような活動が行われているかわからない	参加するきっかけがつかめない	仲間がない	自分の興味ある活動を行っているグループ・団体が無い	家族や職場等周囲の理解が得られない	人間関係がわずらわしい	健康や体力に自信がない	その他	興味がない、特に理由はない	無回答
全体(n=119)		40.3	14.3	16.8	5.9	6.7	1.7	23.5	25.2	1.7	11.8	5.0
前回調査(n=127)		32.3	8.7	5.5	3.1	7.1	1.6	19.7	33.1	2.4	11.0	2.4
性別	男性(n=55)	40.0	10.9	18.2	7.3	3.6	0.0	30.9	14.5	1.8	16.4	3.6
	女性(n=63)	39.7	17.5	15.9	4.8	9.5	3.2	17.5	33.3	1.6	7.9	6.3
年代別	18～29歳(n=14)	71.4	7.1	35.7	21.4	7.1	0.0	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0
	30～39歳(n=16)	68.8	18.8	12.5	0.0	0.0	6.3	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
	40～49歳(n=22)	63.6	18.2	31.8	0.0	4.5	0.0	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0
	50～59歳(n=20)	35.0	10.0	5.0	10.0	0.0	5.0	20.0	10.0	0.0	25.0	10.0
	60～69歳(n=23)	21.7	17.4	13.0	4.3	8.7	0.0	30.4	30.4	4.3	13.0	8.7
	70歳以上(n=24)	4.2	12.5	8.3	4.2	16.7	0.0	12.5	62.5	4.2	4.2	8.3

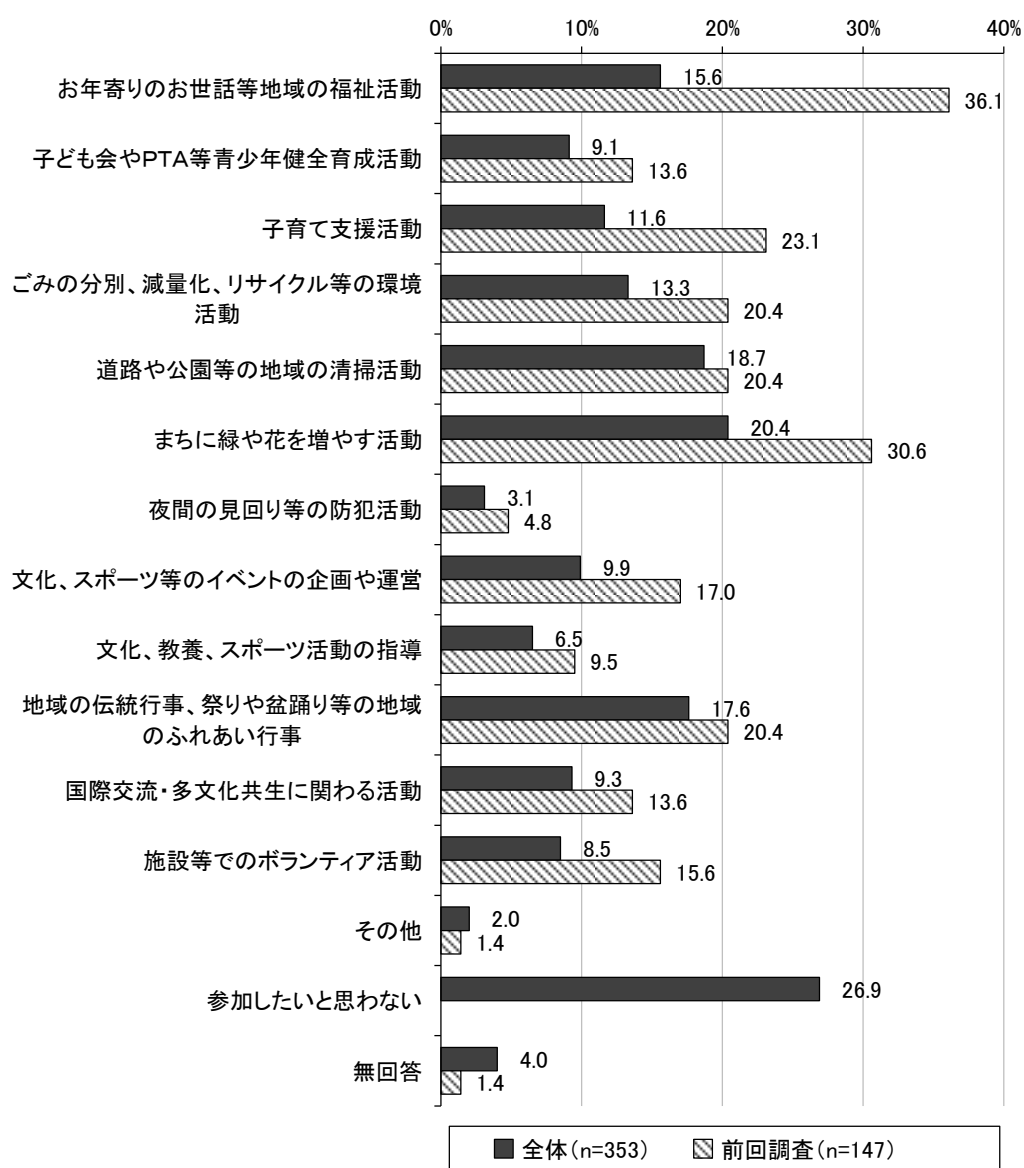
問31 今後どのような活動に参加したいと思いますか。(複数回答)

今後参加したい活動についてみると、「参加したいと思わない」が26.9%と最も高く、次いで「まちに緑や花を増やす活動」が20.4%、「道路や公園等の地域の清掃活動」が18.7%となっています。

性別にみると、女性では「お年寄りのお世話等地域の福祉活動」が12.4ポイント、「子育て支援活動」が10.3ポイント、それぞれ男性を上回っています。

年代別にみると、70歳以上では「道路や公園等の地域の清掃活動」、その他(30~39歳除く)の年代では「参加したいと思わない」がそれぞれ最も高くなっています。30~39歳では「子ども会やPTA等青少年健全育成活動」と「子育て支援活動」、60~69歳では「まちに緑や花を増やす活動」と「参加したいと思わない」が同率で最も高くなっています。また、30~39歳では「子ども会やPTA等青少年健全育成活動」が他の年代と比べて高くなっています。

社会的な活動の参加状況別にみると、【参加していないが、今後機会があれば参加したい】では「まちに緑や花を増やす活動」が33.0%と最も高くなっています。



※前回調査では社会的な活動に「参加したい」「できれば参加したい」と回答した人限定

■クロス集計

単位：%		お年寄りのお世話等地域の福祉活動	子ども会やPTA等青少年健全育成活動	子育て支援活動	ごみの分別、減量化、リサイクル等の環境活動	道路や公園等の地域の清掃活動	まちに緑や花を増やす活動	夜間の見回り等の防犯活動	文化、スポーツ等のイベントの企画や運営	文化、教養、スポーツ活動の指導	地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事	国際交流・多文化共生に関わる活動	施設等でのボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体(n=353)		15.6	9.1	11.6	13.3	18.7	20.4	3.1	9.9	6.5	17.6	9.3	8.5	2.0	26.9	4.0
前回調査(n=147)		36.1	13.6	23.1	20.4	20.4	30.6	4.8	17.0	9.5	20.4	13.6	15.6	1.4		1.4
性別	男性(n=144)	8.3	6.9	5.6	18.1	22.2	14.6	5.6	14.6	9.0	21.5	11.1	5.6	1.4	29.9	2.1
	女性(n=208)	20.7	10.6	15.9	10.1	16.3	24.0	1.4	6.7	4.8	14.9	8.2	10.6	2.4	25.0	5.3
年代別	18～29歳(n=28)	10.7	10.7	21.4	14.3	17.9	10.7	3.6	21.4	10.7	10.7	17.9	3.6	0.0	28.6	0.0
	30～39歳(n=38)	10.5	28.9	28.9	15.8	10.5	13.2	0.0	15.8	10.5	23.7	13.2	2.6	0.0	15.8	0.0
	40～49歳(n=57)	8.8	12.3	12.3	15.8	14.0	19.3	5.3	8.8	8.8	21.1	10.5	5.3	1.8	35.1	0.0
	50～59歳(n=58)	22.4	8.6	8.6	5.2	19.0	17.2	1.7	15.5	5.2	13.8	17.2	10.3	1.7	36.2	3.4
	60～69歳(n=77)	18.2	3.9	11.7	13.0	14.3	28.6	2.6	7.8	6.5	13.0	6.5	10.4	1.3	28.6	0.0
	70歳以上(n=95)	16.8	3.2	3.2	15.8	28.4	22.1	4.2	3.2	3.2	21.1	2.1	11.6	4.2	18.9	12.6
社会的状況別の	参加している(n=60)	21.7	16.7	11.7	18.3	31.7	18.3	5.0	11.7	10.0	30.0	10.0	16.7	3.3	6.7	5.0
	参加していないが、今後機会があれば参加したい(n=112)	29.5	13.4	19.6	20.5	31.3	33.0	5.4	14.3	8.0	25.0	12.5	12.5	0.9	2.7	0.0
	参加しておらず、今後も参加したいと思わない(n=119)	3.4	1.7	5.0	8.4	4.2	8.4	1.7	6.7	5.0	8.4	8.4	0.8	0.8	58.0	3.4
	わからない(n=55)	7.3	9.1	10.9	5.5	12.7	21.8	0.0	7.3	3.6	10.9	5.5	7.3	3.6	32.7	7.3

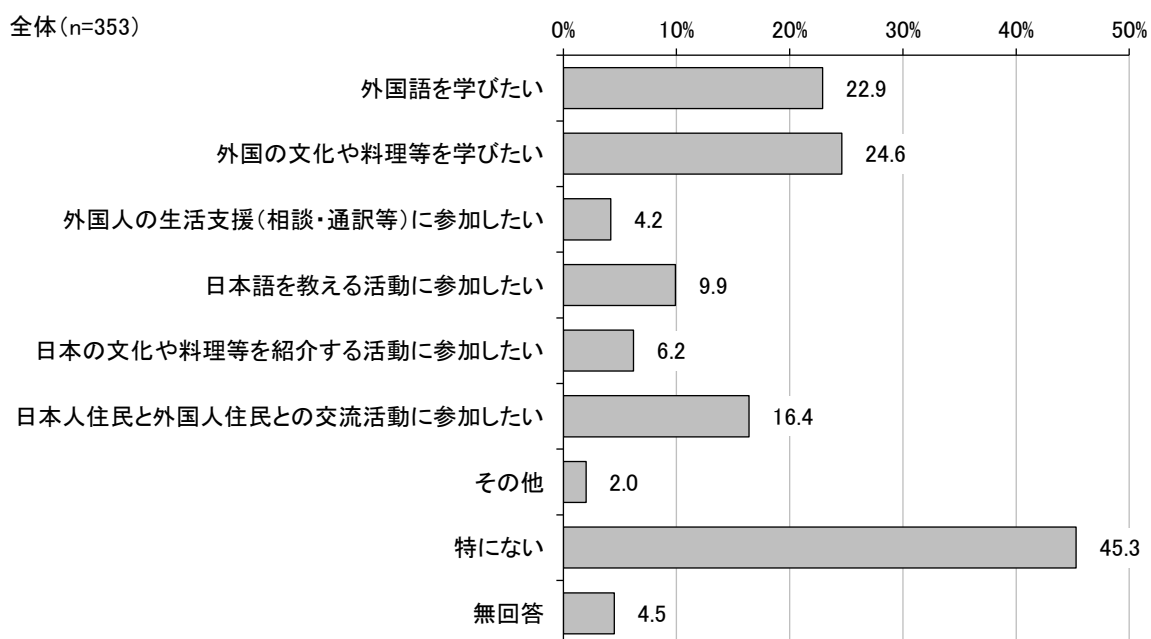
※今回調査の「国際交流・多文化共生に関わる活動」は前回調査では「国際交流活動」

問 32 多文化共生を進めるにあたり、どのような活動をしてみたいですか。(複数回答)

多文化共生を進めるにあたり、してみたい活動についてみると、「特にない」が 45.3%と最も高く、次いで「外国の文化や料理等を学びたい」が 24.6%、「外国語を学びたい」が 22.9%となっています。

性別にみると、男女ともに「特にない」が最も高くなっていますが、男性が 52.1%と女性を 11.7 ポイント上回っています。

年代別にみると、18～29 歳、40～49 歳では「外国語を学びたい」、30～39 歳では「外国の文化や料理等を学びたい」、50 歳以上では「特にない」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

単位：%		外国語を学びたい	外国の文化や料理等を学びたい	外国人の生活支援（相談・通訳等）に参加したい	日本語を教える活動に参加したい	日本の文化や料理等を紹介する活動に参加したい	日本人住民と外国人住民との交流活動に参加したい	その他	特にない	無回答
全体 (n=353)		22.9	24.6	4.2	9.9	6.2	16.4	2.0	45.3	4.5
性別	男性 (n=144)	20.1	20.1	6.3	11.8	4.9	17.4	1.4	52.1	2.1
	女性 (n=208)	25.0	27.9	2.9	8.7	7.2	15.9	2.4	40.4	6.3
年代別	18～29歳 (n=28)	35.7	17.9	7.1	17.9	3.6	17.9	0.0	32.1	0.0
	30～39歳 (n=38)	28.9	42.1	5.3	10.5	7.9	13.2	5.3	39.5	0.0
	40～49歳 (n=57)	40.4	28.1	7.0	12.3	8.8	14.0	1.8	38.6	0.0
	50～59歳 (n=58)	22.4	27.6	6.9	15.5	6.9	20.7	0.0	46.6	3.4
	60～69歳 (n=77)	19.5	24.7	2.6	5.2	5.2	15.6	1.3	51.9	1.3
	70歳以上 (n=95)	9.5	15.8	1.1	6.3	5.3	16.8	3.2	49.5	13.7

05. 町の取組について

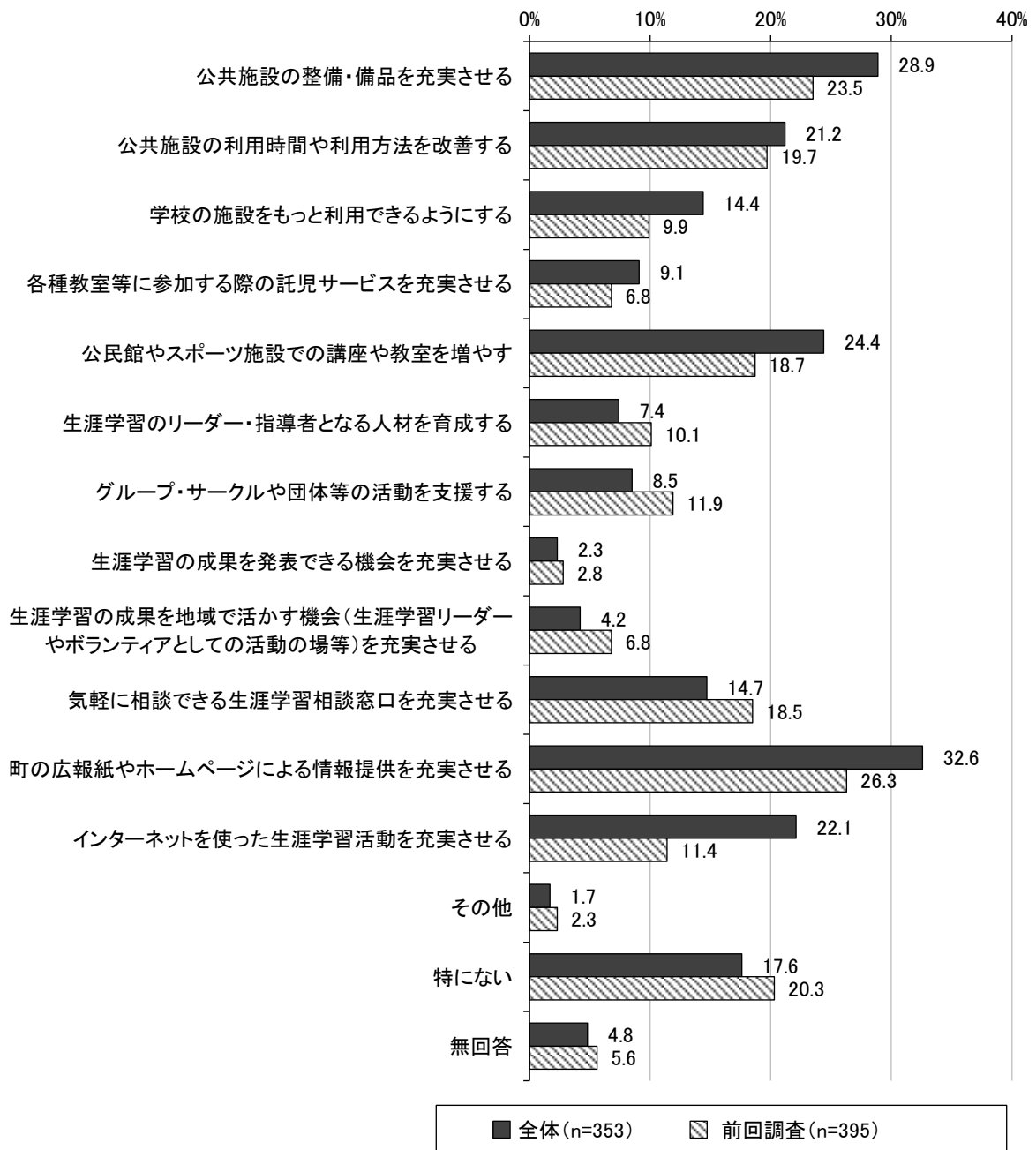
問 33 生涯学習を行っていく上で、今後町に望むことはどんなことですか。(複数回答)

生涯学習を行っていく上で、今後町に望むことについてみると、「町の広報紙やホームページによる情報提供を充実させる」が32.6%と最も高く、次いで「公共施設の整備・備品を充実させる」が28.9%、「公民館やスポーツ施設での講座や教室を増やす」が24.4%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」が10.7ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「公共施設の利用時間や利用方法を改善する」が7.4ポイント、「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」が8.8ポイント、女性では「各種教室等に参加する際の託児サービスを充実させる」が7.1ポイント、「公民館やスポーツ施設での講座や教室を増やす」が7.3ポイント、それぞれ異性を上回っています。

年代別にみると、18～29歳、40～49歳では「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」、30～39歳では「公共施設の整備・備品を充実させる」、60歳以上では「町の広報紙やホームページによる情報提供を充実させる」がそれぞれ最も高くなっています。50～59歳では「公共施設の整備・備品を充実させる」と「インターネットを使った生涯学習活動を充実させる」が同率で最も高くなっています。



■クロス集計

単位：%		公共施設の整備・備品を充実させる	公共施設の利用時間や利用方法を改善する	学校の施設をもっと利用できるようにする	各種教室等に参加する際の託児サービスを充実させる	公民館やスポーツ施設での講座や教室を増やす	生涯学習のリーダー・指導者となる人材を育成する	グループ・サークルや団体等の活動を支援する	生涯学習の成果を発表できる機会を充実させる	生涯学習の成果を地域で活かす機会（生涯学習リーダーやボランティアとしての活動の場等）を充実させる	気軽に相談できる生涯学習相談窓口を充実させる	町の広報紙やホームページによる情報提供を充実させる	インターネットを使った生涯学習活動を充実させる	その他	特になし	無回答
全体(n=353)		28.9	21.2	14.4	9.1	24.4	7.4	8.5	2.3	4.2	14.7	32.6	22.1	1.7	17.6	4.8
前回調査(n=395)		23.5	19.7	9.9	6.8	18.7	10.1	11.9	2.8	6.8	18.5	26.3	11.4	2.3	20.3	5.6
性別	男性(n=144)	29.9	25.7	14.6	4.9	20.1	10.4	11.1	2.8	4.2	12.5	31.9	27.1	1.4	17.4	2.1
	女性(n=208)	28.4	18.3	14.4	12.0	27.4	5.3	6.7	1.9	4.3	16.3	33.2	18.3	1.9	17.8	6.7
年代別	18～29歳(n=28)	28.6	28.6	7.1	10.7	10.7	7.1	0.0	0.0	0.0	10.7	17.9	39.3	3.6	21.4	3.6
	30～39歳(n=38)	42.1	13.2	18.4	15.8	21.1	5.3	7.9	0.0	2.6	7.9	21.1	26.3	5.3	23.7	0.0
	40～49歳(n=57)	29.8	33.3	15.8	8.8	24.6	7.0	7.0	0.0	1.8	14.0	36.8	42.1	1.8	8.8	0.0
	50～59歳(n=58)	29.3	20.7	15.5	17.2	19.0	8.6	6.9	1.7	8.6	17.2	25.9	29.3	3.4	25.9	0.0
	60～69歳(n=77)	29.9	23.4	13.0	2.6	35.1	3.9	13.0	2.6	2.6	15.6	39.0	13.0	0.0	16.9	2.6
	70歳以上(n=95)	22.1	13.7	14.7	6.3	24.2	10.5	9.5	5.3	6.3	16.8	37.9	6.3	0.0	14.7	14.7

問 34 生涯学習を活発にするために、町の施策や事業の充実・推進について、どのように進めていったらよいと思いますか。意見・提案・アイデア等がありましたら、ご自由にお書きください。

意見や感想を自由記入形式で求めたところ、59 人の方から回答がありました。以下、主なものを原文のまま掲載しています。

性別	年代	内容
女性	30～39 歳	出入りしやすい（入会、退会しやすい）体験を増やしてほしい。また、それを HP などで紹介してほしい。
女性	30～39 歳	参加しやすいもの。体験型の。コロナもあるので広い場所で。
男性	50～59 歳	バランスが取れたプログラムの開発。町民の生きがい、健康促進のためのプログラム。町の発展に関係するプログラム。個人の利益に関係するプログラム。
女性	60～69 歳	活発にする為のアイデアではないけれど、外国の方との共生だけでなく、年代・性別が違う方と交流ができるイベントがあっても良いのでは？
女性	60～69 歳	町の広報紙等で発信してもらえれば自宅でゆっくり見たり、読んだりできる。集まった方同士で何かやったり聞いたりは苦手です。（参加しない方も、幅広く勉強できる）
男性	70 歳以上	生涯学習は人のやる気を行動に移せるかであり、地域の様々な人材をバンクとして登録して頂き、そのキッカケづくりを考えたらどうか！
女性	70 歳以上	75 才になりますと自動車での移動が難しくなってきます。各区にあります児童館で、文化、教養、スポーツ等を組み合わせた講座があると助かります。聞く一方でなく、指導者との会話等。
女性	70 歳以上	高齢者でも気軽に参加できるよう、インターネットでの参加等は苦手なので、電話・返信封筒等の申込みは続けて下さい。
女性	70 歳以上	家に居ながらにして学習できるズームとかテレビ活用。
男性	18～19 歳	生涯学習の機会を知らない人も多いと思うので、より力を入れたい取り組みについては町内放送を行い、興味を持ってもらうことも大切だと思います。なぜなら、みんながみんな愛川町のホームページを見ているわけではないと思うし、興味があっても自分から調べようとする人は少ないと思うからです。そのため、情報をより広い範囲に届けるには町内放送も一つの手なのではないでしょうか。
男性	20～29 歳	今までこのような活動があること自体全く知らなかったもので、SNS などを活用して多くの人に知ってもらえるようにしなければならぬと思います。
男性	30～39 歳	今は SNS が充実しているので、Instagram や Twitter などを積極的に活用していくと良いと思う。
女性	30～39 歳	情報量、情報の発信の仕方をもっと増やす。知らない人の方が多いかと思いましたが、私は知らなかったです。公民館に行く機会もないし、新聞も取っていないから情報を入手する量が少ない。SNS などをもっと使えば良いかと。
女性	30～39 歳	若い人を取り込みたいのであれば、回覧板等時代遅れな方法より、ネットで配信していった方が効率良さそう。

性別	年代	内容
男性	40～49 歳	諸外国の方が移住して来ているが外国語で自治会や PTA を紹介する資料を作ってもらえると助かる。町のホームページ等。
男性	40～49 歳	HP 上での情報公開と参加したくなる講座の開設。
女性	40～49 歳	海外からの方にも分かり易いよう、多言語での情報発信があればより良いと思います。
男性	50～59 歳	生涯学習という言葉は初めて聞き、何の事か分からなかった。SNS を通じての情報をもっと拡大すべきと思う。その中で興味がある物があれば参加してもいいと思う。
女性	50～59 歳	以前カメラ、運動教室など参加したことがありますが、どこでどんなことがやられているのかの情報が回ってきません。もっと周知してもらえれば参加する機会が増えるかもしれません。
女性	50～59 歳	参加したいという人のきっかけを作る為に、スマホ等でインフォメーションを送ることで、入り口は増えるのではないかと思います。また、グループ活動の発表は、会館等にしばらず、近所のスーパー等にスペースを借りて、色々な人が気軽にふれあえると情報が伝わりやすくなると思います。
女性	50～59 歳	人が集まる場所に目立つようにポスターなどを貼る。目を引くような広告じゃないとスルーしてしまうので。
女性	60～69 歳	情報提供が充実されていないため、生涯学習を知らない人が多いと感じます。また、利用したとしても個人だと孤立感が強く、一定の方が利用出来ていないように思います。
女性	60～69 歳	スマホで情報が見られると利用する人が増えると思います。
男性	70 歳以上	一般の人は生涯学習のテーマが多方面でもあり、理解できてない面もあると思うので、整理してもっと広報にも力を入れたら良いと思います。
男性	70 歳以上	情報提供を幅広くしてほしい。
男性	70 歳以上	野外放送をもっと活用したら。
女性	70 歳以上	生涯学習の件で行っている方がいましたら、発表に対して了解をえられましたら公民館、児童館等で発表していただき、色々な部門の中から関心をもっている場所にいき、どのようにしているか聞くことにより参考になり、やりやすくなるのではないかと思います。そのお知らせは地域の回覧板でお知らせしたらどうかと思いました。
男性	20～29 歳	施設のオンライン予約等の充実。ネットでの情報発信・提示をもっとやって欲しい。
女性	20～29 歳	もっと気軽に誰でも利用できるような魅力ある図書館が欲しいです。
女性	40～49 歳	施設をもっときれいにしたい。
女性	50～59 歳	生涯学習を増やすことは良いと思いますが、利用が増えると駐車場の充実が必要。無理であれば愛ちゃんバスをせめて 1 時間に 1 本はあってほしい（土、日、イベントがある時は利用したい）。児童館をもっと使用できたら良いと思います。フリースペース、カフェのようなみんなが集まれる場所が欲しいです。コロナのワクチンのチラシのようにポストに入れてもらえるとインターネットが使えない人も知ることができるかもしれないと思います。

性別	年代	内容
男性	60～69 歳	町の施設の充実が先決です。愛川はここ 20 年全く進まず遅れている。役所として町民生活の充実をもっと学習して欲しい。
女性	60～69 歳	図書館が文化会館の一室となっていますが、是非、図書館の充実・新設を切望します。町の文化レベルを判断できる施設です。今後の高齢化社会に向けて、図書館は利用者が増加するものと思います。検討よろしくお願い致します。
女性	60～69 歳	愛川町の中心（役場所在地辺り）に、アート作品の展示やグループで創作活動などができる専門の施設（ギャラリー）があると良いのではないかと、思います。鉄道の駅がないので、町内のあちこちの地区の人たちが集まり、文化活動を通して交流しやすい場があると良いのかな、とふと思いました。
女性	70 歳以上	歩いて行けるくらいの場所に施設があれば、どんどん参加していきたい。
男性	50～59 歳	町民憲章が町民の意識に浸透するよう、様々な機会を通じて町民憲章の唱和を行う。 （小中学生時代に学校生活の中で自然に覚えてしまうように繰り返し唱和する）
男性	50～59 歳	様々な団体の紹介。愛川町だけでなく、近隣市町村、大学や小中高校、スポーツ団体、文化団体との連携。
男性	30～39 歳	多種多様なニーズがあり大変だとは思いますが、期待しています。
女性	30～39 歳	お子さんが小さい親御さんでも、参加する時にお子さんを見てもらえる形をとれば、色々選択肢は増えていくと思います。
女性	60～69 歳	今は家庭の事情により余裕がありません。お役に立てず申し訳ありません。
男性	70 歳以上	本人は体調不良なのでこういった行事などには出れません。（代理人です）。元気だったら何かやりたいものがあるのですが、今は気力もないので役に立たず申し訳ありませんと本人が言っています。
女性	70 歳以上	やってみたいが今現在は時間が取れない。

IV ヒアリング調査結果

01. 調査の目的

地域組織や活動団体等を対象に各組織の活動状況や活動を通じて感じることを伺い、生涯学習における課題やニーズを把握し、計画策定の検討材料とすることを目的に実施しました。

02. 実施対象と実施内容について

一般団体・二十歳のつどい実行委員・外国人相談員を対象に実施。外国人相談員に対しては、負担軽減の観点から、ヒアリング調査のみ実施しました。

① 一般団体 (P.70～75)

対象は、社会教育委員・婦人団体連絡協議会・PTA 連絡協議会等、公民館利用団体、神奈川県内陸工業団地協同組合の計 18 団体。まず「プレ調査」を 18 団体に実施。そのうち、対面（またはオンライン）でのヒアリングに協力可能で、日程調整ができた 8 団体とヒアリングを実施しました。

●プレ調査

調査票配付件数	回収件数	回収率
18 件	15 件	83.3%

② 二十歳のつどい実行委員 (P.76～80)

若年層の意見を把握するため、二十歳のつどい実行委員会の委員を対象にアンケート調査を実施。

調査票配付件数	回収件数	回収率
14 件	9 件	64.3%

③ 外国人相談員 (P.81)

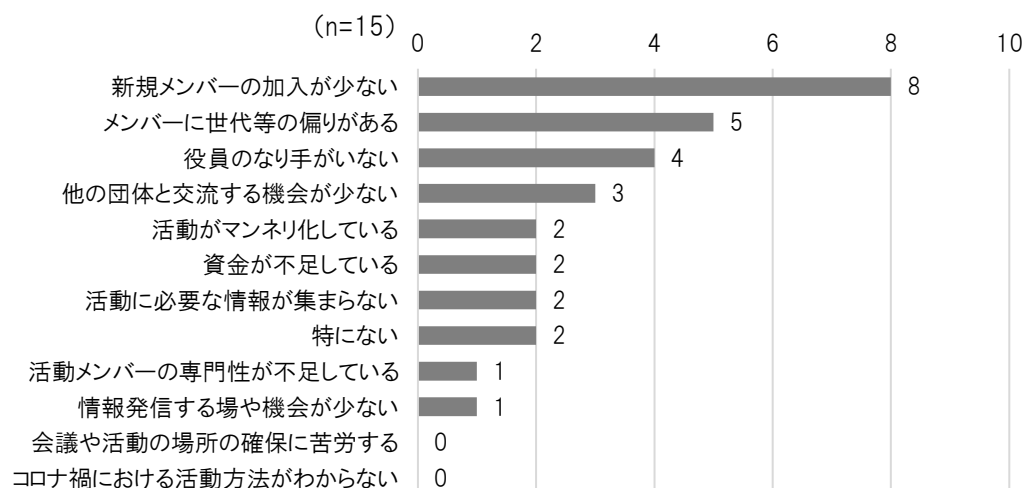
外国人の活動状況等を把握するため、町の外国人相談員（2 名）にヒアリング調査を実施。

03. 一般団体への調査結果

問1 貴団体が活動する上で、課題だと感じていることや困っていること(複数回答)

【プレ調査より】

「新規メンバーの加入が少ない」が8件と最も多く、次いで「メンバーに世代等の偏りがある」が5件となっています。



(自由記入欄より・原文のまま掲載)

- ・メンバーの高齢化もあり、公民館までの交通手段。
- ・地域が学校に入っていくことをまだ理解されていない学校もあり、対応に悩んでいるメンバーもいる。
- ・女性の委員がいないため、どうしても男性目線で考え・取り組んでしまう。

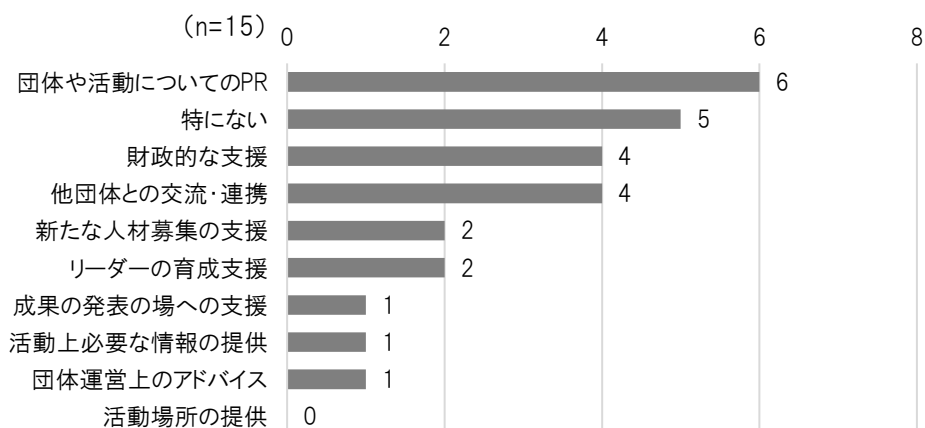
【ヒアリングより】

- ・コロナ禍で面識・交流の機会が減った。
- ・学校のお便りに団体の活動について掲載いただいたこともあり、最近は口コミで広がっている。しかし、メンバーの中でも活動できる人が限定されており、人数不足を感じる。
- ・企業、行政、地域の線引き(役割)が難しい。誰がどのような責任を負うのか曖昧なところがある。
- ・交通手段確保のためにメンバー同士での乗り合いも行っていたが、コロナの関係で難しくなった。
- ・役員の担い手不足。地域の人との交流会が減少したことにより面識がなくなったため、人づてで探すことが難しくなった。
- ・学校と連携していきたいが、先生が忙しい状況もあり難しい。
- ・社会教育委員の知名度が低い。各団体が社会教育団体であるというイメージが低い。

問2 貴団体が今後活動をする上で、町に希望する支援（複数回答）

【プレ調査より】

「団体や活動についてのPR」が6件と最も多く、次いで「特にない」が5件となっています。



（自由記入欄より・原文のまま掲載）

- ・現在も様々な面でご支援いただき感謝しております。今後、講座等の開催があるとありがたいです。
- ・道路・水路等の都市インフラの整備、維持管理。
- ・社会教育委員の活動を「公報（広報）」等に掲載の要望。（社会教育委員の知名度の向上と活動の活性化を考える）
- ・ホームヨガの会は近所の方々とこぢんまりやっているのでラビンプラザを使用させて頂けるのがありがたいです。
- ・年間の予算が決まっているため、突発的な活動や取り組みが出来ない。

【ヒアリングより】

- ・活動のPRをもっと行いたい。個人情報の問題もあると思うが、SNSや口コミ等を活用してほしい。
- ・あいかわ町民活動サポートセンターでは活動を紹介していただいているが、町民の目に触れる機会が少ないと感じる。広報あいかわや町のホームページ等、町民が見やすい媒体でPRしていただきたい。
- ・公民館にサークルの会員募集を掲示しているが、公民館に来ている人しか見れない。イベント等、公民館に来ていただく機会が増えると良い。
- ・広報あいかわに生涯学習全体の特集ページを設けてもらい、団体のPRをしていただきたい。
- ・読み聞かせの講座や有名な作家さんの講演会を再開してもらいたい。
- ・広報は少し堅いイメージがある。「愛川時間」や「タウンニュース」で団体の活動を取り上げてもらえたらPRにつながると思う。
- ・会場までの移動支援があるとよい。
- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会があった。町でも社会教育活動を発表する機会があるとよいのではないかな。

問3 生涯学習を推進する上で貴団体が関われる・支援できると思うこと

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・以前は、展示会など、行っていましたが、今は活動日に学習するだけなので、団体として関わり・支援はできません。
- ・毎年実施している「ふれあいレクリエーション」の開催。
- ・活動範囲を拡大しての活動、地域の皆様に活動を知っていただき参加していただくことで、生涯学習を更に推進できると思います。
- ・町が主催するイベントや地域でのイベント開催の周知と手伝い。
- ・地域人材を活用した、児童・生徒に対する体験授業 etc の企画。
- ・町でのイベントの参加。
- ・趣味で、手芸をしている方がたくさんいます。教える事は出来ると思います。
- ・イベント等で作品作り教室を開催し教えることが出来る。
- ・ジュニアリーダーを介して、町イベントや地域イベントに協力している。
- ・こども 110 番の家の案内。
- ・体験活動等で切り絵を知ってもらう。
- ・町が主催するスポーツに関するイベントや地域活動の支援。
- ・山の魅力、すばらしさを講座等で伝える (写真等を活用)。

【ヒアリングより】

- ・ふれあいレクリエーションにおいて、消防団の放水や指紋の採取 (警察)、楽器体験 (吹奏楽団)、消防署のコスチューム着用等、学校ではできないような体験を子どもたちに提供する。
- ・現在、花植えボランティアや草刈り隊等、地域人材が学校に入って活動している。地域や学校のパイプ役を担うことが、自分らの役目だと思っている。最近では、ミシンボランティアや調理実習のサポートを学校側から依頼されることもある。
- ・地域活動やボランティア活動について、企業を経由して周知する。今後は企業だけではなく、従業員個人に対するアプローチを考えていきたい。
- ・就労に対する研修は行っているが、地域活動に関しては行っていない。講師のマッチングが出来れば実施できるかもしれない。
- ・障害者の施設や小中高校でも披露したいという声もある。自分らがいきいきと活動しているところを見せたい。

問4 町全体で生涯学習の活動を広げるためのアイデアやご意見等

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・公民館に学習の問い合わせがあり、講師を探して公民館事業で行い、サークルが出来る。水彩画、吊るし雛、折り紙など。学ぶ人と指導者とのマッチング、場所の確保、サークル団体立ちあげの手伝いをする。スポーツも部活やスポーツクラブだと、費用や気楽に参加するのが難しいので、もっと遊び塾みたいなものがあればよい。運営母体や費用など課題は多いが。
- ・厚木愛甲地区内での子ども会の交流。
- ・広報活動がまだまだ足りないと感じます。団体毎のPRももちろんですが、広報あいかわや、SNSを通じて発信されているのが効果的だと思いますので、より一層力を入れ継続することが大切だと考えます。
- ・情報発信の拡大（SNSやホームページを活用して、大きくPRする）。
- ・長くチームに参加していくにつれ年齢が重なり車の移動が大変になってくるので出来れば送迎等があるといいです。
- ・私自身はもう表に出す気はないですが、町内でも特技を持った方が沢山いらっしゃいます。私もボケ防止でピアノを近所の方に教えてもらっています。
- ・第一歩ふみ出す勇気のない方もおり、公報などで体験談など載せるコーナーを増やして、あとはPRをどんどんしてほしいです。
- ・愛川町は他国の方が多いためもっと他国の方々との交流行事があっても良いと思う。
- ・他国ならではのスポーツを、町と他国の方が一緒になって主催し、町民の方に知ってもらう。
- ・町広報紙等で各団体の活動内容を紹介する。

【ヒアリングより】

- ・他自治体の子どもたちと交流し、外の世界を見せて刺激を与えてあげたい。バスの利用等の移動手段は町にも支援していただきたい。
- ・スポーツクラブは強制的だったり、勝利主義だったり、上手い子が下手な子に高圧的な態度をとる状況もある。下手でもスポーツを楽しんで参加できるような場として遊び塾があったらよいと思う。
- ・公民館に来る人は様々な特技をお持ちの方が多い。学習を希望する方と講師のマッチングを行うことで新たな団体の創設につながるのではないかな。
- ・あいちゃん音頭を踊る機会が少なくなっている。町への愛着形成にもつながると思うので、様々な機会ですべて普及させたい。

問5 外国人の方と活動する中で感じる課題や障壁等

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・言語の壁。
- ・コロナの関係で、お互いに遠慮している感がありますが、大事だと思う事があります。それは、活動の交流を進める前に、外国の人たちの言葉を、少し、学習した方がいいと思います。外国の方は、日本語を少し理解している様ですが、私達は知りません。いろんな国の言葉、あいさつぐらいでもその国の人に教えてもらいたいです。(私の場合、朝、ゴミを出しに行く時、若い娘さんが二人、自転車で通ります。私は何語を話すのか分かりませんが、「おはよう、今日も頑張ってるね!」と言いますと、「ハイ、ありがとうございます」と言って通りすぎます)

【ヒアリングより】

- ・絵本を選ぶ際に、外国人の方でも見てわかりやすい内容のものを意識して選んでいるが、「わからなかった」と感想をいただくこともあり、どうしたらよいか悩むこともある。
- ・企業側から交流を促すよりも、子どもを通じたコミュニケーションの方がスムーズに進むと思う。
- ・文化が違うため、考え方の違いは多少ある。外国人はマスクをつけない人もいる。
- ・日本人が外国語を学習する機会があれば、交流が始まるのではないか。外国人とつながるのは、まず言語からだと思う。

問6 外国人の方からの相談

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・団体での相談を受けることはないが公民館勤務なので、日本語の学習はあるか、子どもの習い事が公民館であるか問合せがある。
- ・私の場合、近所に引っ越して来たご家族がいて、自治会に入ってくれまして、丁度、私の組なので、いろいろ相談を受けます。気軽に遊びにも来ますので、いい関係が出来ています。

【ヒアリングより】

- ・コロナの関係で日本語学習教室を休止している。お問い合わせがあってもお断りをしている状況。
- ・外国人の方からの相談はないが、企業側から、ゴミの捨て方を教えるためのパンフレット(外国語)が欲しいと相談されたことがあった。また、日本の生活習慣や、風土や文化等を教えて欲しいという要望もあった。一方、講座や研修を労働時間外に実施する場合、参加してもらえるか分からない。

問7 多文化共生のまちづくりに向けて、貴団体が関われる・支援できると思うこと

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・団体での参加は活動もあと数年。終活に向かっているので参加は難しい。
- ・選書を工夫し、伝わりやすい絵本や日本文化を紹介していきます。
- ・組合員企業間での情報交換や講演会・研修会の実施。
- ・学校と協働して地域の外国籍の方をお呼びして、交流を深めるイベントの実施 etc。
- ・ぜひ料理の交流をしたいです。
- ・あいさつなど、ちょっとした言葉を学んでジュニアリーダーに教える。
- ・他国の文化や料理を紹介してもらう。
- ・町内外の山の自然のすばらしさを紹介する。

問8 生涯学習推進のため、町に期待することや特に重点を置いて欲しいこと

【プレ調査より】

(選択肢なし。自由記入のみ・原文のまま掲載)

- ・コロナ感染多い中、オンラインやネットを使った学習もいいですが、愛川町は高齢者が多く、パソコンや、スマートフォンを使用していない人が多いので、これから施設の予約などネットで申し込みが多くなるが配慮が必要だと思います。
- ・子ども会連絡協議会の役員を選出、地域に住む学校の先生の協力や行政関係者が役員に加わっていただきたい。
- ・子ども会連絡協議会の宣伝をやりたいと思います。協力をお願いします。
- ・ボランティア団体の広報と横のつながりを作る場の提供をお願いしたいです。(今ある、読み聞かせボランティアサークル連絡会の継続含め)。
- ・企業向け周知案内・パンフレット等の作成。
- ・一時保育をしてほしい(施設ごとに)有料でも。

【ヒアリングより】

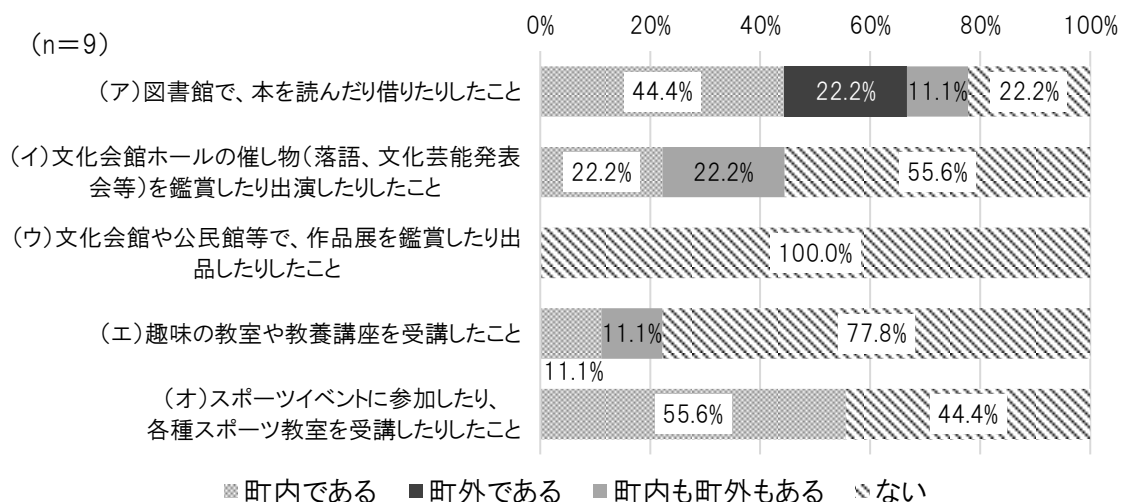
- ・子ども関係の活動は、学校が積極的に関わってもらえるとやりやすい。
- ・コロナ禍で、いつ活動を再開してよいか迷うこともあったが、ボランティアサークル連絡会を通して他団体の工夫や活動状況を知ることができた。ボランティアサークル連絡会は継続してほしい。
- ・読み聞かせの講師の方に来ていただき、勉強できる場がほしい。
- ・地域の活動について情報提供していただきたい。企業として、個人としてできることがあると思うので、周知していきたい。
- ・公民館の利用者は高齢者が多いため、オンラインやインターネットの利用には難しさを感じる。
- ・先生の子どもを生徒が子守することもあった。活動の間に子どもたちを見てくれるような仕組みがあるとよい。

04. 二十歳のつどい実行委員アンケートについて

※すべて原文のまま掲載

問1 (ア)～(オ)について、この5年間に利用等をしたことがあるか(単数回答)

『(オ) スポーツイベントに参加したり、各種スポーツ教室を受講したりしたこと』では「町内である」が55.6%、『(ア) 図書館で、本を読んだり借りたりしたこと』では44.4%と他の項目に比べて高くなっています。一方で、『(ウ) 文化会館や公民館等で、作品展を鑑賞したり出品したりしたこと』では「ない」が100.0%となっています。



問2 利用したことがない理由、さらに利用しやすくするために必要なこと

【(ア) 図書館で、本を読んだり借りたりしたこと】

- ・カードつくった記憶がないから。
- ・入りづらいイメージがある。
- ・勉強しに来る人をターゲットにする！
- ・ネット等で蔵書検索できると楽だと思う。
- ・高校の課題の資料探し。
- ・色々な本があることを言いまくる。
- ・私は何度も読み返したいので、本屋で買うことがほとんどです。図書館は勉強する場として利用します。
- ・家から遠くないのであまり利用しないです。ネットで置いてある本が見れたらいいなと思います。

【(イ) 文化会館ホールの催し物（落語、文化芸能発表会等）を鑑賞したり出演したりしたこと】

- ・ 宣伝があまりない。
- ・ 若者向けの人を呼ぶ。
- ・ より裾野が広がるものが好ましく感じる。
- ・ 若者に向けたものもあつたら良いと思う。
- ・ いつやっているのか知らない事が多い。
- ・ 高校が愛川から遠く忙しかったため、そのようなものと縁がありませんでした。
- ・ 開催されていることを知らないことがほとんどです。

【(ウ) 文化会館や公民館等で、作品展を鑑賞したり出品したりしたこと】

- ・ 知らないことが多いと思う。
- ・ 文化会館のまわりだけでなく、いろんな所にポスター！
- ・ お年寄りの方のイメージ。
- ・ 展示会の鑑賞は好きですが、文化会館のものはあまり知りませんでした。都内のものに行くことが多いです。
- ・ 開催されていることを知らないことがほとんどです。

【(エ) 趣味の教室や教養講座を受講したこと】

- ・ ポスターとか文化会館にいかないとみれない。
- ・ 学校に宣伝する。
- ・ 趣味が特になかった。
- ・ そのような趣味がなく、興味もそんなにありません。
- ・ 開催されていることを知らないことがほとんどです。

【(オ) スポーツイベントに参加したり、各種スポーツ教室を受講したりしたこと】

- ・ 参加している人が多いと思った。
- ・ 学校に宣伝する。
- ・ スポレク等は思い出に残っている、そのような催しが増えると良いと思う。
- ・ 駅伝にでた。
- ・ スポーツは「する」より「観る」方が好きです。
- ・ 開催されていることを知らないことがほとんどです。

問3 現在している生涯学習

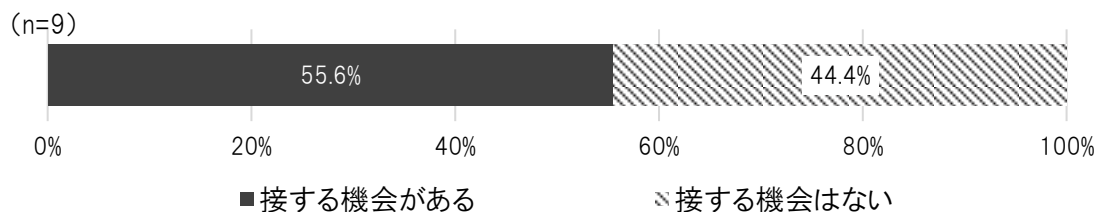
内容	方法
映画鑑賞 ダンス デザイン ランニング 文学 ウォーキング バスケットボール 筋トレ 大学での勉強 アルバイト 読書 環境問題について学んでいる	勉強含め、個人でしている スクール 学校 個人的に 個人的に 散歩 クラブチームに参加し、アシスタントをしている 自分の為 大学（多摩） 橋本 家 大学で

問4 今後してみたい生涯学習

内容	方法
英会話 英語 ジム バスケットボール ボランティア（トリマー） 何らかの語学学習 英会話 園芸	アプリや動画で 対面 公園で バスケットボールを普及し、多くの人に参加してもらいたい 犬の為 オンラインや留学 オンラインで受講予定 気軽にガーデニングについて知れる場面があるとうれしい。

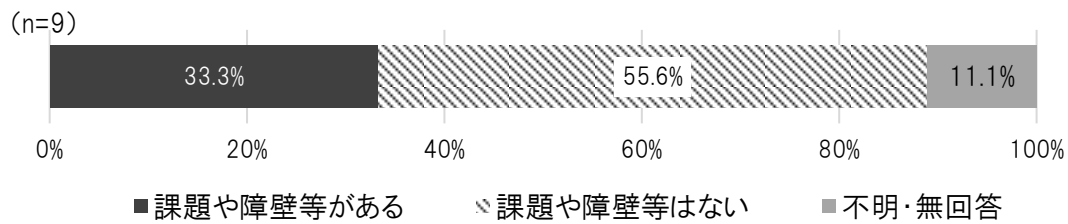
問5 外国人の方と接する機会（単数回答）

「接する機会がある」が55.6%と、「接する機会はない」の44.4%を上回っています。



問6 外国人の方と関わる上での課題や障壁等(単数回答)

「課題や障壁等はない」が55.6%と、「課題や障壁等がある」の33.3%を上回っています。



【課題や障壁等の具体的な内容】

- ・国によって文化が違うから伝え方が難しい。
- ・自分が英語できないと大変。
- ・学校に中国人の生徒がいるが、「この日本語はどういう意味？」など一緒に学べて楽しい。
- ・日本語教育等の実施、より手厚くすべきと感じる。
- ・英語が話せない。

問7 多文化共生のまちづくりに向けて、あなたが関われる・支援できると思うこと

- ・関わる機会がほとんどない人が多い。
- ・コミュニケーションを取れる場をつくる（イベント等）。
- ・”日本人じゃない”と思わずに共生する！
- ・文化の違いを尊重する！
- ・宗教等をフランクに学習できたら良いと思う。宗教的な部分がパーソナリティ理解の一助になると考えられるからだ。
- ・異文化交流として川でBBQ。
- ・日本語表記のものだけでなく、他言語の表記を増やす、紹介する。
- ・小さい頃から関わりを作るようにする。
- ・文化の違いをお互いに受け入れる。
- ・外国人の人向けの案内をつくる（私ができるかはわかりませんが）。

問8 生涯学習で町に期待すること

- ・レジャーの大切さの理解を広める。
- ・自習室としての施設の開放、放課後の学習教室。
- ・オンラインで資格勉強を無料で学べる機会がほしい。
- ・高齢者が住みやすい町づくり、老々介護や在宅介護での負担を減らす。また、施設での高齢者虐待のニュースがある中で、そのようなことに取り組み、それを広める取り組み。
- ・オンライン授業は活用した方がいいと思います。英会話も小中学生の頃からもっと機会があればよかったと思います。

05. 外国人相談員ヒアリングについて

1 生涯学習を進める上で、外国人の方の支障になりそうなこと

- ・生涯学習が理解できておらず、「障害」と勘違いしてしまう。生涯学習とは何か、説明をもう少し丁寧にしないとイケない。
- ・放課後児童クラブは小学6年生まで利用できるが、低学年で定員が埋まってしまうため利用人数を広げてほしいという要望がある。外国人の方は近くに親族がいないため、そのような場に子どもを預け、宿題も見てもらえることに安心感がある（安心して働ける）。
- ・生涯学習の活動に機会があれば参加すると思うが、仕事をしていると時間がなく、生涯学習を行う余裕がない。生涯学習に関する相談自体もあまりない。
- ・不規則な勤務形態の人が多いため定期的に活動に参加することが難しいと思う。
- ・大人向けの日本語クラスがあるかという問い合わせはあった。
- ・ハローワークで求人を探しているが、なかなか仕事に結び付けられない方を支援する取組として、JICE（一般財団法人 日本国際協力センター）の日本語学習がある。結構レベルアップできるようだ。

2 ボランティア活動や地域活動等、地域との交流に関して

- ・日本語ができないので、地域の人と交流できない。参加したいと思っている人自体もあまりいない。複数人で参加かつ仕事の予定が合えば参加する人もいるかもしれない。
- ・以前、公民館に国際交流スペースがあった。国際交流クラブのような活動が復活してほしい。
- ・外国人の方が安心して集まれる場が町の中にあるとよい。
- ・以前、外国人のために様々な支援をしているボランティア（日本人）が町にいた。日本人側からの歩み寄りがあると参加しやすくなるかもしれない。

3 生涯学習の相談を受けている中で、こういった取り組みがあればよかったと思うこと

- ・町には外国人が楽しめるイベントがあり充実している（勤労祭、ふるさとまつり等）。外国人は町のイベントを口コミで知る。

4 外国人の方へ必要な支援

- ・学校のカウンセラーを増やしてほしい（できれば母国語）。現在は1か月に1回のみ訪問であるため、通訳の方も一緒に来ていただき、親も関わられるようにしてほしい。問題があった時にどこを頼っていいのかわからないという家庭も多い。
- ・別の機関や県の窓口等につないだ後のフォローアップも大事。つながりが大切。
- ・仕事につなげるために、日本語や資格の学習支援を増やしてほしい。介護の資格があると工場以外の仕事もできるため仕事の幅が広がる。
- ・母国の看護師免許を持っている人もいるが、日本で働くには国家試験を受けないとイケない。免許所持者には簡単な試験にするなど、資格を活用できるような仕組みがあるとよい。
- ・日本語がわからないからやりたい仕事ができない。報告書を書かないとイケない現場ではチェック方式にするなど簡素化できるとよい。話すことはできるので代筆など。

V 調査から見えた課題等

01. 生涯学習の未実施者へのアプローチについて

この1年間に生涯学習を行った人は27.8%と前回調査(39.2%)から大きく減少しており、特に40代では2割以下となっています。一方、生涯学習に関心がある人は68.9%となっており、関心はあるものの実際に活動できていない状況がうかがえます。

生涯学習の未実施者の生涯学習を行う上での支障は「具体的なきっかけがない」と「仕事や家事が忙しく、自由時間がない」が4割を超えています。多様な年代やライフスタイルに応じた学習機会、相談の場の充実、多様な媒体による情報提供等、生涯学習への第一歩を促すようなサポートが大切です。

生涯学習の実施者が行った生涯学習は「スポーツ」が最も高く、次いで「趣味的なもの」、「地域活動に関するもの」の順となっています。また、未実施者のこれから行いたい生涯学習は「趣味的なもの」、「スポーツ」が上位となっており、実施者の内容と未実施者の興味関心が類似していることから、実施者側からアプローチして、未実施者を巻き込む仕組みづくりも大切です。さらに、町の事業「あいかわ出前講座」、「あいかわ楽習応援団」の参加・利用はどちらも1割以下であることから、上述のような町民ニーズに合わせた講座の提供や、「みんなの先生」の募集等を行い、事業の充実を図ることが大切です。

02. 情報提供について

生涯学習事業に関する情報発信の媒体は「町や県の広報紙」が55.2%と最も高くなっています。年代別にみると49歳以下では「SNS」、50～59歳では「町のホームページ」、60歳以上では「自治会の回覧」も上位となっており、年代によって情報を取得しやすい媒体が異なることがうかがえます。

また実施者が、行った生涯学習を知った経緯について「インターネット(町のホームページ等)」が前回調査と比べて大きく増加しており、特に年代が低いほどインターネットやSNS等から情報を入手している傾向にあります。誰もが気軽に情報を入手できるよう、従来の広報紙や回覧とICTの双方を活用し、様々な媒体を通じた情報発信・提供が大切です。

03. 学習方法について

増えてほしい学習の方法について 50 歳以上では「公民館等における講座や教室」、49 歳以下では「インターネット（主にスマートフォンやタブレットを使用）」が最も高くなっており、多忙な働き・子育て世代にとって、いつでも・どこでも手軽に参加できる方法への需要の高まりがうかがえます。

また、参加してみたい講座の形式について 60 歳以上では「講義・講演形式」と「参加体験（ワークショップ）型」が上位となっている一方、普段からスマートフォン等の情報通信機器を使用している人が多い 59 歳以下では「WEB で参加・学習できる形式」も高くなっています。町民ニーズに対応できるよう、オンライン講座や通信教育等、インターネットを使った学習機会を充実させることが大切です。

04. 生涯学習施設について

町への要望として「公共施設の整備・備品を充実させる」、「公共施設の利用時間や利用方法を改善する」が上位に挙がっています。また、施設を利用するにあたって重視する機能として「利用方法がわかりやすい」、「空き状況がいつでも確認できて、気軽に予約や利用ができる」が 5 割を超えており、実際の利用時ではなく、利用前の手続き等の手軽さを求める声が多いことがうかがえます。

学びや活動の場として町民が気軽に利活用できるよう、公民館や文化会館、図書館をはじめとした生涯学習施設の利用方法や設備等を見直し、利便性の向上を図ることが大切です。

05. 団体の活動について

団体調査によると、新規加入者の不足やメンバー構成の偏り、担い手不足等に課題感を持っている団体が多く、また、町に対しては団体や活動に対する PR 強化を求める声が多くなっています。新たな人材の発掘や、次世代リーダーの育成に向けて、広報紙や町ホームページ、SNS 等多様な媒体を通じた情報発信を充実させ、幅広い世代にアプローチすることが大切です。

また、移動手段に関する課題も挙げられており、公共交通機関の充実やタクシー利用時の経済的支援、町民同士の支え合い活動の活性化等、移動に係る支援策の検討が求められています。

06. ボランティア活動、NPO活動、地域活動等、社会的な活動について

社会的な活動に参加している人は 17.0%と、前回調査（8.6%）に比べて活動の広がりがうかがえます。また、「参加していないが、今後機会があれば参加したい」と意欲的な意見が 31.7%となっており、今後更なる活動者の増加が見込まれます。少子高齢化やライフスタイルの多様化等により社会的な繋がり希薄化が進む中、町民主体の活動が一層充実できるよう、気軽に参加できる環境づくりや、培ってきた経験を活かせる仕組みづくり等を進め、意欲者を参加まで後押しすることが大切です。

07. 大学等での学び直しについて

一度社会人となった後に大学等で学習したことがある人は10.7%とあまり多くはないですが、「学習したことはないが、今後は学習してみたい」が26.9%となっており、4割程度の人が大学等での学習に興味関心を持っていることがうかがえます。特に農林業、自営業・会社経営、自由業では学習経験者と学習意欲ありを合わせると6割を超えています。

期待する成果については「特定分野の基礎的な知識を得ること」や「資格を取得すること」等が上位に挙がっており、大学等がプログラムを提供するにあたっては、このようなニーズを踏まえることが重要です。町としても町民の学習ニーズに対応できるよう、大学等との新たな連携を見据えながら、学費の負担等に対する経済的な支援や、情報の拡充等を検討することが大切です。

08. 外国人が生涯学習に参加する際の課題について

外国人相談員調査では、外国人の状況について「不定期的な勤務形態の人が多いため定期的に活動に参加することが難しい」、「仕事が忙しく余裕がない」、「日本語ができないため地域の人と交流できず、地域活動に意欲的な人は多くない」等の意見がありました。また、団体調査や若年層調査では言語や文化の違いに関する課題が挙げられており、日本人と外国人がコミュニケーションを図る上で互いに言語の壁を感じていることがうかがえます。

一方、団体調査では「日本人が外国語を学習する」、「他国の文化や料理を紹介してもらおう」等、日本人と外国人が交流できる場づくりを求む声も多くあります。今後多文化共生を進めるにあたっては、イベントの開催や学習機会の拡充等、外国人との交流の場を活発にして、相互理解を深めることが大切です。また、オンラインを活用した交流等、場所や時間の制約が少ない方法を検討することも重要です。

さらに、外国人が一人で地域の中に飛び込むのは難しいとの意見もあり、まずは外国人が安心して集まれる場（外国人のコミュニティ）の形成を支援することも必要です。

VI 資料（調査票）

第3次愛川町生涯学習推進プラン アンケート調査のご協力をお願い

町民の皆様には、日頃、町政運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
町では、町民の皆様がいつでもどこでも自由に学び、生きがいとうるおいに満ちた生活を送ることができるよう、「第2次愛川町生涯学習推進プラン」に基づき、様々な取組を進めてまいりました。

このたび、計画の見直しを行うにあたり、町民の皆様のご意見やニーズを今後の施策に反映させるため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査につきましては、町内在住の満18歳以上（令和4年10月1日現在）の方1,200人 を無作為に選ばせていただきました。回答の内容は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 愛川町長 小野澤 豊

【 ご回答についてのお願い 】

- あて名のご本人がお答えください。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族等がご本人のお考えや思いを代理でご記入ください。
- 回答はあてはまる番号を○で囲んでください。
- 質問によっては、1つだけ○をつけるものと、複数に○をつけるものがあります。指示に従ってご回答ください。また、「その他()」に該当する場合は、()の中に具体的にご記入ください。

2種類の回答方法をご用意しております。①または②のどちらかの方法でご回答ください。

①紙面にてご回答

本調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストにご投函ください。
この調査票及び封筒に、氏名・住所をご記入いただく必要はありません。

②パソコンやスマートフォン等からご回答

アンケート URL: https://questant.jp/q/aikawa_shogai
上記 URL を直接入力、または右記 QR コードを読み込み、アクセスしてください。
途中保存はできませんので、お時間の余裕がある際にご回答ください。
ご回答した際の通信料は自己負担となります。ご了承ください。
(全34問で、一般的な所要時間は10分～15分程度です)



12月2日(金)までに、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

■調査についての問い合わせ先
愛川町教育委員会 生涯学習課
電話:046-285-6959(直通) FAX:046-286-4588
E-mail:shogaigakusyu@town.aikawa.kanagawa.jp

◆生涯学習とは

人々が、生涯のいつでもどこでも自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における講座等の社会教育等の学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化・芸術活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動、地域活動等における様々な学習活動のことをいいます。

◆ボランティア活動、NPO活動、地域活動とは

「ボランティア活動」は、個人の自発的な意思によって自主的に社会活動に参加する個人活動で、「NPO活動」は、そのような個人が集まった組織的な活動です。「地域活動」は、自治会や町内会等の地域の身近な活動です。

01. あなたご自身のことについて（令和4年10月1日現在でお答えください。）

問1 性別（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. 男性 | 3. その他 |
| 2. 女性 | |

問2 年代（○は1つ）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | |

問3 お住まいの地域（○は1つ）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 愛川地区（半原・田代） | 3. 中津地区（中津・春日台・棚沢・八菅山） |
| 2. 高峰地区（角田・三増） | |

問4 職業（○は1つ）

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 正規の社員・職員でフルタイム勤務 | 6. 農林業、自営業・会社経営 |
| 2. 正規の社員・職員で短時間勤務 | 7. 自由業（医師、弁護士、芸術家等） |
| 3. 派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員でフルタイム勤務 | 8. 学生 |
| 4. 派遣・嘱託・契約・非常勤等の社員・職員で短時間勤務 | 9. 家事・育児だけに従事 |
| 5. パート・アルバイト | 10. 無職 |
| | 11. その他（ ） |

※フルタイム・・・概ね週5日、1日8時間程度

問5 居住年数（○は1つ）

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年以上5年未満 | 5. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 4. 5年以上10年未満 | 6. 20年以上 |

02. 生涯学習活動について

問6 生涯学習に関心はありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心はある | 3. どちらかといえば関心はない |
| 2. どちらかといえば関心はある | 4. 関心はない |

問7 この1年間に何らかの生涯学習を行いましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 1. 行った | 2. 行っていない | → 問13へ |
|--------|-----------|--------|

問7で「1」とお答えの方に伺います。

問8 行った生涯学習の内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 趣味的なもの(読書・音楽・美術・書道・華道・舞踊等) |
| 2. 教養的なもの(歴史・文学等) |
| 3. まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等) |
| 4. 防災・交通安全・防犯活動に関するもの |
| 5. 地域活動に関するもの(自治会・子ども会・PTA・老人会等) |
| 6. スポーツ(ジョギング・テニス・水泳・ゲートボール・山歩き・釣り等) |
| 7. 健康増進に関するもの(健康管理・栄養・医療・健康法等) |
| 8. 園芸(ガーデニング・家庭菜園等) |
| 9. 家庭生活に役立つ技術等(料理・洋裁・編み物等) |
| 10. 育児・しつけ・教育に関するもの |
| 11. 語学(英会話等) |
| 12. 仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等 |
| 13. 郷土芸能等伝統的な地域文化に関するもの |
| 14. ボランティア活動等のために必要な知識・技能に関するもの(読みきかせ・手話・介護等) |
| 15. パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室・パソコン関連講座等) |
| 16. その他() |

問7で「1」とお答えの方に伺います。

問9 その生涯学習をどのような方法で知りましたか。(あてはまるもの2つまで○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 町や県の広報紙 | 6. 友人や知人からの情報 |
| 2. 町が発行している
生涯学習ガイドブック | 7. 役場等への問い合わせ |
| 3. 新聞や雑誌 | 8. インターネット(町のホームページ等) |
| 4. 民間の情報誌 | 9. SNS
(Twitter・Facebook・Instagram等) |
| 5. テレビやラジオ | 10. その他() |

問7で「1」とお答えの方に伺います。

問10 その生涯学習をどのような方法で行っていますか。(あてはまるもの2つまで○)

1. 町が実施している講座や教室等
2. 町以外の公的機関・大学等が実施している講座等
3. 団体やNPO（非営利活動団体）等が実施している活動等
4. グループ・サークル活動等
5. 地域活動等
6. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブ等
7. 個人
8. 職場
9. 学校（大学・専門学校等）の正規課程での学習等
10. その他（)

問7で「1」とお答えの方に伺います。

問11 その生涯学習をどのような場所で行っていますか。(あてはまるもの2つまで○)

1. 自宅（オンラインを含む）
2. 公共の施設（文化会館、公民館、体育館等）
3. 民間の施設（カルチャーセンター、スポーツクラブ、個人教室等）
4. 山、河川敷、野原等の野外
5. その他（)

問7で「1」とお答えの方に伺います。

**問12 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように活かしていますか。
(あてはまるものすべてに○)**

1. 仕事や就職等で活かしている
2. ボランティア活動に活かしている
3. 資格の取得に役立っている
4. 日頃の生活や地域での活動に活かしている
5. 取得した知識・技能をもとに、さらに広く深い知識等を身につけるよう努めている
6. 他の人の学習やスポーツ、文化活動等の指導に活かしている
7. 自分の人生がより豊かになっている
8. 自分の健康の維持増進に役立っている
9. その他（)
10. 特に活かしてはいない

すべての方に伺います。

問13 生涯学習を行う上で、どのようなことが支障になりますか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 仕事や家事が忙しく、自由時間がない
2. 具体的なきっかけがない
3. 同好の仲間がない
4. 身近な場所に施設がない
5. 自分の希望に合う内容の講座やイベント等がない
6. 家族や職場等周囲の理解が得られない
7. 子どもや親等の世話をしてくれる人がいない
8. 人間関係がわずらわしい
9. 費用がかかりすぎる
10. 必要な情報(内容・時間・場所・費用等)が入手しにくい
11. 新型コロナウイルスの影響(感染拡大の予防等)がある
12. 言語の壁がある(コミュニケーション、情報入手等)
13. その他()
14. 特にない

問14 これから行いたいと考えている生涯学習の内容はどのようなものですか。現在行っていて、今後も続けていきたいことでも結構です。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの(読書・音楽・美術・書道・華道・舞踊等)
2. 教養的なもの(歴史・文学等)
3. まちづくりに関するもの(環境問題・社会問題・人権問題・多文化共生等)
4. 防災・交通安全・防犯活動に関するもの
5. 地域活動に関するもの(自治会・子ども会・PTA・老人会等)
6. スポーツ(ジョギング・テニス・水泳・ゲートボール・山歩き・釣り等)
7. 健康増進に関するもの(健康管理・栄養・医療・健康法等)
8. 園芸(ガーデニング・家庭菜園等)
9. 家庭生活に役立つ技術等(料理・洋裁・編み物等)
10. 育児・しつけ・教育に関するもの
11. 語学(英会話等)
12. 仕事に役立つ知識・技能・資格の取得等
13. 郷土芸能等伝統的な地域文化に関するもの
14. ボランティア活動等のために必要な知識・技能に関するもの(読みきかせ・手話・介護等)
15. パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室・パソコン関連講座等)
16. その他()
17. 特にない

問15 生涯学習を行いやすい時間帯はいつですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 平日の午前中 | 4. 土曜日の午前中 | 7. 日曜日の午前中 |
| 2. 平日の午後 | 5. 土曜日の午後 | 8. 日曜日の午後 |
| 3. 平日の夜間
(18時以降) | 6. 土曜日の夜間
(18時以降) | 9. 日曜日の夜間
(18時以降) |
| | | 10. いつでも |

**問16 生涯学習を行っていく上で、どのような情報を知りたいですか。
(あてはまるもの2つまで○)**

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1. 催し物や講座の内容について | 4. 指導者等人材情報について |
| 2. 学習の機会を提供している
施設について(設備・利用方法等) | 5. 学習成果を活用するための
情報について |
| 3. 様々なグループ活動の紹介
について | 6. その他() |
| | 7. 特にない |

問17 講座をはじめとする生涯学習事業に関する情報は、どのような媒体を通じて発信されると、接しやすと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 町や県の広報紙 | 6. テレビやラジオ |
| 2. 町のホームページ | 7. 新聞や雑誌 |
| 3. 町役場や公民館等の公共施設に
掲示するポスター・チラシ | 8. メール |
| 4. 自治会の掲示板に掲示する
ポスター・チラシ | 9. SNS
(Twitter・LINE・Instagram等) |
| 5. 自治会の回覧 | 10. その他() |
| | 11. 特にない |

**問18 どのような方法での生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 公民館等における講座や教室 | 8. 民間の通信教育 |
| 2. 図書館・博物館・美術館等における
展示や講座 | 9. テレビやラジオ |
| 3. 学校(大学・専門学校等)の公開講座 | 10. インターネット
(主にスマートフォンやタブレットを使用) |
| 4. 学校(大学・専門学校等)の正規課程
での学習 | 11. インターネット(主にパソコンを使用) |
| 5. 職場での教育・研修 | 12. ボランティア活動 |
| 6. グループ・サークル活動 | 13. 体験活動
(生活・文化体験、自然体験、社会体験等) |
| 7. 民間のカルチャーセンターや
スポーツクラブ等の講座や教室 | 14. その他() |
| | 15. 特にない |

問 24 で「1」～「3」、「5」または「6」とお答えの方に伺います。

問25 社会人として大学等で学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特定分野の基礎的な知識を得ること
2. 特定分野の先端的・専門的な知識を得ること
3. 幅広い教養を得ること
4. 転職等のために必要な知識を得ること
5. 新しい人的ネットワークや、友人を得ること
6. 資格を取得すること
7. 学位を取得すること
8. その他 ()
9. 特にない

すべての方に伺います。

問26 社会人が大学等で学習しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学習に関する情報を得る機会の拡充
2. 就職や資格取得等に役立つ社会人向けプログラムの拡充
3. 仕事以外の生活や教養に関するプログラムの拡充
4. 土日祝日や夜間等、開講時間の配慮
5. 放送（テレビ・ラジオ）やインターネット等で受講できるプログラムの拡充
6. 学費の負担等に対する経済的な支援
7. 学習を支援する人材（キャリアコンサルタント等）の育成や配置
8. 修了証や資格等、学んだ成果が分かりやすくなる仕組みづくり
9. 職員が職場を離れやすくなる企業等の仕組みづくりの促進
10. 学んだ成果を職場等が評価するような仕組みづくりの推進
11. その他 ()
12. 特にない

04. 社会的な活動について

問27 ボランティア活動、NPO活動、地域活動等、社会的な活動に参加していますか。
(○は1つ)

1. 参加している
2. 参加していないが、今後機会があれば参加したい → 問 31 へ
3. 参加しておらず、今後も参加したいと思わない → 問 30 へ
4. わからない → 問 31 へ

問 27 で「1」とお答えの方に伺います。

問28 参加している社会的な活動はどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. お年寄りのお世話等地域の福祉活動 | 8. 文化、スポーツ等のイベントの企画や運営 |
| 2. 子ども会やPTA等青少年健全育成活動 | 9. 文化、教養、スポーツ活動の指導 |
| 3. 子育て支援活動 | 10. 地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事 |
| 4. ごみの分別、減量化、リサイクル等の環境活動 | 11. 国際交流・多文化共生に関わる活動 |
| 5. 道路や公園等の地域の清掃活動 | 12. 施設等でのボランティア活動 |
| 6. まちに緑や花を増やす活動 | 13. その他 () |
| 7. 夜間の見回り等の防犯活動 | |

問 27 で「1」とお答えの方に伺います。

問29 社会的な活動を行う上で、次のどのようなことが役立ちましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 町が開催する講座や教室等 | 7. 自分の活動で得た経験 |
| 2. あいかわ出前講座
(町職員等による講座) | 8. 新聞や雑誌、テレビ・ラジオ |
| 3. 県や国の講座や教室等 | 9. 町の広報紙やホームページ |
| 4. 大学の公開講座 | 10. インターネットやメールマガジン等 |
| 5. 民間の講座や教室等 | 11. その他 () |
| 6. 自主的なグループ活動や学習会 | 12. 特にない |

問 27 で「3」とお答えの方に伺います。

問30 社会的な活動に参加したいと思わないのはどのような理由からですか。

(あてはまるもの2つまで○)

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. 仕事や家事が忙しい | |
| 2. どこでどのような活動が行われているかわからない | |
| 3. 参加するきっかけがつかめない | |
| 4. 仲間がない | |
| 5. 自分の興味ある活動を行っているグループ・団体が無い | |
| 6. 家族や職場等周囲の理解が得られない | |
| 7. 人間関係がわずらわしい | |
| 8. 健康や体力に自信がない | |
| 9. その他 () | |
| 10. 興味がない、特に理由はない | |

すべての方に伺います。

問31 今後どのような活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

1. お年寄りのお世話等地域の福祉活動
2. 子ども会やPTA等青少年健全育成活動
3. 子育て支援活動
4. ごみの分別、減量化、リサイクル等の環境活動
5. 道路や公園等の地域の清掃活動
6. まちに緑や花を増やす活動
7. 夜間の見回り等の防犯活動
8. 文化、スポーツ等のイベントの企画や運営
9. 文化、教養、スポーツ活動の指導
10. 地域の伝統行事、祭りや盆踊り等の地域のふれあい行事
11. 国際交流・多文化共生に関わる活動
12. 施設等でのボランティア活動
13. その他 ()
14. 参加したいと思わない

問32 愛川町に居住する外国人住民の割合は、県内でも極めて高く、民族や文化の違いを尊重し合える地域づくり(=多文化共生)を推進していく必要があります。多文化共生を進めるにあたり、どのような活動をしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国語を学びたい
2. 外国の文化や料理等を学びたい
3. 外国人の生活支援(相談・通訳等)に参加したい
4. 日本語を教える活動に参加したい
5. 日本の文化や料理等を紹介する活動に参加したい
6. 日本人住民と外国人住民との交流活動に参加したい
7. その他 ()
8. 特にない

**第3次愛川町生涯学習推進プラン
策定にかかる調査結果報告書**

発行：愛川町教育委員会 生涯学習課

電話：046-285-6959（直通）

F A X：046-286-4588

E-mail：shogaigakusy@town.aikawa.kanagawa.jp

令和5年3月 愛川町